MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機空調冷熱総合管理システム［業務用］

形名

AE-200J
AE-50J

取扱説明書

操作（詳細）編

もくじ　ページ

安全のために必ず守ること …… 4
1. 各部の名称 …… 6
2. ご使用の前に …… 7
3. 使用方法（基本） …… 11
4. 使用方法（応用） …… 82
5. お手入れ …… 115
6. 定期点検のお願い …… 116
7. 仕様 …… 117
8. 修理を依頼する前に …… 118
9. 保証とアフターサービス …… 121
10. 環境関連の表示 …… 124
商標、登録商標について …… 125

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

WT07991X08

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること……4
1. 各部の名称……6
2. ご使用の前に……7
2-1. はじめに……7
2-2. ライセンスについて……7
2-3.「グループ」、「ブロック」、「EMブロック」、「フロア」について……7
2-4. 上位システムコントローラと下位システムコントローラについて……8
2-5. 接続可能なユニットの数……9
2-6. 製品の機能……9
3. 使用方法（基本）……11
3-1. 監視／操作……11
3-1-1. 通常の監視／操作……11
3-1-2. 画面の遷移……12
3-1-3. アイコンの表示……13
3-1-4. 運転状態モニタ方法……16
3-1-5. 操作・設定対象の選択……23
3-1-6. 操作設定画面……25
3-2. エネルギー管理……34
3-2-1. エネルギー利用状況……34
3-2-2. ランキング……45
3-2-3. 目標値設定……50
3-2-4. ピークカット制御状況……55
3-3. スケジュール……57
3-3-1. スケジュール機能の設定例……57
3-3-2. スケジュールによる起動方法について……60
3-3-3. 週間スケジュールの設定……62
3-3-4. 年間スケジュールの設定……69
3-3-5. 当日スケジュールの設定……72
3-4. 状態リスト……74
3-4-1. 異常発生中画面……74
3-4-2. フィルターサイン画面……77
3-5. 各種履歴……79
3-5-1. ユニット異常／通信異常……79
3-6. 異常コード一覧……81
3-6-1. M-NET　異常コード……81
3-6-2. AE-200J、AE-50J（EW-50J）異常コード……81
3-6-3. その他関連機器 異常コード……81

ページ

4. 使用方法（応用）……82
4-1. USBメモリへのデータ出力……82
4-1-1. エネルギー管理出力……82
4-1-2. 設定データバックアップ……98
4-1-3. CSV出力……100
4-2. 冷媒量点検サポート機能……108
4-2-1. 初期測定……108
4-2-2. 冷媒量点検……109
4-2-3. CSV出力……111
4-3. タッチパネル補正……113
4-4. 緊急停止解除……114
5. お手入れ……115
5-1. ディスプレイのお手入れ方法……115
5-2. カバーのお手入れ方法……115
6. 定期点検のお願い……116
7. 仕様……117
8. 修理を依頼する前に……118
9. 保証とアフターサービス……121
9-1. 保証について……121
9-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安……121
9-3. 補修用性能部品の保有期間……121
9-4. 修理を依頼されるときは（出張修理）……122
9-5. 移設について……122
9-6. お問い合わせ……122
添付.追加機能について……123
10. 環境関連の表示……124
商標、登録商標について……125

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）（接触禁止）（水ぬれ禁止）（ぬれ手禁止）（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

以下の特殊な環境ではコントローラを使用しないこと。
- **油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ**
- **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**

- 性能低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり

使用禁止

改造はしないこと。
- けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

コントローラの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。
- 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

禁止

コントローラの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。
- 引火・火災・爆発のおそれあり。

禁止

コントローラを水・液体で洗わないこと。
- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、USBメモリ・タッチパネルを操作したりしないこと。
- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

薬品を散布する前に運転を停止し、コントローラにカバーを掛けること。
- 薬品がコントローラにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

指示を実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。
- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

コントローラのカバーを取り付けること。

- ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

ガラス部品に損傷するような力を加えないこと。

- ガラス損傷によるけがのおそれあり。

禁止

部品端面に触れないこと。

- けが・感電・故障のおそれあり。

接触禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- 感電・故障のおそれあり。

使用禁止

コントローラの廃棄は販売店に依頼すること。

- 環境破壊のおそれあり。

指示を実行

移設・修理をするときに

⚠ 警告

分解・改造はしないこと。移設・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

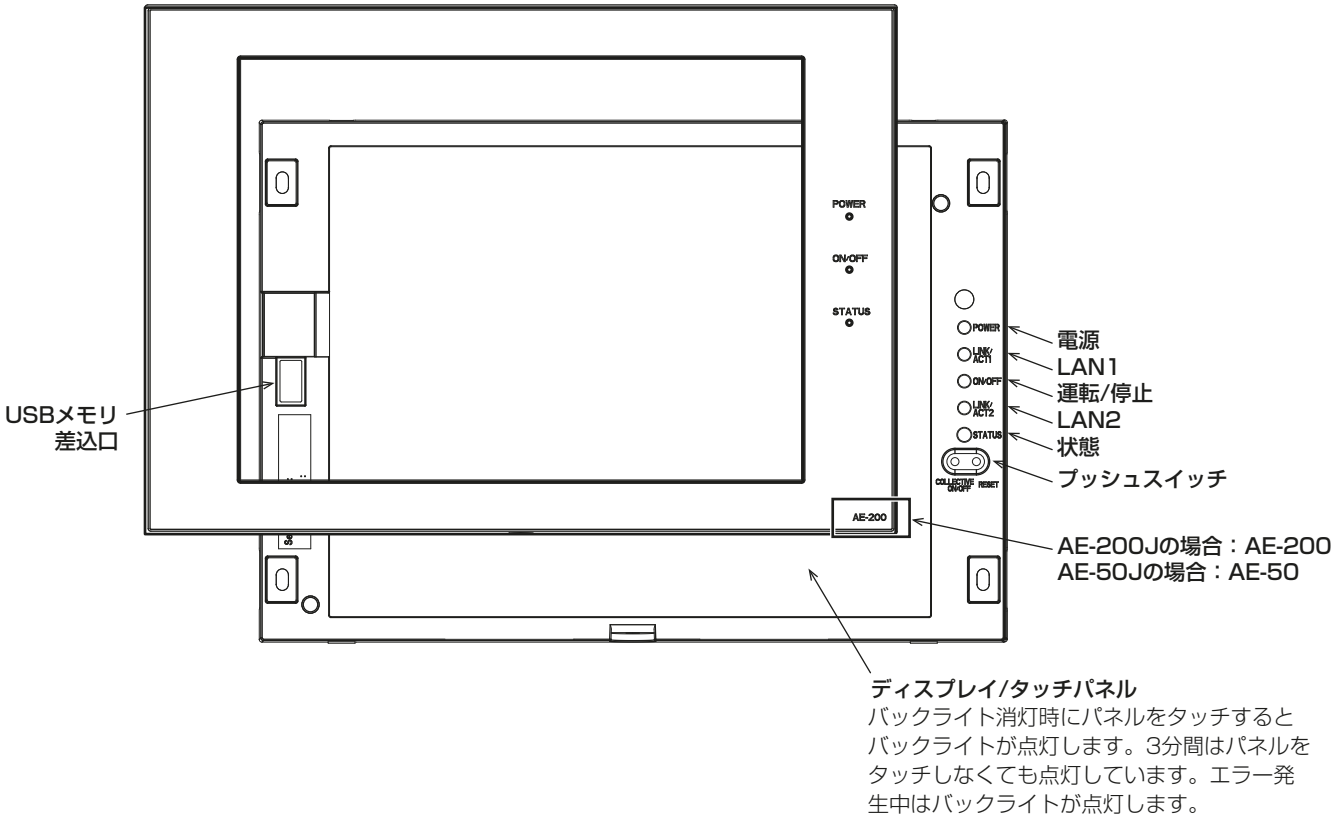
- けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

1. 各部の名称

お願い

- 初めて使用される場合、表面カバーの保護シートを剥がしてご使用ください。保護シートをつけたままご使用されますと、液晶にシートが貼りつき、誤動作の原因となります。
- カバーの取付け、取外しには、付属の六角レンチを使用してください。



項目		内容
電源	緑点灯	電源オン
	消灯	電源オフ
運転 / 停止※1	緑点灯	1 台以上の空調機が運転中
	緑点滅	1 台以上の空調機、低温機器※2、除湿機※2、空冷ヒートポンプチラー DT-R※2、給湯機※2 およびその他の関連機器がエラー発生中
	消灯	すべての空調機が停止
状態	橙点滅	立ち上げエラー
	青点滅	ソフトウェア アップデート中
	ピンク点滅	ソフトウェア アップデート失敗
LINK/ACT1	橙点滅	データ送受信中（LAN1）
LINK/ACT2	橙点滅	BACnet® 送受信中（LAN2）

項目		内容
プッシュスイッチ	ON/OFF	押すごとに接続している空調機および、その他の関連機器を一括で ON → OFF → ON…の順に切り替えます。
	リセット	AE-200J/AE-50J を再起動します。（空調機の運転状態には影響しません）
USB メモリ差込口		設定データのバックアップ、読込みおよびCSVデータの取出しの際に使用します。

※1　AE-200Jの場合はAE-50J/EW-50Jに接続された機器を含めた、システム全体の表示となります。AE-50Jの場合はAE-50Jに接続された機器の表示となります。

※2　低温機器、除湿機、空冷ヒートポンプチラーDT-R、給湯機を利用する場合は、別途ライセンスが必要です。

2. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「取扱説明書　据付工事の確認と試運転」の事項をお客様自身で確認してください。
- 専門業者による据付工事が終了後、使用者立会いのもとで試運転の実施と安全を確保するための正しい使い方の説明を受けてください。
- 据付工事説明書のチェックリストを受け取ってください。

2-1. はじめに

AE-200J/AE-50Jは、Web対応の空調冷熱総合管理システムです。AE-200J/AE-50Jの液晶画面からの直接操作、またはWebブラウザから空調機を監視･操作することができます。AE-200J/AE-50Jそれぞれ1台につき、最大50台まで室内ユニットを接続可能です。AE-200J（親機）にAE-50J（子機）またはEW-50J※1（子機）を併設することで、最大200台まで管理することができます。
また、計量計のパルス信号を、直接AE-200J/AE-50JのCN7に入力することで、計量用計測コントローラ無しでエネルギー管理やピークカット制御ができます。
本書では、この方式を「計量用パルス入力」と呼びます。

※1　EW-50Jは液晶レスの空調冷熱総合管理システムです。

2-2. ライセンスについて

必要なライセンスは、使用する機能によって異なります。必要なライセンスを販売店から購入してください。
ライセンスの登録については、「取扱説明書　初期設定編」の関連ページを参照してください。

2-3.「グループ」、「ブロック」、「EMブロック」、「フロア」について

本書では「グループ」、「ブロック」、「EMブロック」、「フロア」という語句は次のように定義しています。

グループ　：グループは、空調機とコントローラから構成されるグループであり、AE-200J/AE-50Jが管理できる最小の単位です。1つのグループには、最大16台のユニットを含むことができます。
ブロック　：ブロックは、1つ以上のグループをまとめたものです。
EMブロック：EMブロックは、複数のブロックを1つにまとめたものです。課金按分の単位やAE-200Jと拡張コントローラをまたいだブロック設定をしたい場合に使用します。
フロア　：フロアは、1つ以上のグループを階ごとにまとめたものです。

2-4. 上位システムコントローラと下位システムコントローラについて

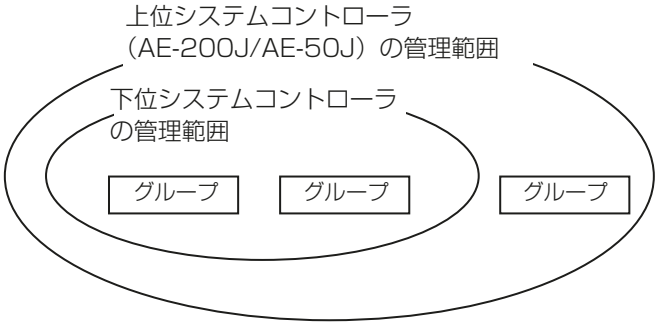
各グループは、上位システムコントローラまたは下位システムコントローラによって管理できます。
AE-200J/AE-50Jは、常に上位システムコントローラとして使用してください。下位システムコントローラとして使用することはできません。

[1] 上位システムコントローラ

他のシステムコントローラとその管理範囲すべてを包含して管理するシステムコントローラを上位システムコントローラといいます。システム内にシステムコントローラが1台しかない場合、そのコントローラは上位システムコントローラになります。初期設定ができるのは、上位システムコントローラからのみです。

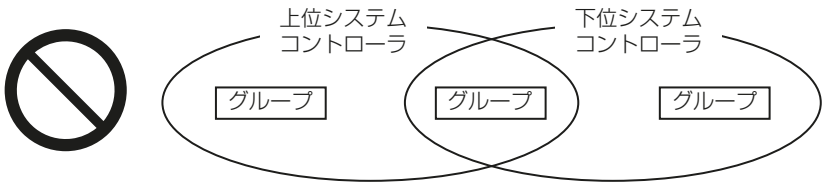
[2] 下位システムコントローラ

上位システムコントローラに管理されるシステムコントローラを下位システムコントローラといいます。

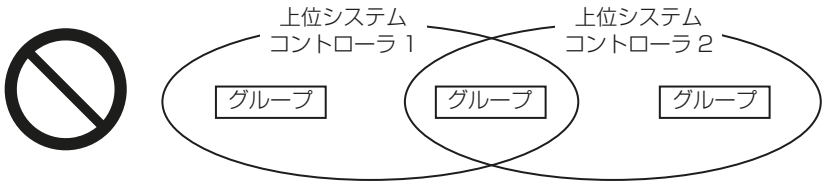


お知らせ

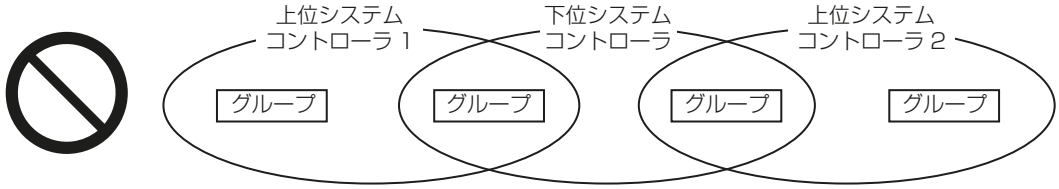
- 次の例のような形態にシステムを構成することはできません。
  - 上位システムコントローラの管理下にないグループは、下位システムコントローラから管理することはできません。



  - 2台以上の上位システムコントローラから同じグループを管理することはできません。



  - 2台以上の上位システムコントローラから下位システムコントローラを管理することはできません。



2-5. 接続可能なユニットの数

以下の表は接続可能なユニットの数をまとめて示しています。

ユニットタイプ	接続可能なユニットの数
各 AE-200J/AE-50J システム内の室内ユニット、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用インターフェース（PAC-YG66DC(1))、計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC(1)）※3、環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1))	最大 50 台（連動ロスナイを含む） AE-200J に AE-50J を接続することで最大 200 台まで管理台数を増やすことができます。
1 グループ内の室内ユニット、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用インターフェイス（PAC-YG66DC(1)）	1 ～ 16 台※1、※2 （室内ユニット、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用インターフェース（PAC-YG66DC(1)）を同じグループ内に登録することはできません。）
1 グループ内のリモコン	0 ～ 2 台
1 グループ内のシステムコントローラ	0 ～ 4 台 （リモコンとシステムコントローラを合わせて最大 4 台まで各グループに割り当てることができます。）
1 台の室内ユニットと連動可能なロスナイ	1 台
1 台のロスナイと連動可能な室内ユニット	1 ～ 16 台

※1　管理可能なユニットの最大数は、汎用インターフェースに使用するチャンネル数によって異なります。

※2　汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1)) の 1 接点は 1 台 (ユニット) に換算されます。

※3　計量用計測コントローラは、AE-200J/AE-50J　1 台あたり 15 台接続でき、AE-200J に AE-50J/EW-50J を組み合わせたシステムでは合計で 20 台接続できます。計量用パルス入力も、1 台とカウントします。

2-6. 製品の機能

以下の表に AE-200J/AE-50J の機能を示します。室内ユニット、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器のことを表中ではグループと記載しています。

機能			内容
通常機能	操作 ※1	運転 / 停止 / 24 時間換気（ロスナイ）※2	対象のグループに属する機器の「運転」「停止」「24 時間換気」（ロスナイ）を切り替えます。
		運転モード	「冷房」「ドライ」「送風」「暖房」「自動」を切り替えます。
		換気モード（ロスナイ）※2	「普通換気」「熱交換換気」「自動換気」を切り替えます。
		風速	2 ～ 4 段階の風速調節と、「自動」を切り替えます。
		風量（ロスナイ）※2	「微弱」「弱」「強」「特強」「自動」を切り替えます。
		設定温度	機器の設定温度を調整します。
		風向	5 段階の風向調節と、「スイング」「自動」を切り替えます。
		加湿（ロスナイ）※2	加湿機能の「運転」「停止」「自動」を切り替えます。
		連動ロスナイの運転 / 停止 / 風量	連動するロスナイの「運転（強）」「運転（弱）」「停止」を切り替えます。
		スケジュール有効 / 無効	スケジュールの「有効」「無効」を切り替えます。
		手元リモコンの操作禁止	手元リモコン操作を無効にできます。
		フィルターサインリセット	「フィルターサイン表示」をリセットできます。
		スケジュール	「週間スケジュール」「年間スケジュール」「当日スケジュール」が設定できます。
		異常リセット	発生中の「異常表示」をリセットできます。
		異常履歴リセット	「異常履歴（ユニット異常、通信異常）」をリセットできます。
		外部入力 ※3	外部入出力アダプタを接続し、外部信号で「緊急停止 / 通常」「緊急停止 復元 / 通常」「運転 / 停止」「手元リモコンの禁止 / 許可」「デマンドレベル」の設定ができます。

機能			内容
通常機能	モニタ	運転 / 停止 / 異常（LED）	ON/OFF/ 点滅（運転 / 停止 / 異常)LED ON…1 つ以上のグループが運転しています。 OFF…全グループが停止しています。※4 点滅…1 つ以上のユニットが異常になっています。
		運転状態（グループ単位）	グループの運転状態を表示します。
		フィルターサイン	フィルター清掃時期になると表示します。
		手元操作禁止	本機が手元リモコンでの操作を禁止している内容を表示します。
		計測状態	「温度・湿度データ」「電力量データ」等を表示します。
		発生中異常	「異常発生中ユニットのアドレス」「異常コード」を表示します。
		異常履歴	過去に発生した異常を、AE-200J、各 AE-50J/EW-50J ごとに最大 128 件表示します。
		外部出力 ※4	別売の外部入出力アダプタを接続し、外部機器に「運転 / 停止」「異常発生」を出力できます。
		エネルギー利用状況	電力量や運転時間等をグラフで確認･比較ができます。USB メモリに CSV 出力できます。
		ランキング	室内ユニットの電力消費量とファンの運転時間をランキング形式で確認できます。USB メモリに CSV 出力できます。
		目標値設定	ブロック別の電力消費量の目標値を設定できます。
		ピークカット制御状況 ※5	ピークカット制御レベルを確認できます。USB メモリに CSV 出力できます。
		エネルギー管理出力	エネルギー管理データを USB メモリに CSV 出力できます。
初期設定機能	メンテナンス	設定データバックアップ / 読み込み	設定データを USB メモリに保存できます。また、USB メモリに保存した設定データを AE-200J/AE-50J/EW-50J に読み込んで復元することができます。
		CSV 出力	運用データ（課金パラメータ、電力量データ）を最大 62 日分（30 分単位は 4 日分）USB メモリに保存できます。
		冷媒量点検サポート	室外ユニットの冷媒量点検のサポート機能です。室外ユニットを設置したときからの冷媒量の変化を表示します。 検査した履歴は、各ユニットごとに最大 10 件保存します。 スケジューリングして自動的に検査することができます。
		タッチパネル補正	タッチパネルのタッチ位置を補正することができます。
		緊急停止解除 ※6	緊急停止の解除ができます。
その他	データのバックアップ	グループ設定情報 / 連動ロスナイ情報	電源が切れても、「グループ設定情報」「連動ロスナイ設定情報」が保持されます。
		異常情報	電源が切れても、「異常履歴データ」が保持されます。
		スケジュール設定	電源が切れても、「グループごとに設定したスケジュール情報」が保持されます。
		現在日時	電源が切れた場合、現在時刻を 3 日間バックアップします。※7
	機器管理	ロック機能	タッチパネル操作をロックすることができます。
		タッチパネル掃除	タッチパネルをロックし、タッチパネルの掃除ができます。
		時刻管理	管理対象の「コントローラ」「ユニット」の時刻合わせをします。（1 日 1 回）

※1　モニタ、操作できる範囲は、機種により異なります。

※2　ロスナイと加熱加湿付ロスナイを指します。

※3　デマンドレベル･緊急停止･運転 / 停止･操作禁止 / 許可の外部入力機能は汎用機器 (PAC-YG66DC(1) 接続) では使用できません。ただし、緊急停止入力は、汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1)) のスイッチ設定により使用できます。

※4　汎用機器 (PAC-YG66DC(1) 接続) の運転状態は出力されません。

※5　別途省エネピークカット制御ライセンスが必要です。

※6　外部入力で緊急停止復元モード（レベル入力）に設定しているときのみ使用できます。

※7　内蔵のコンデンサの充電には約 1 日かかります。コンデンサ交換の必要はありません。

3. 使用方法（基本）

3-1. 監視 / 操作

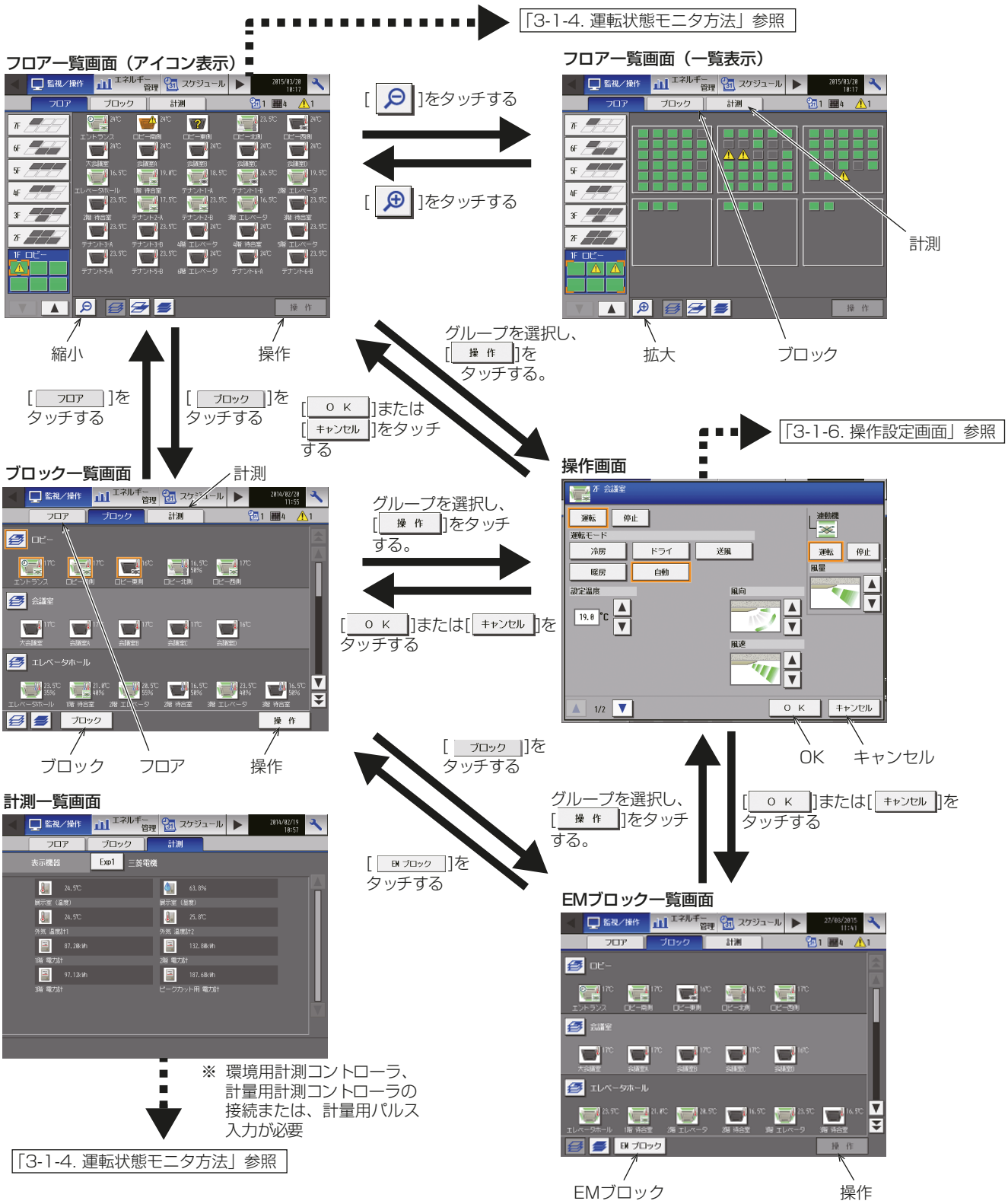
この章では、AE-200J/AE-50J に接続された機器のグループを監視・操作する方法を説明します。

3-1-1. 通常の監視 / 操作

通常の監視操作を行うときは、次の画面を使用します。

フロア一覧画面 ブロック一覧画面 EM ブロック一覧画面	空調機の運転状態を表示します。 通常、本機はこの画面で運用します。
操作画面	空調機の各操作（運転 / 停止、運転モード、風向、風速、設定温度、手元リモコンの操作禁止 / 許可、フィルターサインリセット、スケジュール有効 / 無効）をグループ別、または一括で行います。 **お知らせ** ・ 機種により操作項目は異なります。
計測一覧画面	温度センサ、湿度センサ、電力量計、水道量計などの計測状態を表示します。 （環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラを接続している、または計量用パルスを AE-200J/AE-50J の CN7 に入力されていて、**[機能設定 1]** － **[計測設定]** で設定をしている場合、表示されます。）

3-1-2. 画面の遷移


「3-1-4. 運転状態モニタ方法」参照
フロアー一覧画面（アイコン表示）
フロアー一覧画面（一覧表示）
[ ]をタッチする
[ ]をタッチする
計測
縮小
操作
拡大
ブロック
グループを選択し、[操 作]をタッチする。
[フロア]をタッチする
[ブロック]をタッチする
[O K]または[キャンセル]をタッチする
「3-1-6. 操作設定画面」参照
ブロック一覧画面
計測
操作画面
グループを選択し、[操 作]をタッチする。
[O K]または[キャンセル]をタッチする
ブロック
フロア
操作
OK
キャンセル
[ブロック]をタッチする
グループを選択し、[操 作]をタッチする。
[O K]または[キャンセル]をタッチする
計測一覧画面
[EM ブロック]をタッチする
EMブロック一覧画面
※ 環境用計測コントローラ、計量用計測コントローラの接続または、計量用パルス入力が必要
「3-1-4. 運転状態モニタ方法」参照
EMブロック
操作

3-1-3. アイコンの表示

グループの運転状態がアイコンとして表示されます。アイコンをタッチし、**[操作]** をタッチすると、操作画面を表示します。

[1] 空調機グループ

運転中	停止中	異常発生中	連動ロスナイ運転中 ※1	連動ロスナイ停止中 ※2

スケジュールあり	スケジュール無効	省エネ制御中 ※3、※11	ナイトセットバック運転中 ※9	立ち上げ中 ※10

在室中／不在時 ※4、※5、※6、※13	明るい／暗い ※7、※8、※9、※13	室温の表示 ※12、※13、※14	停止制御中 ※15	AIスマート起動制御中 ※16
（青色） （灰色）	（黄色） （灰色）	（赤色）		

お知らせ

- アイコンは、4方向タイプのほかに、2方向や天吊りタイプ等が選択できます。アイコンの選択は、グループ設定画面で行ってください。

※1 ロスナイがMr. スリムと連動設定されている場合、ロスナイが単体で運転している場合でも、「連動ロスナイ運転中」アイコンが表示されます。

※2 ロスナイが複数のグループの室内ユニットに連動設定されている場合、「連動ロスナイ停止中」アイコンが表示されていても、ロスナイが運転している場合があります。

※3 「省エネ制御中」アイコンは、グループまたはグループに接続されている室外ユニットが省エネ制御中の場合に表示されます。

※4 「在室中／不在時」アイコンは、初期設定の「人感センサ表示」で [ ] (青色)、[ ] (灰色)、または [／] (青色／灰色) が選択されている場合のみ表示されます。

※5 「在室中／不在時」アイコンは、グループのリモコンに人感センサが搭載されている (MEリモコン PAR-F30ME) 場合のみ表示されます。

※6 「在室中／不在時」アイコンは、「連動ロスナイ運転中」アイコンおよび「連動ロスナイ停止中」アイコンに優先して表示されます。

※7 「明るい／暗い」アイコンは、グループのリモコンに照度センサが搭載さている (MEリモコン PAR-F30ME) 場合のみ表示されます。初期設定の「照度センサ表示」で [ ] (黄色)、[ ] (灰色)、または [／] (黄色／灰色) が選択されている場合のみ表示されます。

※8 「明るい／暗い」アイコンは、グループのリモコンに照度センサが搭載されていない場合は表示されません。

※9 「ナイトセットバック運転中」アイコンは、「明るい／暗い」アイコンに優先して表示されます。

※10 立ち上げ後、機器が認識できない場合、このアイコンが表示され続けますので、接続とグループ設定を確認してください。

※11 「省エネ制御中」アイコンは、「室温の表示」アイコンより優先して表示されます。

※12 室温の表示／非表示は初期設定画面で切り替えできます。

※13 初期設定は、液晶画面のユニット情報、または初期設定ツールの基本システム設定、初期設定用Webブラウザの基本システムで行います。設定方法は、「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。

※14 設定温度表示の設定になっている（ユニット情報2画面で「温度表示設定」が **[設定温度表示]** に設定されている）場合および、「表示しない」に設定されている場合は、表示されません。

※15　外部接点／ビル管理システム（BACnet®）での緊急停止やピークカット制御（制御方法：停止、制御時間：30分）が行われている場合に表示されます。

※16　「AIスマート起動中」アイコンは、指定時刻の90分前から指定時刻までの間に表示されます。
なお、指定時刻に室内温度が設定温度に到達していない場合は、指定時刻以降もアイコンが表示され、設定温度に到達するとアイコンが非表示となります。

[2] ロスナイグループ

運転中	停止中	異常発生中	スケジュールあり ※3	スケジュール無効 ※3

省エネ制御中 ※1、※2	24 時間換気中 ※2、※4	ナイトパージ ※3、※4 運転中 / 停止中	停止制御中 ※6
		（青色）／（灰色）※5	

※1　「省エネ制御中」アイコンは、ロスナイグループまたはグループに接続されている室外ユニットが省エネ制御中の場合に表示されます。

※2　「省エネ制御中」アイコンは「24時間換気中」アイコンよりも優先して表示されます。

※3　ナイトパージ運転中にスケジュール設定ありが表示される場合は、表示の優先度は高い方から、「ナイトパージ運転中」→「スケジュールあり」となります。スケジュール無効が表示される場合も、表示の優先度は高い方から、「ナイトパージ運転中」→「スケジュール無効」となります。

※4　ナイトパージ運転中は、「24時間換気中」アイコンは表示されません。

※5　操作設定画面にのみ表示されます。フロア一覧画面やブロック一覧画面には表示されません。

※6　外部接点／ビル管理システム（BACnet®）での緊急停止やピークカット制御（制御方法：停止、制御時間：30分）が行われている場合に表示されます。

[3] 加熱加湿付ロスナイグループ

運転中	停止中	異常発生中	スケジュールあり ※3	スケジュール無効 ※3

省エネ制御中 ※1、※2	24 時間換気中 ※2、※4	ナイトパージ ※3、※4 運転中 / 停止中	室温の表示 ※6、※7、※8	停止制御中 ※9
		（青色）／（灰色）※5	（赤色）	

※1　「省エネ制御中」アイコンは、加熱加湿付ロスナイグループまたはグループに接続されている室外ユニットが省エネ制御中の場合に表示されます。

※2　「省エネ制御中」アイコンは「24時間換気中」アイコンに優先して表示されます。

※3　ナイトパージ運転中にスケジュール設定ありが表示される場合は、表示の優先度は高い方から、「ナイトパージ運転中」→「スケジュールあり」となります。スケジュール無効が表示される場合も、表示の優先度は高い方から、「ナイトパージ運転中」→「スケジュール無効」となります。

※4　ナイトパージ運転中は、「24時間換気中」アイコンは表示されません。

※5　操作設定画面にのみ表示されます。フロア一覧画面やブロック一覧画面には表示されません。

※6　室温の表示／非表示は初期設定画面で切り替えできます。

※7　初期設定は、液晶画面のユニット情報、または初期設定ツールの基本システム設定、初期設定用Webブラウザの基本システムで行います。設定方法は、「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。

※8　設定温度表示の設定になっている（ユニット情報2画面で「温度表示設定」が**［設定温度表示］**に設定されている）場合および、「表示しない」に設定されている場合は、表示されません。

※9　外部接点／ビル管理システム（BACnet®）での緊急停止やピークカット制御（制御方法：停止、制御時間：30分）が行われている場合に表示されます。

[4] 汎用機器グループ

運転中	停止中	異常発生中	スケジュールあり ※1	スケジュール無効

お知らせ

- 照明アイコンのほかに、ポンプやカードキーアイコン等が選択できます。アイコンの選択は、グループ設定画面で行ってください。

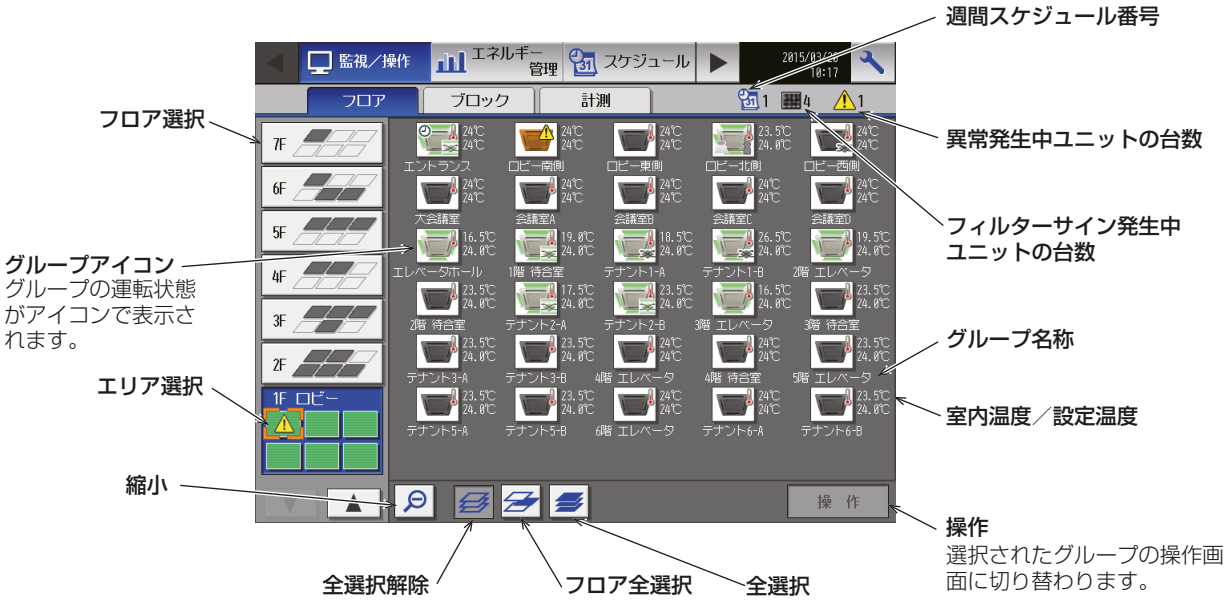
※1　操作禁止に設定されている（グループ設定画面で、「操作設定」が **[操作禁止]** に設定されている）汎用インターフェースにスケジュールが設定されている場合、「スケジュールあり」アイコンは表示されますが、スケジュール設定による運転は実行されません。

3-1-4. 運転状態モニタ方法

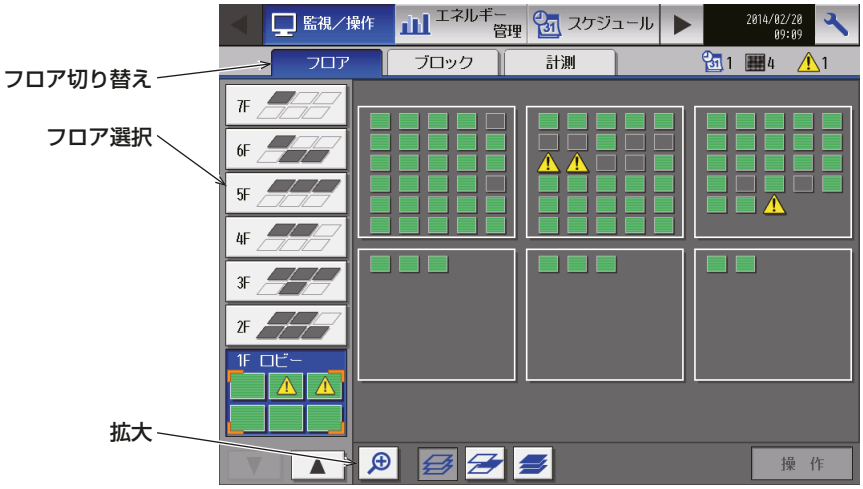
- 空調機、ロスナイ、加熱加湿付ロスナイ、汎用機器の状態をグループ単位、ブロック単位、EMブロック単位またはフロア単位で運転中／停止中／異常発生中のいずれかで表示します。
- **[フロア選択]**を押すことで、他のフロアに配置された機器を確認できます。
- 環境用計測コントローラ、または計量用計測コントローラが接続されている場合、または計量用パルスをAE-200J/AE-50J/EW-50JのCN7に入力されている場合、計測状態を表示することができます。

[1] フロア表示

フロアレイアウト機能を利用しない場合の画面

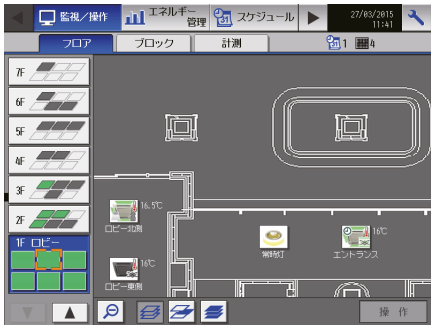


縮小を押した場合の画面

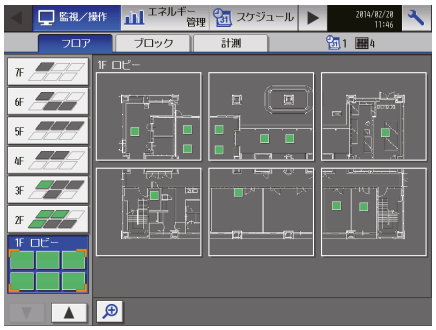


フロアレイアウト機能を利用した場合の画面

拡大画面



縮小画面

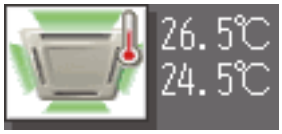


項目	内容
フロア選択	監視したいフロアを選択します。
エリア選択	選択されたフロアの監視したいエリアを選択します。
グループ名称	グループの名称が表示されます。
室内温度／設定温度	室内温度や設定温度が表示されます。 **お知らせ** ・ 表示される温度は、実際の室内温度とは異なる場合があります。 特に暖房モードで停止中の場合は、温度が高くなることがあります。 ・ 室内温度の表示／非表示、設定温度の表示は、初期設定ツールの **[基本システム]** と液晶画面の **[ユニット情報2]** で設定できます。 設定によって以下の通りに表示されます。 ・ **[室内温度常時表示]**、**[室内温度運転中表示]** の場合： 室内温度 ・ **[設定温度表示]** の場合： 設定温度 ・ **[室内温度常時表示・設定温度表示]**、**[室内温度運転中表示・設定温度表示]** の場合： 上段：室内温度 下段：設定温度 ・ 設定温度表示としている場合で、デュアルオートモードで動作しているときは、動作目標としている温度が表示されます。
週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュール番号が表示されます。（「3-3. スケジュール」参照）
フィルターサイン発生中ユニットの台数 ※1	フィルターサインが発生しているユニットの台数が表示されます。「▦」をタッチすると、フィルターサイン発生中ユニット画面が表示されます。（「3-4-2. フィルターサイン画面」参照）
異常発生中ユニットの台数 ※1	AE-200J/AE-50J/EW-50J の制御下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。「⚠」をタッチすると、異常発生中ユニット画面が表示されます。（「3-4-1. 異常発生中画面」参照） **お知らせ** ・ AE-50J には AE-200J/EW-50J の異常は表示されません。
全選択解除	全てのグループの選択を解除します。
フロア全選択	選択された 1 フロアの全てのグループを選択します。
全選択	建物内の全てのフロアの全てのグループを選択します。
縮小	フロアの状態が表示されます。
拡大	エリアの状態が表示されます。

※1　フィルターサイン・異常発生中ユニットの台数が「0」の場合、この情報は表示されません。

[2] ブロック表示

[監視/操作] ― **[ブロック]** をタッチします。

項目	内容
ブロック選択	ブロック単位で操作する場合に使用します。 「3-1-5. 操作・設定対象の選択」参照
ブロック名称	ブロックの名称が表示されます。 **お知らせ** • AE-50J/EW-50Jに接続のブロック名称は、"Exp"（AE-50J/EW-50J番号）：ブロック名称で表示されます。
グループアイコン	グループに登録されている機器の種類および状態が表示されます。
グループ名称	グループの名称が表示されます。
室内温度／設定温度	室内温度や設定温度が表示されます。 **お知らせ** • 表示される温度は、実際の室内温度とは異なる場合があります。 特に暖房モードで停止中の場合は、温度が高くなる場合があります。 • 室内温度の表示／非表示、設定温度の表示は、初期設定ツールの **[基本システム]** と液晶画面の **[ユニット情報2]** で設定できます。 詳細は、「取扱説明書　初期設定編」を参照ください。 設定によって以下の通りに表示されます。 • **[室内温度常時表示]**、**[室内温度運転中表示]** の場合： 26.5℃ 室内温度 • **[設定温度表示]** の場合： 24.5℃ 設定温度 • **[室内温度常時表示・設定温度表示]**、**[室内温度運転中表示・設定温度表示]** の場合：  26.5℃ 上段：室内温度 24.5℃ 下段：設定温度 • 設定温度表示としている場合で、デュアルオートモードで動作しているときは、動作目標としている温度が表示されます。
週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュール番号が表示されます。（「3-3. スケジュール」参照）
フィルターサイン発生中ユニットの台数 ※1	フィルターサインが発生しているユニットの台数が表示されます。「▦」をタッチすると、フィルターサイン発生中ユニット画面が表示されます。（「3-4-2. フィルターサイン画面」参照）

項目	内容
異常発生中ユニットの台数 ※1	AE-200J/AE-50J/EW-50J の制御下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。「⚠」をタッチすると、異常発生中ユニット画面が表示されます。（「3-4-1. 異常発生中画面」参照） お知らせ ・ AE-50J には他の AE-200J/AE-50J/EW-50J の異常は表示されません。
全選択解除	全てのグループの選択を解除します。
全選択	建物内の全てのブロックの全てのグループを選択します。
表示切り替え	ブロック画面と EM ブロック画面を切り替えます。

※1　フィルターサイン・異常発生中ユニットの台数が「0」の場合、この情報は表示されません。

[3] EM ブロック表示

[監視/操作] ― **[ブロック]** をタッチします。

項目	内容
EM ブロック選択	EM ブロック単位で操作する場合に使用します。 「3-1-5. 操作・設定対象の選択」参照
EM ブロック名称	EM ブロックの名称が表示されます。
グループアイコン	グループに登録されている機器の種類および状態が表示されます。
グループ名称	グループの名称が表示されます。
室内温度／設定温度	室内温度や設定温度が表示されます。 **お知らせ** ・表示される温度は、実際の室内温度とは異なる場合があります。 特に暖房モードで停止中の場合は、温度が高くなる場合があります。 ・室内温度の表示／非表示、設定温度の表示は、初期設定ツールの **[基本システム]** と液晶画面の **[ユニット情報2]** で設定できます。 詳細は、「取扱説明書　初期設定編」を参照ください。 設定によって以下の通りに表示されます。 ・**[室内温度常時表示]**、**[室内温度運転中表示]** の場合： 室内温度 ・**[設定温度表示]** の場合： 設定温度 ・**[室内温度常時表示・設定温度表示]**、**[室内温度運転中表示・設定温度表示]** の場合： 上段：室内温度 下段：設定温度 ・設定温度表示としている場合で、デュアルオートモードで動作しているときは、動作目標としている温度が表示されます。
週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュール番号が表示されます。（「3-3. スケジュール」参照）
フィルターサイン発生中ユニットの台数 ※1	フィルターサインが発生しているユニットの台数が表示されます。「▦」をタッチすると、フィルターサイン発生中ユニット画面が表示されます。（「3-4-2. フィルターサイン画面」参照）

項目	内容
異常発生中ユニットの台数 ※1	AE-200J/AE-50J/EW-50J の制御下の機器で、異常が発生しているユニットの台数が表示されます。「⚠」をタッチすると、異常発生中ユニット画面が表示されます。（「3-4-1. 異常発生中画面」参照） **お知らせ** • AE-50J には他の AE-200J/AE-50J/EW-50J の異常は表示されません。
全選択解除	全てのグループの選択を解除します。
全選択	建物内の全ての EM ブロックの全てのグループを選択します。
表示切り替え	ブロック画面と EM ブロック画面を切り替えます。

※1　フィルターサイン・異常発生中ユニットの台数が「0」の場合、この情報は表示されません。

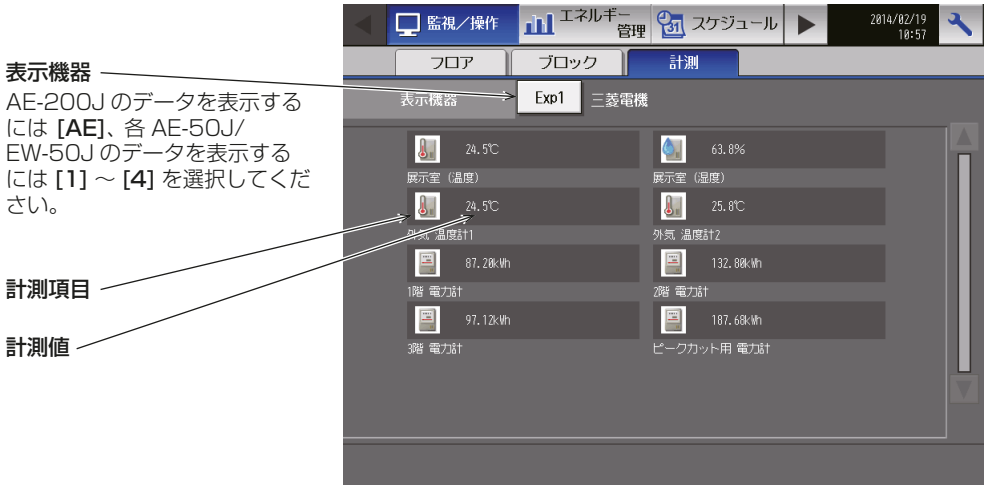
[4] 計測表示

(1) 計測状態のモニタ

[監視 / 操作] − [計測] をタッチして、計測状態のモニタ画面を表示します。
温度センサ、湿度センサ、および計量計による計測状態を表示します。

お知らせ

- この画面で計測データを表示させるには、**[機能設定 1] − [計測設定]** の計測設定画面で計測設定が必要です。詳細は、「取扱説明書　初期設定編」を参照ください。
- 温度と湿度の計測には、環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC(1)）および市販の温度センサと湿度センサが必要です。
- 電力・水・熱・ガスの消費量を計測するには、計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC(1)）および市販の計量計が必要です。
  AE-200J/AE-50J の CN 7 に直接計量用のパルスを入力する場合は、計量用計測コントローラは必要ありません。
- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が **[利用する]** に設定されている場合に、「表示機器」の設定が AE-200J の画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を **[AE200]**、**[Exp1]** ～ **[Exp4]** と切り替えて AE-200J と各 AE-50J/EW-50J のデータを個別に表示させください。



お知らせ

- 温度や湿度に対する補正は、**[初期設定]** − **[計測設定]** から行ってください。詳細は、「取扱説明書　初期設定編」を参照ください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>計測値</td><td>
現在の計測値が表示されます。
お知らせ
・各計測計が以下のアイコンで表示されます。計測値が、計測設定画面で設定された上限警報値または下限警報値を超えている場合は、アイコンが橙色で表示されます。
<table>
<tr><th></th><th>正常時</th><th>上下限警報値
発生中（橙色）</th><th>通信異常発生中 /
センサ異常
（橙色）</th></tr>
<tr><td>温度センサ</td><td> </td><td> </td><td> ※1</td></tr>
<tr><td>湿度センサ</td><td> </td><td> </td><td> ※1</td></tr>
<tr><td>計量計</td><td> </td><td></td><td> ※2</td></tr>
</table>
※1　通信異常が発生した場合、温度センサまたは湿度センサの計測値は「--」と表示されます。
※2　通信異常が発生した場合、計量計の計測値は、異常検出直前の値が表示されます。
※3　AE-200J と AE-50J/EW-50J 間の通信異常が発生した場合、計量計の計測値は「---」と表示されます。
</td></tr>
</table>

3-1-5. 操作・設定対象の選択

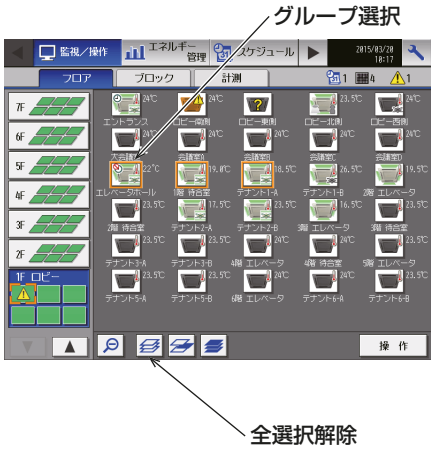
監視／操作画面で、対象のグループアイコンを選択し（複数選択可）、**[操作]** をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。

[1] グループアイコンの選択

手順

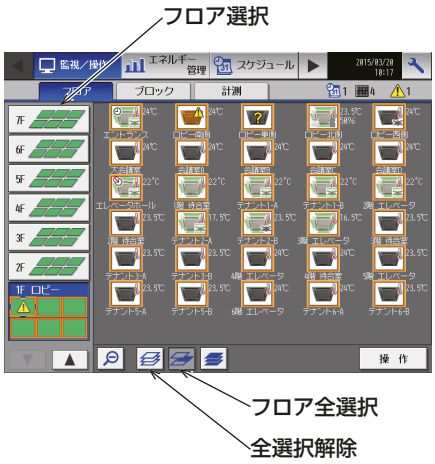
1. 特定のグループを選択する

   [フロア] または **[ブロック]** 表示で、操作したいグループのアイコンを選択します（複数グループ選択可）。選択されたグループアイコンにはオレンジの枠が表示されます。
   選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。全グループの選択を解除するには **[全選択解除]** をタッチしてください。



2. 選択しているフロアの全てのグループを選択する

   [フロア] 表示のフロア選択欄で操作したいフロアをタッチし、**[フロア全選択]** をタッチします。選択されたフロアとそのフロアのグループアイコンにはオレンジの枠が表示されます。
   全グループの選択を解除するには **[全選択解除]** をタッチしてください。



3. 建物内の全てのグループを選択する

   [フロア] または **[ブロック]** 表示で、**[全選択]** をタッチします。全てのフロアとグループアイコンにはオレンジの枠が表示されます。
   全グループの選択を解除するには **[全選択解除]** をタッチしてください。

4. 選択しているブロックの全てのグループを選択する

[**ブロック**] または [**EM ブロック**] 表示で、[**ブロック全選択**] をタッチします。選択されたブロックとそのブロックのグループアイコンにはオレンジの枠が表示されます。
選択を解除するには再度アイコンをタッチしてください。全グループの選択を解除するには [**全選択解除**] をタッチしてください。

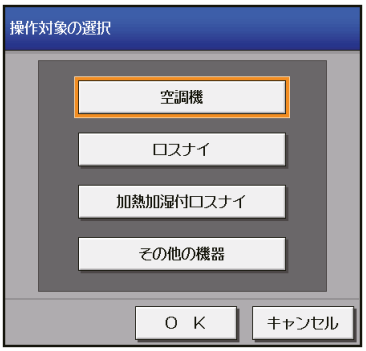
[2] グループ別の操作設定

(1) 選択したグループアイコンがすべて同じグループ（機器）の場合

操作対象のグループ選択後、[**操作**] をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。
操作設定については関連ページを参照してください。「3-1-6. 操作設定画面」参照

(2) 選択したグループアイコンが異なるグループ（機器）の場合

操作対象のグループ選択後、[**操作**] をタッチすると、機器の種類を選択する画面が表示されます。
機器の種類をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示されます。操作設定については関連ページを参照してください。「3-1-6. 操作設定画面」参照



お知らせ

- 複数の機器の種類を選択した場合、操作できる項目は [**運転**／**停止**] スケジュール [**有効**／**無効**] に限られます。
- その他の機器は汎用機器グループです。

3-1-6. 操作設定画面

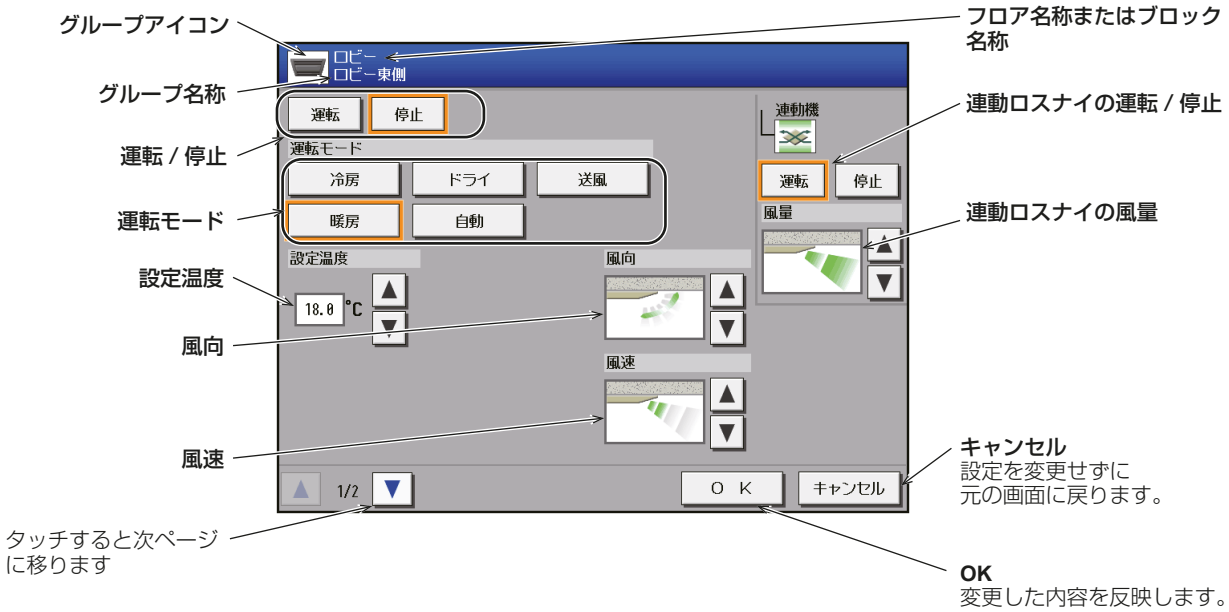
監視 / 操作画面で、対象のグループアイコンを選択し、[**操作**] をタッチすると、そのグループの操作設定画面が表示され、現在の運転状態が確認できます。操作したい設定を変更し、[OK] をタッチして変更内容を反映します。設定を変更せずに前の画面に戻る場合は、[**キャンセル**] をタッチします。

お知らせ

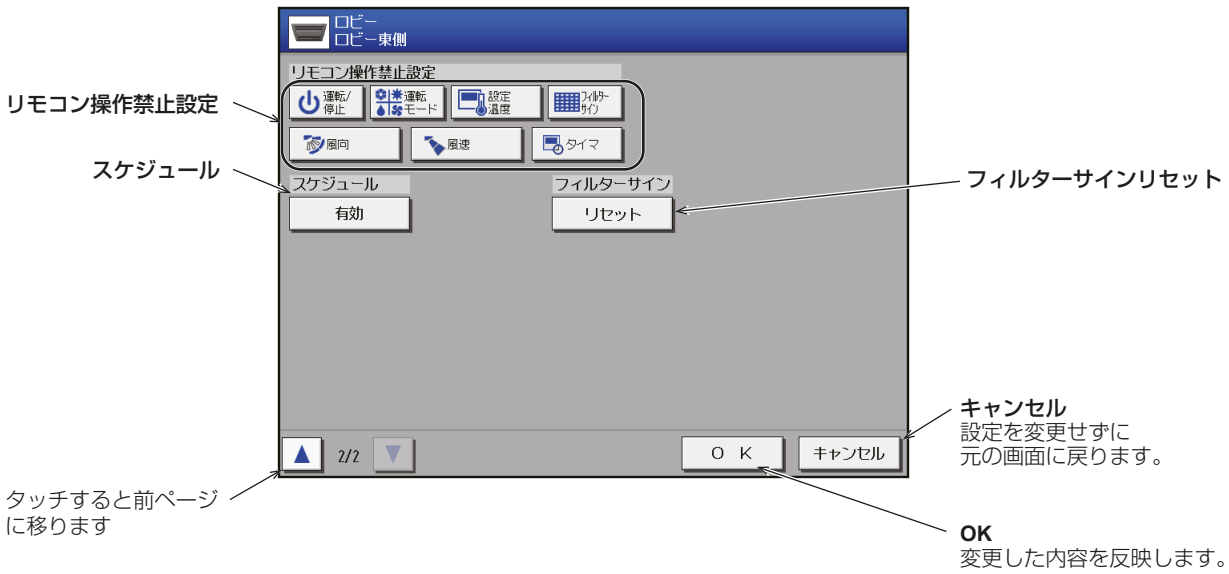
- 選択されているボタンにはオレンジ色の枠が表示されます。
- 表示は画面を開いたときのもので、表示中に運転状態に変化があったとしても更新されません。

[1] 空調機グループの場合

1 ページ目

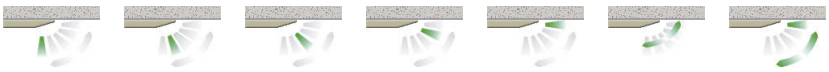


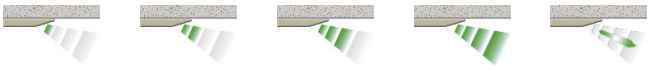
2 ページ目



<table>
<tr><th>項目</th><th>操作方法</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>運転／停止</td><td>運転 / 停止を選択します。</td><td>[運転] または [停止] をタッチして、対象のグループに属するユニットの運転 / 停止を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>運転モード</td><td>運転モードを選択します。</td><td>設定したい運転モードをタッチします。
「冷房」「ドライ」「送風」「暖房」「自動」から選択します。

お知らせ
• 冷暖切り替え機種で、冷房と暖房が混在した場合、後でモードを変更したグループはモード変更されず、選択した運転モードの枠が薄いオレンジ色になります。
• 機種により操作可能なモードは異なります。</td></tr>
<tr><td>設定温度</td><td>右の▲ ▼で温度を設定します。</td><td>上ボタンを押すと、温度が上昇し、下ボタンを押すと下降します。温度の設定可能範囲は、モード、機種によって違います。
<table>
<tr><td>機種</td><td>冷房・ドライ</td><td>暖房</td><td>自動</td></tr>
<tr><td>通常機種</td><td>19 ～ 30℃</td><td>17 ～ 28℃</td><td>19 ～ 28℃</td></tr>
<tr><td>中温機種（シティマルチ）</td><td>14 ～ 30℃</td><td>17 ～ 28℃</td><td>17 ～ 28℃</td></tr>
<tr><td>中温機種（Mr. スリム）</td><td>10 ～ 30℃</td><td>14 ～ 28℃</td><td>14 ～ 28℃</td></tr>
</table>
（機種機能による制限や設定温度範囲制限機能等の設定値により温度設定範囲が制限される場合があります。また、自動の設定が出来ない場合もあります。）

お知らせ
• 同一の室内ユニットに対して、複数の操作機（システムコントローラ、リモコン）から運転モードの変更と設定温度の変更をほぼ同時に行った場合、設定可能範囲外の表示となることがあります。
• 機種により 0.5℃単位または 1℃単位で設定できます。
• 室内ユニットがデュアルオートモードに対応している場合は、自動モード設定時には２種類の設定温度（冷房と暖房）を設定することができます。
• 操作グループにデュアルオートモード対応ユニットと非対応ユニットが混在している場合、設定温度は非対応ユニットが適用され、自動モード時に２種類の設定温度が設定できません。</td></tr>
<tr><td>風向</td><td>右の▲ ▼で風向を設定します。</td><td> 
（中３）　（中２）　（中１）　（中０）　（水平）　（自動）　（スイング）

お知らせ
• 機種によって、スイング、自動表示が出ない場合もあります。
• 風向は、４段階および５段階の機種があります。
• Mr. スリム機種、ルームエアコン機種では「自動」は表示されません。</td></tr>
<tr><td>風速</td><td>右の▲ ▼で風速を設定します。</td><td> 
（弱）　（中２）　（中１）　（強）　（自動）

お知らせ
• 機種によって、自動表示が出ない場合もあります。風速は、２段階および３段階機種があります。
• Mr. スリム機種、ルームエアコン機種では「自動」は表示されません。</td></tr>
</table>

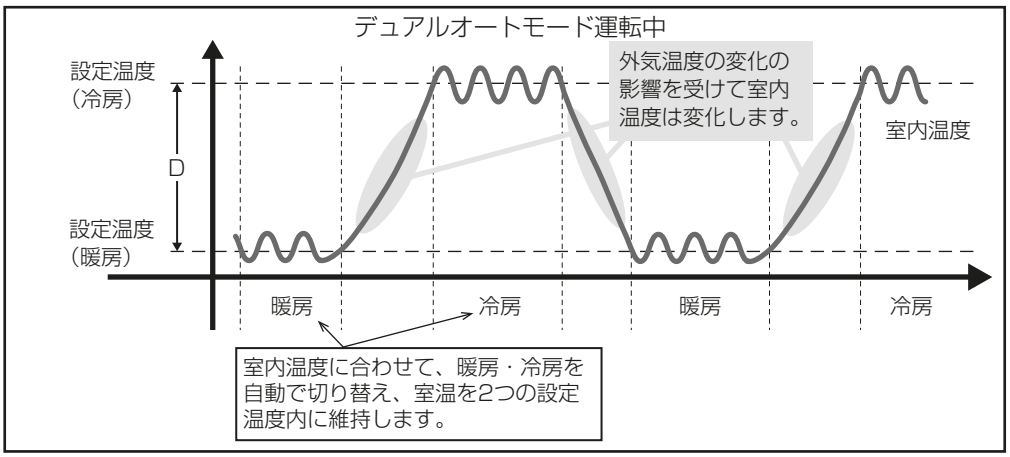
<table>
<tr><th>項目</th><th>操作方法</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>リモコン操作
禁止設定</td><td>リモコン操作禁止設定のそれぞれのボタンを押し、リモコン操作の許可 / 禁止を切り替えます。禁止項目は、運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセット、風向、風速、タイマの 7 項目です。</td><td>操作許可と操作禁止が切り替わります。
<table>
<tr><th></th><th>操作許可</th><th>操作禁止</th></tr>
<tr><td>運転／停止</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>運転モード</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>設定温度</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>フィルターサインリセット</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>風向</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>風速</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>タイマ</td><td></td><td></td></tr>
</table>
お知らせ
• 操作禁止に設定した項目は手元リモコン操作が禁止されます。
• タイマを禁止にすると手元リモコンで設定したスケジュールが動作しなくなります。
• 機種により選択可能な項目が異なります。</td></tr>
<tr><td>スケジュール
有効／無効</td><td>スケジュール有効 / 無効を選択します。</td><td>ボタンを押すたびに、[有効] と [無効] が切り替わります。
お知らせ
• [無効] とした場合、スケジュールが設定されていても動作しません。</td></tr>
<tr><td>フィルターサイン
リセット</td><td>フィルターサインリセットを選択した状態で、[OK] を押します。</td><td>フィルター清掃時期の表示をリセットします。（積算時間がリセットされます。）
お知らせ
• フィルター清掃後に行ってください。
• フィルターサインをリセットしても、手元リモコンのフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。</td></tr>
<tr><td>連動ロスナイの
運転/ 停止</td><td>連動ロスナイの運転 / 停止を選択します。</td><td>選択した運転状態のボタンにオレンジの枠が表示されます。</td></tr>
<tr><td>連動ロスナイの
風量</td><td>右の▲ ▼で連動機の風量を設定します。</td><td>（弱）　（強）
お知らせ
• 機種によって、風量設定機能がない場合もあります。</td></tr>
<tr><td>OK</td><td>[OK] を押し、設定を反映させます。</td><td>[OK] を押すと、設定を確定し、設定画面に移行する前の画面（フロア一覧画面もしくはブロック一覧画面）に戻ります。</td></tr>
<tr><td>キャンセル</td><td>[キャンセル] を押し、設定を元の状態に戻します。</td><td>設定を設定前の状態に戻し、設定画面に移行する前の画面（フロア一覧画面もしくはブロック一覧画面）に戻ります。</td></tr>
</table>

※ [OK] を押した後、連動ロスナイの運転状態の表示は、画面にすぐには反映されません。

※ 連動ロスナイが停止表示の場合でもロスナイが複数の室内ユニットに連動設定されている場合は、ロスナイは他の室内ユニットに連動している場合があります。

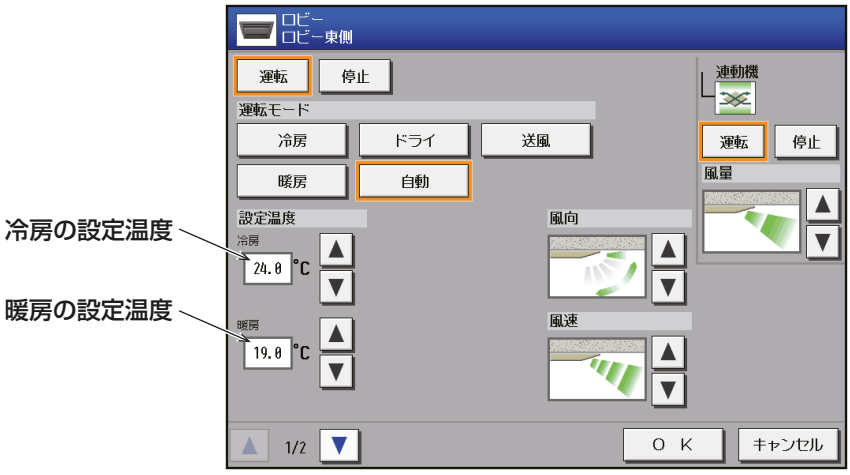
お知らせ

デュアルオートモード対応の室内ユニットでは、冷房･暖房の２つの設定温度が設定でき、運転中は室内温度により室内ユニットが自動的に冷房と暖房を切り替え、２つの設定温度内に室内温度を維持します。
下図はデュアルオートモードで動作中のユニットの動作パターンを示します。

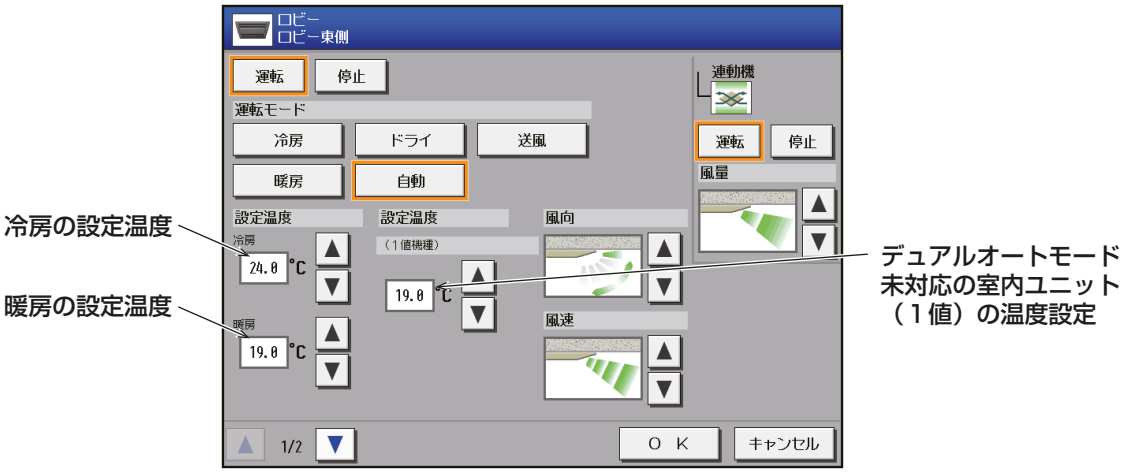


選択したグループアイコンの室内ユニットが、デュアルオートモードに対応している場合、冷房と暖房の両方の設定ができます。

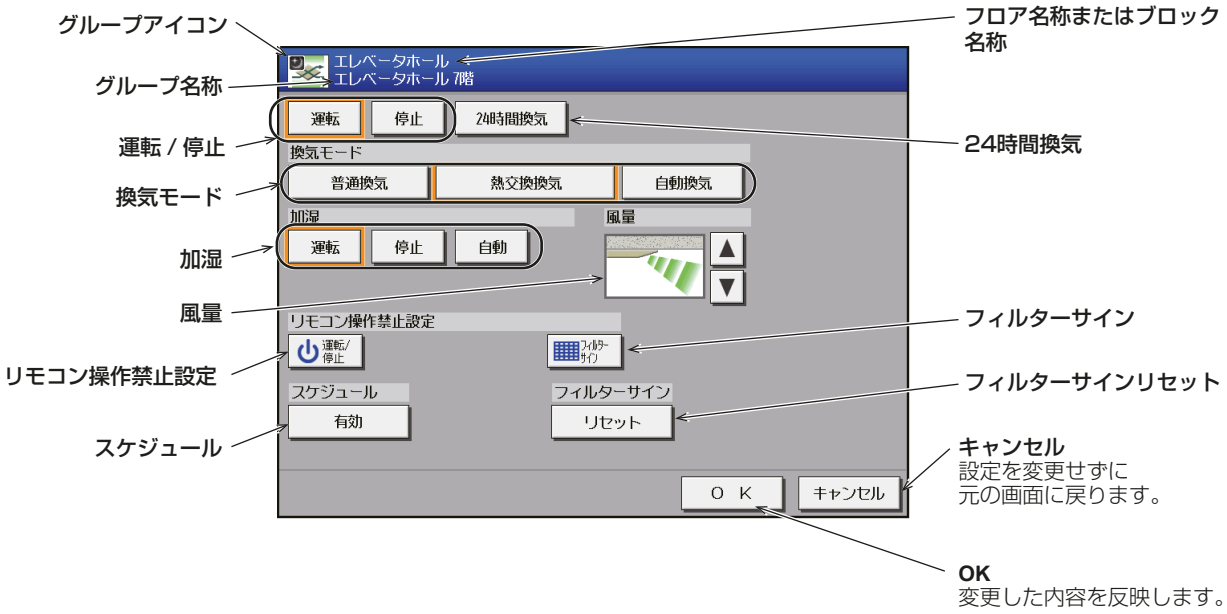
（1）デュアルオートモード対応の室内ユニットのみのグループの場合

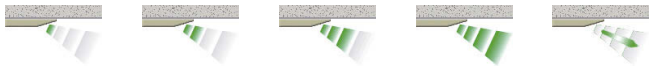


(2) デュアルオートモード対応のグループと未対応のグループを、混在して選択した場合



[2] ロスナイグループの場合



項目	操作方法	内容
運転／停止／24 時間換気	運転 / 停止 /24 時間換気を選択します。	**[運転][停止]** または **[24 時間換気]** をタッチして、対象のグループに属するユニットの運転 / 停止 /24 時間換気を切り替えます。 **お知らせ** • 24 時間換気設定が有効の場合のみ、**[24 時間換気]** は表示されます。 • 24 時間換気設定が有効で停止操作する場合、またはナイトパージ運転中に運転 / 停止 /24 時間換気操作する場合、現状の設定や動作を切り替えることとなるため、確認のためのメッセージが表示されます。 • ナイトパージ運転中、停止操作した場合、翌日までナイトパージ運転しません。 • LGH-CX5 以前の機種では **[24 時間換気]** は表示されません。
換気モード	換気モードを選択します。	**[普通換気]**、**[熱交換換気]**、**[自動換気]** をタッチして設定したい換気モードを切り替えます。 **お知らせ** • ナイトパージ運転中・24 時間換気中、または 24 時間換気を選択している場合は表示されません。
加湿	運転 / 停止 / 自動を選択します。	**[運転]**、**[停止]**、**[自動]** をタッチして、加湿機能の状態を切り替えます。 **お知らせ** • 機種によって表示される機能が異なります。 • ナイトパージ運転中･24 時間換気中または 24 時間換気を選択している場合は表示されません。 • **[自動]** はロスナイの設定によっては表示されません。 • 単独加湿ユニットの場合、**[停止]** ボタンが表示されません。また、加湿自動なしの場合、**[運転]** のみ表示されます。
風量	風量の右の上下ボタンで風量を設定します。	 （微弱）（弱）（強）（特強）（自動） **お知らせ** • 24 時間換気を設定すると、表示されません。 • ナイトパージ運転中、風量を変更できます。「自動」は表示されません。 • 風量 1 段機種の場合、風量は表示されません。 • 機種により選択可能な風量が異なります。

<table>
<tr><th>項目</th><th>操作方法</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>リモコン操作
禁止設定</td><td>リモコン操作禁止設定のそれぞれのボタンを押し、リモコン操作の許可 / 禁止を切り替えます。禁止項目は、運転 / 停止、フィルターサインリセットの 2 項目です。</td><td>ボタンを押すたびに、操作許可と操作禁止が切り替わります。
<table>
<tr><th></th><th>操作許可</th><th>操作禁止</th></tr>
<tr><td>運転／停止</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>フィルターサイン
リセット</td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>スケジュール
有効／無効</td><td>スケジュール有効 / 無効を選択します。</td><td>ボタンを押すたびに、[有効] と [無効] が切り替わります。

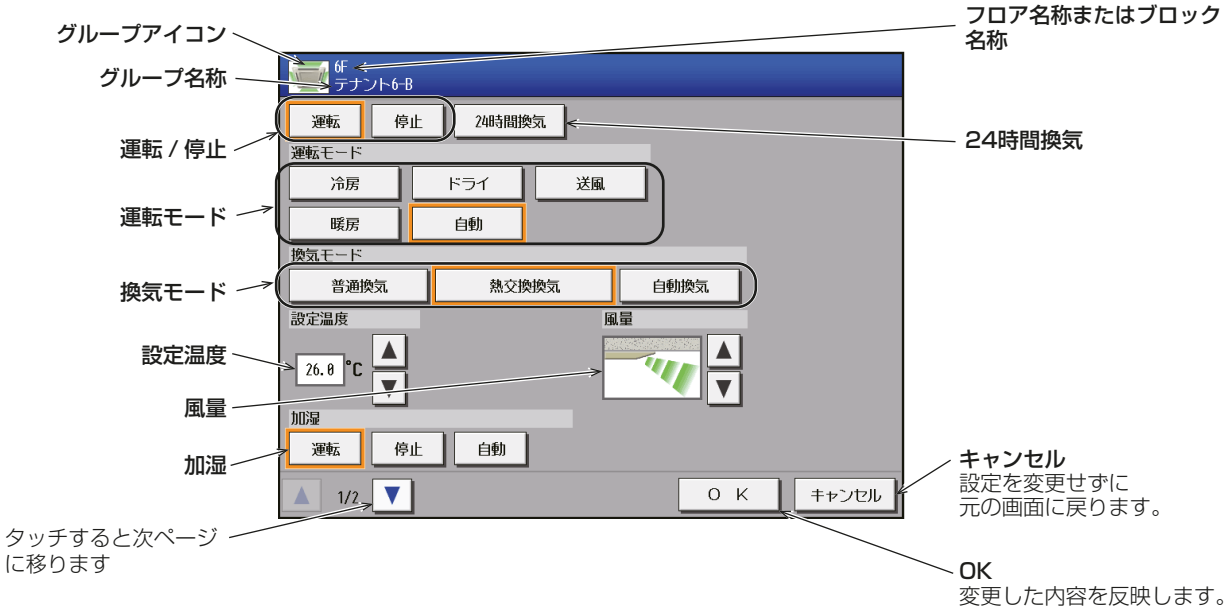
お知らせ
・ [無効] に設定した場合、スケジュールが設定されていても動作しません。</td></tr>
<tr><td>フィルターサイン
リセット</td><td>フィルターサインリセットを選択した状態で、[OK] を押します。</td><td>フィルター清掃時期の表示をリセットします。（積算時間がリセットされます。）

お知らせ
・ フィルター清掃後に行ってください。
・ フィルターサインをリセットしても、手元リモコンのフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。</td></tr>
<tr><td>OK</td><td>[OK] を押し、設定を反映させます。</td><td>[OK] を押すと、設定を確定し、操作画面に移行する前の画面（フロアー覧画面もしくはブロック一覧画面）に戻ります。</td></tr>
<tr><td>キャンセル</td><td>[キャンセル] を押し、設定を元の状態に戻します。</td><td>設定を設定前の状態に戻し、操作画面に移行する前の画面（フロアー覧画面もしくはブロック一覧画面）に戻ります。</td></tr>
</table>

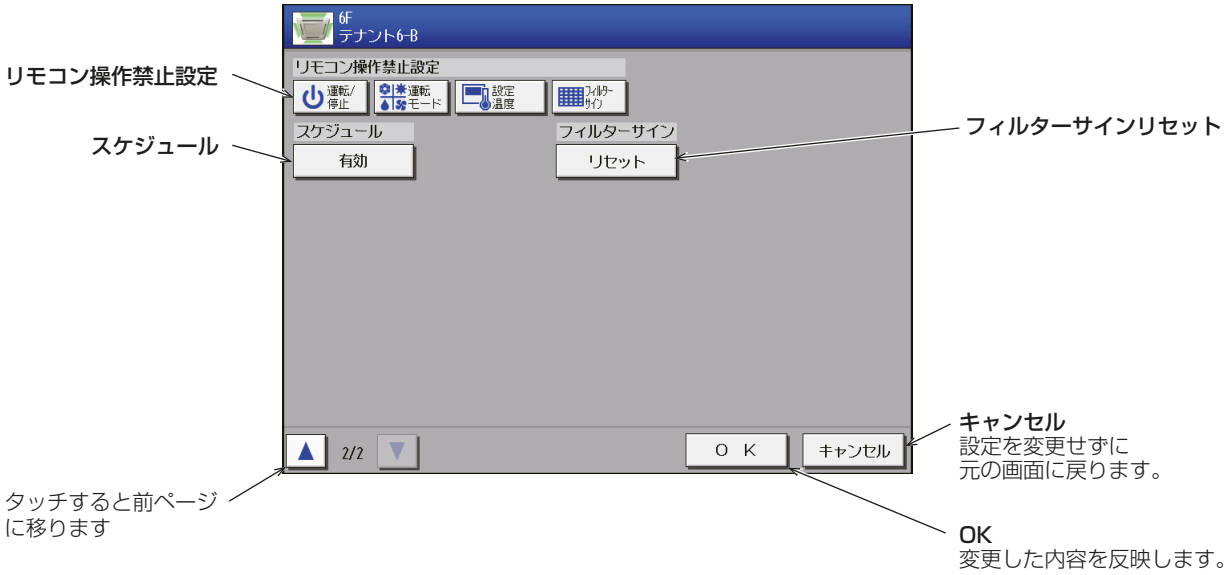
※ グループアイコンは、ナイトパージ設定が有効であり、ナイトパージ運転中は （青色）が表示され、ナイトパージ運転していない場合はナイトパージ停止中アイコン （灰色）が表示されます。

[4] 加熱加湿付ロスナイグループの場合

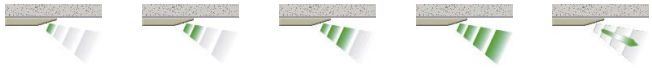
1 ページ目



2 ページ目



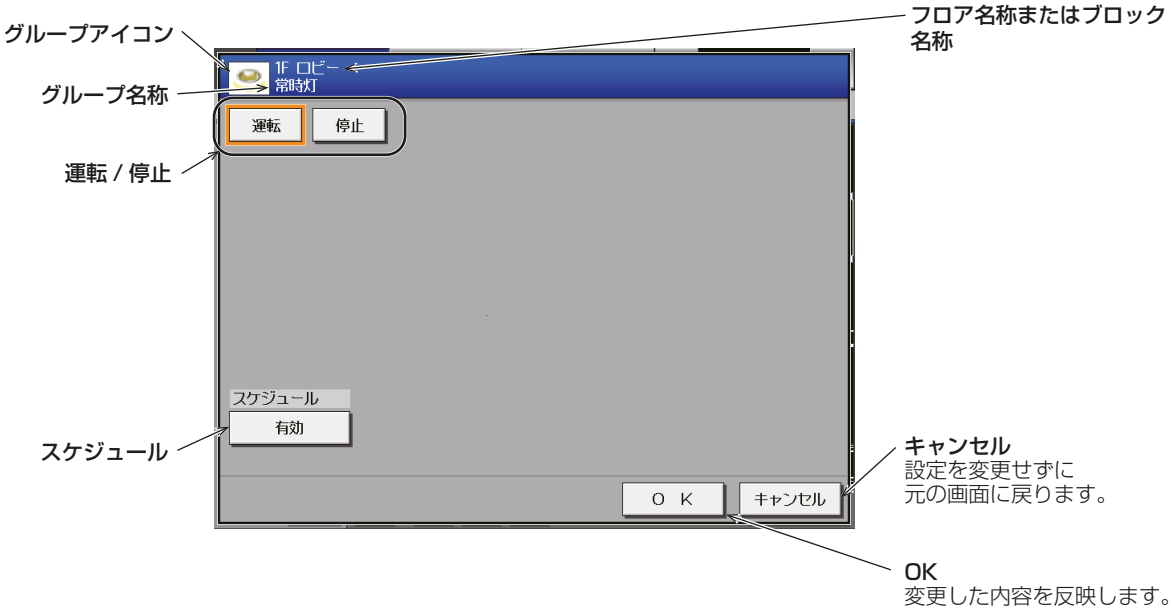
項目	操作方法	内容
運転／停止／24 時間換気	運転 / 停止 /24 時間換気を選択します。	**[運転][停止]** または **[24 時間換気]** をタッチして、対象のグループに属するユニットの運転 / 停止 /24 時間換気を切り替えます。 **お知らせ** • 24 時間換気設定が有効の場合のみ、**[24 時間換気]** は表示されます。 • 24 時間換気設定が有効で停止操作する場合、またはナイトパージ運転中に運転 / 停止 /24 時間換気操作する場合、現状の設定や動作を切り替えることとなるため、確認のためのメッセージが表示されます。 • ナイトパージ運転中、停止操作した場合、翌日までナイトパージ運転しません。

<table>
<tr><th>項目</th><th>操作方法</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>運転モード</td><td>運転モードを選択します。</td><td>選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。
お知らせ
• 冷暖切り替え機種で、冷房と暖房が混在した場合、後でモードを変更したグループはモード変更されず、アイコンが薄いオレンジ色になります。
• 機種により操作可能なモードは異なります。</td></tr>
<tr><td>換気モード</td><td>換気モードを選択します。</td><td>[普通換気]、[熱交換換気]、[自動換気] をタッチして設定したい換気モードを切り替えます。
お知らせ
• ナイトパージ運転中・24 時間換気中、または 24 時間換気を選択している場合は表示されません。</td></tr>
<tr><td>設定温度</td><td>右の▲ ▼で温度を設定します。</td><td>上ボタンを押すと、温度が上昇し、下ボタンを押すと下降します。
<table>
<tr><td>機種</td><td>冷房・ドライ</td><td>暖房</td><td>自動</td></tr>
<tr><td>通常機種</td><td>19 ～ 30℃</td><td>17 ～ 28℃</td><td>19 ～ 28℃</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>風量</td><td></td><td>▲ ▼をタッチして、風量を調整します。
 
（微弱）　（弱）　（強）　（特強）　（自動）
お知らせ
• 機種により選択可能な風量は異なります。
• 「自動」は別売の CO_2 センサを使用したときのみ表示されます。</td></tr>
<tr><td>加湿</td><td>運転 / 停止 / 自動を選択します。</td><td>選択したモードのボタンにオレンジの枠が表示されます。
お知らせ
• 加湿対応機種でも、運転モードにより加湿ボタンが表示されない場合があります。
• ナイトパージ運転中・24 時間換気中、または 24 時間換気を選択している場合は表示されません。</td></tr>
<tr><td>リモコン操作禁止設定</td><td>リモコン操作禁止設定のそれぞれのボタンを押し、リモコン操作の許可 / 禁止を切り替えます。禁止項目は、運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセットの 4 項目です。</td><td>ボタンを押すたびに、[操作許可] と [操作禁止] が切り替わります。
<table>
<tr><td></td><td>操作許可</td><td>操作禁止</td></tr>
<tr><td>運転／停止</td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>運転モード</td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>設定温度</td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>フィルターサインリセット</td><td> </td><td> </td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>スケジュール有効／無効</td><td>スケジュール有効 / 無効を選択します。</td><td>ボタンを押すたびに、[有効] と [無効] が切り替わります。
お知らせ
• [無効] に設定した場合、スケジュールが設定されていても動作しません。</td></tr>
<tr><td>フィルターサインリセット</td><td>フィルターサインリセットを選択した状態で、[OK] を押します。</td><td>フィルター清掃時期の表示をリセットします。（積算時間がリセットされます。）
お知らせ
• フィルター清掃後に行ってください。</td></tr>
<tr><td>OK</td><td>[OK] を押し、設定を反映させます。</td><td>[OK] を押すと、設定を確定し、フロア一覧画面もしくはブロック一覧画面に戻ります。</td></tr>
</table>

項目	操作方法	内容
キャンセル	[**キャンセル**] を押し、設定を元の状態に戻します。	設定を設定前の状態に戻し、フロア一覧画面もしくはブロック一覧画面に戻ります。

※ グループアイコンは、ナイトパージ設定が有効であり、ナイトパージ運転中は （青色）が表示され、ナイトパージ運転していない場合はナイトパージ停止中アイコン （灰色）が表示されます。

[5] 汎用機器グループ（その他の機器）の場合



項目	操作方法	内容
運転／停止	運転 / 停止を選択します。	選択したボタンにオレンジの枠が表示されます。
スケジュール有効／無効	スケジュール有効 / 無効を選択します。	ボタンを押すたびに、[**有効**] と [**無効**] が切り替わります。 **お知らせ** ・ [**無効**] に設定した場合、スケジュールが設定されていても動作しません。
OK	[OK] を押し、設定を反映させます。	[OK] を押すと、設定を確定し、操作画面に移行する前の画面（フロア一覧画面もしくはブロック一覧画面）に戻ります。
キャンセル	[**キャンセル**] を押し、設定を元の状態に戻します。	設定を設定前の状態に戻し、操作画面に移行する前の画面（フロア一覧画面もしくはブロック一覧画面）に戻ります。

3-2. エネルギー管理

空調機の電力使用量や運転時間、外気温度などエネルギー管理に関する情報をグラフに表示することができます。また、電力使用量の目標値を設定することができます。

お知らせ

- エネルギー利用状況やランキングはCSV形式で出力することができます。
- CSV出力されるファイル名やファイル内の日付形式、区切り文字、温度の単位（摂氏・華氏）は初期設定で設定された形式で出力されます。設定方法は「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。

3-2-1. エネルギー利用状況

エネルギー利用状況画面では、電力使用量や運転時間、外気温度など、エネルギー管理に関する状況がグラフに表示されます。対象のユニットに対し、日付指定でグループ、ブロック、エネルギー管理ブロックまたはユニットアドレスごとのデータを表示し、エネルギーの利用状況を詳細に確認することができます。また、他のユニットのエネルギー利用状況を併せて表示し、比較することができます。
時間ごと、日ごと、月ごとのエネルギー利用状況をグラフで表示し、省エネ状況を見える化します。
[エネルギー管理] − **[エネルギー利用状況]** をタッチしてエネルギー利用状況画面を表示します。

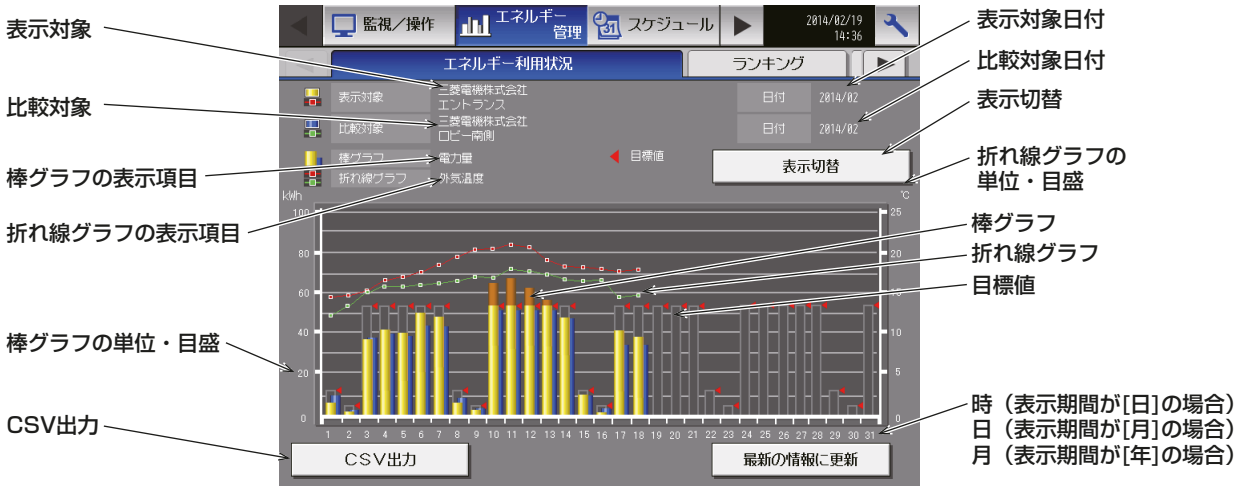
お知らせ

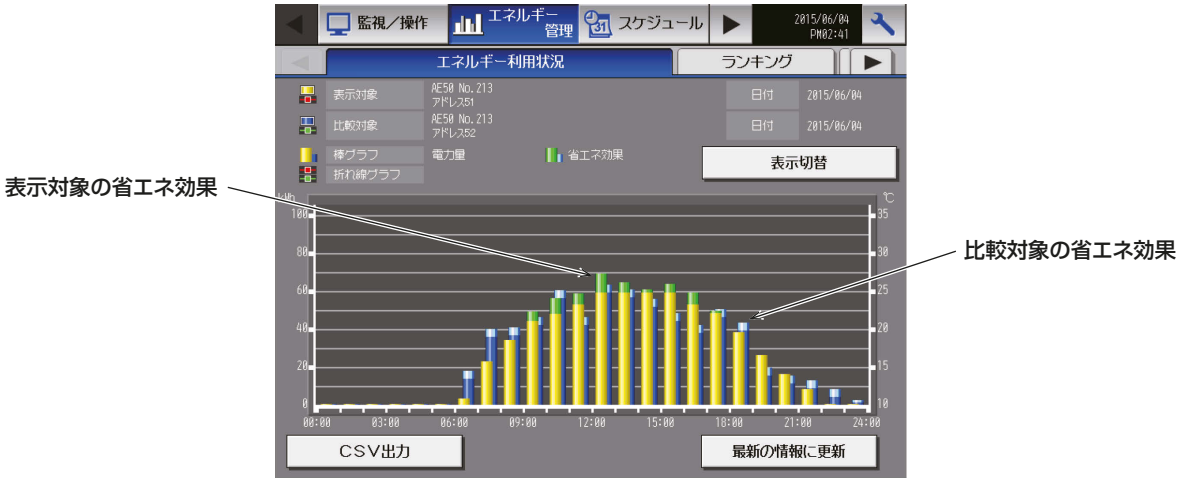
電力量のグラフを表示するには事前に以下の設定が必要です。設定方法の詳細は、「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。

- エネルギー管理設定
  ただし、AE-200Jで電力按分課金支援機能を使用する場合は、エネルギー管理設定は不要です。
- 計測設定

お願い

- 万が一のAE-200J/AE-50J/EW-50Jの故障時に備え、定期的に本画面の **[CSV出力]**（「4-1-3. CSV出力」）もしくは **[エネルギー管理出力]**（「4-1-1. エネルギー管理出力」）により、CSV形式でファイルを保存することを推奨します。
- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が **[利用する]** に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を **[AE200]**、**[Exp1]** ～ **[Exp4]** と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jのデータを個別に表示させてください。





お知らせ

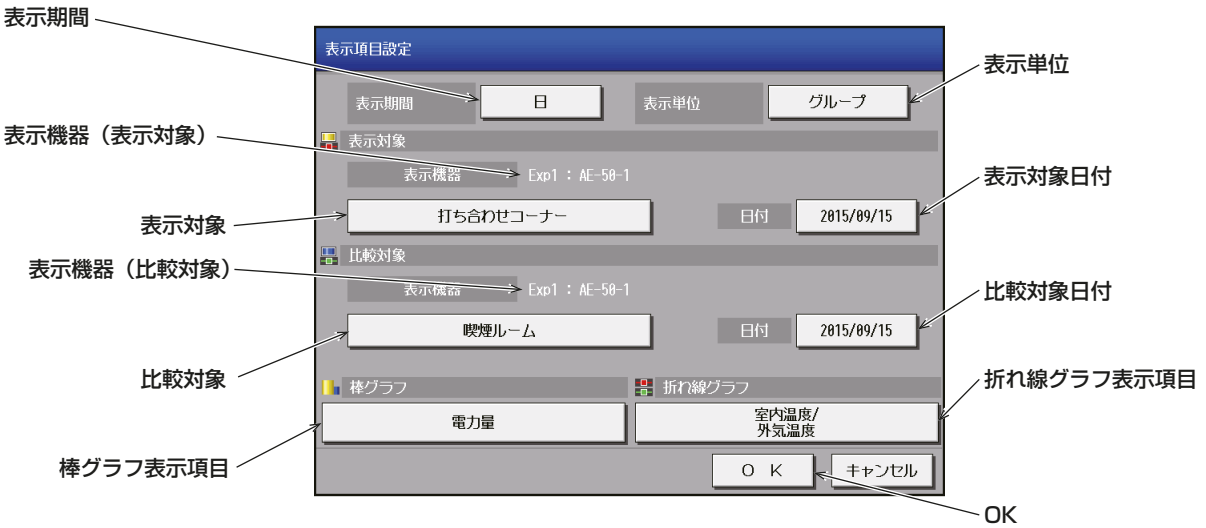
- 形名の末尾がG5以降の室外ユニットまたはH2以降のシティ（ズバ暖）マルチS接続時に、室外ユニットの電力量および省エネ制御を実施した場合の電力量の削減効果（省エネ効果）を確認することができます。

手順

1. **[表示切替]** をタッチして表示項目の設定をする。

お知らせ

- エネルギー利用状況画面以外の画面からエネルギー利用状況画面を表示させたとき、または、**[表示切替]** をタッチし表示項目設定画面で **[OK]** をタッチしたときに、画面を更新して表示します。



項目	内容
表示期間	**[日][月]** または **[年]** を選択します。 **お知らせ** • グラフに表示されるのは、AE-200J/AE-50J/EW-50Jの電源が入っていた間のデータのみです。AE-200J/AE-50J/EW-50Jの電源が切れていた間のデータは表示されません。
表示単位	グラフを表示する対象の単位を **[ブロック]**、**[グループ]**、**[アドレス]**、または **[EM ブロック]** から選択します。

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">表示対象</td><td>
グラフを表示する対象が所属する集中コントローラ（[AE200]、[Exp1] ～ [Exp4]）と EM ブロック名称、ブロック名称、グループ名称、またはアドレス番号を選択します。

「表示単位」が EM ブロックの場合
EM ブロック名称の一覧が表示されます。

お知らせ
・ EM ブロック名称が登録されていないブロックは、["EM ブロック" ＋ EM ブロック番号] を表示します。
・ 汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1)) の EM ブロックは表示されません。

「表示単位」がブロックの場合
ブロック名称の一覧が表示されます。

お知らせ
・ ブロック名称が登録されていないブロックは、[" ブロック" ＋ブロック番号] を表示します。
・ 汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1)) のブロックは表示されません。

「表示単位」がグループの場合
グループ名称の一覧が表示されます。

お知らせ
・ グループ名称が登録されていないグループは、[" グループ" ＋グループ番号] を表示します。
・ 汎用インターフェース (PAC-YG66DC(1)) のグループは表示されません。

「表示単位」がアドレスの場合
アドレスの一覧が表示されます。

お知らせ
・ 計量用パルス入力の値を表示する場合は、最上段の [PI] を選択してください。

</td></tr>
<tr><td>表示対象</td><td>日付</td><td>
グラフを表示するデータの日付を指定します。
エネルギー利用状況データ保存期間
<table>
<tr><th>表示期間</th><th>データ保存期間</th></tr>
<tr><td>日</td><td>当月を含む過去 25 ヶ月分</td></tr>
<tr><td>月</td><td>当月を含む過去 25 ヶ月分</td></tr>
<tr><td>年</td><td>当年を含む過去 3 年分</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td colspan="2">比較対象</td><td>
比較する対象が所属する集中コントローラ（[AE200]、[Exp1] ～ [Exp4]）と EM ブロック名称、ブロック名称、グループ名称、またはアドレスを選択します。
（画面は表示対象と同じです。）

お知らせ
・ 表示対象で選択した「表示単位」（ブロック、グループ、アドレス、EM ブロック）と同じ「表示単位」しか選択できません。
</td></tr>
<tr><td>比較対象</td><td>日付</td><td>グラフを表示するデータの日付を指定します。（画面は表示対象と同じです。）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>棒グラフ</td><td>
棒グラフに表示する項目を選択します。
表示単位は、アドレス、グループ、ブロック、EM ブロックの 4 種類から選択します。表示単位により、グラフ表示ができない項目があります。表示単位を選択すると、表示不可の項目の選択ボタンは画面に表示されなくなります。
それぞれでグラフ表示が可能な項目は以下のとおりです。

お知らせ
・ 選択できる表示項目は、棒グラフのうち 1 つのみです。
・ 折れ線グラフに表示する項目も同時に選択できます。

棒グラフの表示項目
<table>
<tr><th rowspan="2">表示対象</th><th rowspan="2">表示項目</th><th colspan="4">表示単位</th></tr>
<tr><th>アドレス</th><th>グループ</th><th>ブロック</th><th>EM ブロック</th></tr>
<tr><td rowspan="6">室内ユニット</td><td>目標値（kWh）</td><td>－</td><td>－</td><td>○ ※4</td><td>○ ※4</td></tr>
<tr><td>電力量（kWh）※1、※2</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>FAN 運転時間（分）※3</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>サーモ ON 時間（合計）（分）※3</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>サーモ ON 時間（冷房）（分）※3、※5</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>サーモ ON 時間（暖房）（分）※3、※5</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">室外ユニット</td><td>電力量 ※6</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">－</td></tr>
<tr><td>省エネ効果 ※6</td></tr>
<tr><td rowspan="4">計量用計測コントローラ</td><td>計量計 1 の名称</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">－</td><td rowspan="4">－</td><td rowspan="4">－</td></tr>
<tr><td>計量計 2 の名称</td></tr>
<tr><td>計量計 3 の名称</td></tr>
<tr><td>計量計 4 の名称</td></tr>
<tr><td rowspan="4">計量用パルス入力</td><td>計量計 1 の名称</td><td rowspan="4">○</td><td rowspan="4">－</td><td rowspan="4">－</td><td rowspan="4">－</td></tr>
<tr><td>計量計 2 の名称</td></tr>
<tr><td>計量計 3 の名称</td></tr>
<tr><td>計量計 4 の名称</td></tr>
</table>
○：グラフに表示可能な項目
※1　室内ユニットの消費電力量がグラフに表示されます。値は、[機能設定 1] － [エネルギー管理設定] で設定された「室内ユニットの按分モード」に基づき按分されます。
※2　室内ユニットを全く運転していないのに、使用電力量がわずかにグラフ表示されることがありますが、これは待機電力量分が按分されているためです。
※3　選択した項目における室内ユニットの累積運転時間がグラフに表示されます。
・「FAN 運転時間」は、室内ユニットが ON になっている時間の累積値です。
・「サーモ ON 時間（合計／冷房／暖房）」は、室内ユニットに冷媒が流れている時間の累積値です。
（冷房：冷房モード選択時、暖房：暖房モード選択時、合計：どちらかのモード選択時）
※4　目標値は、目標値設定画面から目標電力量値が設定されていて、エネルギー管理設定画面の「室内ユニットの按分元電力量計」で、電力量計が選択されている場合にグラフに表示されます。
※5　連動設定されている外気処理ユニットのアドレスを選択した場合は、選択できません。
※6　室外ユニットの電力量および省エネ効果は、室外ユニットで演算する目安の値となります。
このため、課金設定やエネルギー管理設定に基づき按分された電力量と一致しない可能性があります。

・ 室内ユニットの場合
[電力量]、[FAN 運転時間]、サーモ ON 時間 [合計]、[冷房]、[暖房] の表示項目ボタンが表示されます。選択した「表示単位」で表示不可の表示項目のボタンは表示されません。
ロスナイで、表示単位がグループ、アドレスの場合は、[FAN 運転時間] のみ表示されます。

・ 室外ユニットの場合
[電力量] の表示項目ボタンおよび省エネ効果の表示／非表示を切り替えるためのボタンが表示されます。[電力量] および省エネ効果の表示／非表示を切り替えるためのボタンは、形名の末尾が G5 以降の室外ユニットまたは H2 以降のシティ（ズバ暖）マルチ S のアドレスを表示対象に選択した場合のみ、表示されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>棒グラフ</td><td>
・ 計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC(1)) の場合
計量用コントローラに接続された計量計の名称の表示項目ボタンが表示されます。名称は、計測設定画面で設定された名称です。
名称が登録されていない場合は、計量計の単位がkWhのときは [**電力量 1**]～[**電力量4**]、を、m³のときは [**水量 1**]～[**水量4**] を、MJのときは [**熱量 1**]～[**熱量4**] を表示します。
計量計の単位が無し「--」の場合は棒グラフに表示できません。
また、異なるチャンネル同士の比較はできません。
例） 電力量１と電力量４の比較はできません。異なるチャンネル同士を比較する場合、統合管理ブラウザのエネルギー管理をご利用ください。

・ 計量用パルス入力の場合
AE-200J/AE-50J/EW-50JのCN7に接続された計量計の名称の表示項目ボタンが表示されます。表示項目の詳細については上記計量用計測コントローラ (PAC-YG60MC(1)) と同じです。
</td></tr>
<tr><td>折れ線グラフ</td><td>
折れ線グラフに表示する項目を選択します。

お知らせ
・ 折れ線グラフは、室内ユニットで単位が同じ場合、２つ選択できます。
・ 棒グラフに表示する項目も同時に選択できます。

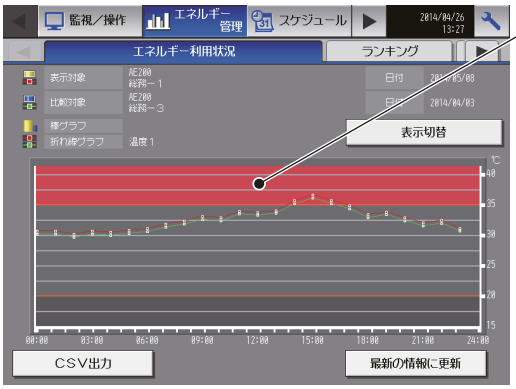
線グラフの表示項目
<table>
<tr><th rowspan="2">表示対象</th><th rowspan="2">表示項目</th><th colspan="4">表示単位</th></tr>
<tr><th>アドレス</th><th>グループ</th><th>ブロック</th><th>EM ブロック</th></tr>
<tr><td>-</td><td>外気温度（℃）（℉）※1,※3</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">室内ユニット</td><td>冷房設定温度（℃）（℉）※1,※2</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>暖房設定温度（℃）（℉）※1,※2</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>室内温度（℃）（℉）※1</td><td>○</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境用計測
コントローラ ※1</td><td>温度センサ１または
湿度センサ１の名称</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
<tr><td>温度センサ２または
湿度センサ２の名称</td><td>○</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table>
○：グラフに表示可能な項目
※1　表示期間で [**日**] が選択されている場合は、毎時00分の温度数値が表示されます。
[**月**] が選択されている場合は、日ごとの平均温度数値が表示されます。
[**年**] が選択されている場合は、月ごとの平均温度数値が表示されます。
※2　デュアルオートモード対応の室内ユニットの場合、運転しているモード（冷房／暖房）の設定温度が表示されます。
※3　[**外気温度**] は、外気温計測ユニットに設定したユニットで計測された値となります。

・ 室内ユニットの場合
[**外気温度**]、[**室内温度**]、[**冷房設定温度**]、[**暖房設定温度**] の表示項目ボタンが表示されます。選択した「表示単位」で表示不可の表示項目のボタンは表示されません。
[**外気温度**] は、[**機能設定 1**] － [**エネルギー管理設定**] で、外気温計測ユニットの設定がされているときにのみ表示されます。
ロスナイは、[**外気温度**] のみ表示されます。

・ 環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) の場合
[**外気温度**] と、環境用計測コントローラ (PAC-YG63MC(1)) に接続されたセンサの名称の表示項目ボタンが表示されます。名称は、計測設定画面で設定された名称です。
[**外気温度**] は、[**機能設定 1**] － [**エネルギー管理設定**] で、外気温計測ユニットの設定がされているときにのみ表示されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>折れ線グラフ</td><td>
お知らせ

環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC(1)）の温度、湿度のグラフを表示したとき、グラフの表示期間内で、[機能設定 1]-[計測設定]で設定できる上限値、または下限値を超えた場合は、本体画面では、グラフの上限値以上、または下限値以下の背景全体が赤色で表示されます。上下限値以内に温度、湿度が戻った場合でも赤色表示のままとなります。



グラフの表示期間内で上限値を一度でも超えた場合グラフ背景が赤色表示されます。
</td></tr>
</table>

2. [OK] をタッチして前の画面に戻ります。
グラフ領域に表示対象のデータと比較対象のデータが、棒グラフおよび線グラフで表示されます。

お知らせ

- 対象データが存在しない場合、グラフは表示されません。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>グラフ領域</td><td>
<table>
<tr><th></th><th>表示対象</th><th>比較対象</th><th>目標値</th><th>省エネ効果（表示対象）</th><th>省エネ効果（比較対象）</th></tr>
<tr><td>棒グラフ</td><td>（黄色）</td><td>（青色）</td><td></td><td>（黄緑色）</td><td>（水色）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">線グラフ</td><td>（赤色）</td><td>（緑色）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>（橙色）</td><td>（青色）</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
お知らせ

「比較対象」を選択しなかった場合は、「表示対象」で選択された項目のデータのみがグラフに表示されます。
現在時刻の設定変更によりデータが存在しない時間帯がある場合は、その期間のデータは表示されません。また現在時刻の設定変更により、時刻の重複が発生した場合は、新しいほうのデータがその重複期間のデータとしてグラフに表示されます。

</td></tr>
</table>

[CSV 出力] をタッチすると、表示されている計測データをCSV形式で出力します。
選択された日付範囲により、以下に示すファイル名と形式で出力されます。

項目	内容
CSV 出力	**手順** 1. カバーを外し、USB メモリ差込口にUSB メモリを挿します。 2. 保存したいデータを表示した状態で **[CSV 出力]** をタッチします。 ■ 保存先 USB メモリのルートフォルダに ￥製造番号￥OperationalData￥EnergyManagement￥ のフォルダを作成し、このフォルダ内に CSV ファイルを保存します。 ■ ファイル名 **「比較対象」で比較対象を選択した場合** 日付範囲：日 EM_DailyTrend_(yyyy)-(mm)-(dd)_(表示対象)_(YYYY)-(MM)-(DD)_(比較対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類 1)_(折れ線グラフ種類2).csv 日付範囲：月 EM_MonthlyTrend_(yyyy)-(mm)_(表示対象)_(YYYY)-(MM)_(比較対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類 1)_(折れ線グラフ種類2).csv 日付範囲：年 EM_AnnualTrend_(yyyy)_(表示対象)_(YYYY)_(比較対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類 1)_(折れ線グラフ種類2).csv **「比較対象」で比較対象を選択しない場合** 日付範囲：日 EM_DailyTrend_(yyyy)-(mm)-(dd)_(表示対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類 1)_(折れ線グラフ種類2).csv 日付範囲：月 EM_MonthlyTrend_(yyyy)-(mm)_(表示対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類 1)_(折れ線グラフ種類2).csv 日付範囲：年 EM_AnnualTrend_(yyyy)_(表示対象)_(棒グラフ種類)_(折れ線グラフ種類 1)_(折れ線グラフ種類2).csv

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>CSV 出力</td><td>
<table>
<tr><th>ファイル名
の内容</th><th colspan="2">形式</th></tr>
<tr><td>(yyyy)</td><td colspan="2">「表示対象日付」で指定した年</td></tr>
<tr><td>(mm)</td><td colspan="2">「表示対象日付」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(dd)</td><td colspan="2">「表示対象日付」で指定した日</td></tr>
<tr><td rowspan="6">（表示対象）</td><td>アドレス</td><td>・室内ユニットの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" + "00"
・室外ユニットの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（051 ～ 100）+ "_" + "00"
・計量用計測コントローラの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +
" 計量計番号 "
・計量用パルス入力の場合
AE 番号 + "–"+"A" + "_" +" 計量計番号（01 ～ 04）"
・環境用計測コントローラの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +
" センサ番号（01 ～ 02）"</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>"G" + グループ番号（001 ～ 050）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>"B" + ブロック番号（001 ～ 050、999、000 ※1）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td>EM ブロック</td><td>"E" + EM ブロック番号（001 ～ 200、999 ※2）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>(YYYY)</td><td colspan="2">「比較対象日付」で指定した年</td></tr>
<tr><td>(MM)</td><td colspan="2">「比較対象日付」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(DD)</td><td colspan="2">「比較対象日付」で指定した日</td></tr>
<tr><td rowspan="6">（比較対象）</td><td>アドレス</td><td>・ 室内ユニットの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +" 00"
・ 室外ユニットの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（051 ～ 100）+ "_" + "00"
・ 計量用計測コントローラの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +
" 計量計番号 "
・ 計量用パルス入力の場合
AE 番号 + "–"+"A" + "_" +" 計量計番号（01 ～ 04）"
・ 環境用計測コントローラの場合
AE 番号 + "–"+"A" + M-NET アドレス（001 ～ 050）+ "_" +
" センサ番号（01 ～ 02）"</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>"G" + グループ番号（001 ～ 050）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>"B" + ブロック番号（001 ～ 050、999、000 ※1）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td>EM ブロック</td><td>"E" + EM ブロック番号（001 ～ 200、999 ※2）+ "_" + "00"</td></tr>
<tr><td rowspan="10">（棒グラフ種類）</td><td colspan="2">B01：電力量（室内ユニット）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B02：FAN 運転時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">B03：サーモ ON 時間（合計）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B04：サーモ ON 時間（冷房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B05：サーモ ON 時間（暖房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B06：計量用計測コントローラ／計量用パルス入力 電力量</td></tr>
<tr><td colspan="2">B07：電力量（室外ユニット）</td></tr>
<tr><td colspan="2">B08：計量用計測コントローラ／計量用パルス入力 水量</td></tr>
<tr><td colspan="2">B09：計量用計測コントローラ／計量用パルス入力 熱量</td></tr>
<tr><td colspan="2">B00：選択無し</td></tr>
<tr><td rowspan="8">（折れ線グラフ種類）</td><td colspan="2">L00：選択無し</td></tr>
<tr><td colspan="2">L01：設定温度（冷房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">L02：設定温度（暖房）</td></tr>
<tr><td colspan="2">L03：室内温度</td></tr>
<tr><td colspan="2">L04：環境用計測コントローラ 温度</td></tr>
<tr><td colspan="2">L06：外気温度</td></tr>
<tr><td colspan="2">L08：環境用計測コントローラ 湿度</td></tr>
</table>
※1　"B999" = 全ブロックの合計、"B000" = 未登録ブロック
※2　"E999" = 全 EM ブロックの合計
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>CSV 出力</td><td>

■ ファイル形式

<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>日付範囲</th><th>形式</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1 行目</td><td rowspan="3">ファイル区分</td><td>日</td><td>401</td></tr>
<tr><td>月</td><td>402</td></tr>
<tr><td>年</td><td>403</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2 行目</td><td rowspan="3">日付</td><td>日</td><td>yyyy/mm/dd:YYYY/MM/DD ※1</td></tr>
<tr><td>月</td><td>yyyy/mm:YYYY/MM ※1</td></tr>
<tr><td>年</td><td>yyyy:YYYY</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3 行目</td><td colspan="2" rowspan="4">対象</td><td>アドレス</td><td>" アドレス " ＋ アドレス番号（表示対象）/
" アドレス " ＋ アドレス番号（比較対象）
• 計量用計測コントローラー、環境用計測コントローラーの場合、アドレス番号は、アドレス番号＋計量計番号またはセンサ番号（1 ～2）となります。
• 計量用パルス入力の場合、内臓計量計と表示されます。</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>グループ名称（表示対象）/ グループ名称（比較対象）※2</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>ブロック名称（表示対象）/ ブロック名称（比較対象）※2</td></tr>
<tr><td>EM ブロック</td><td>EM ブロック名称（表示対象）/EM ブロック名称（比較対象）※2</td></tr>
<tr><td rowspan="3">4 行目</td><td rowspan="3">計測項目</td><td rowspan="2">日</td><td>" 時刻 ",</td><td rowspan="3">• アドレスの場合
" アドレス " ＋ アドレス番号（表示対象）（棒）＋ "–" ＋ 表示項目（棒），
" アドレス " ＋ アドレス番号（比較対象）（棒）＋ "–" ＋ 表示項目（棒），
" アドレス " ＋ アドレス番号（表示対象）（棒）＋ "–" ＋ " 室外機省エネ効果［kWh］" ※1，
" アドレス " ＋ アドレス番号（比較対象）（棒）＋ "–" ＋ " 室外機省エネ効果［kWh］" ※1，
" アドレス " ＋ アドレス番号（表示対象）（線 1）＋ "–" ＋ 表示項目（線 1），
" アドレス " ＋ アドレス番号（比較対象）（線 1）＋ "–" ＋ 表示項目（線 1）
" アドレス " ＋ アドレス番号（表示対象）（線 2）＋ "–" ＋ 表示項目（線 2），
" アドレス " ＋ アドレス番号（比較対象）（線 2）＋ "–" ＋ 表示項目（線 2）
• グループの場合
グループ名称※2（表示対象）（棒）＋ "–" ＋ 表示項目（棒），
グループ名称※2（比較対象）（棒）＋ "–" ＋ 表示項目（棒），
グループ名称※2（表示対象）（線 1）＋ "–" ＋ 表示項目（線 1），
グループ名称※2（比較対象）（線 1）＋ "–" ＋ 表示項目（線 1）
グループ名称※2（表示対象）（線 2）＋ "–" ＋ 表示項目（線 2），
グループ名称※2（比較対象）（線 2）＋ "–" ＋ 表示項目（線 2）
• ブロックの場合
ブロック名称※2（表示対象）（棒）＋ "–"+ 表示項目（棒），
ブロック名称※2（比較対象）（棒）＋ "–" ＋表示項目（棒），
" 目標電力量［kWh］" ※1，
ブロック名称※2（表示対象）（線 1）＋ "–" ＋ 表示項目（線 1），
ブロック名称※2（比較対象）（線 1）＋ "–" ＋ 表示項目（線 1）
• EM ブロックの場合
EM ブロック名称※2（表示対象）（棒）＋ "–"+ 表示項目（棒），
EM ブロック名称※2（比較対象）（棒）＋ "–" ＋表示項目（棒），
" 目標電力量［kWh］" ※1</td></tr>
<tr><td>月</td><td>" 日 ",</td></tr>
<tr><td>年</td><td>" 月 ",</td></tr>
<tr><td rowspan="3">5 行目～※4</td><td rowspan="3">データ</td><td>日</td><td>hh:mm,</td><td rowspan="3">データ数値（棒），比較データ数値（棒），
目標電力量※1，省エネ効果※1，表示データ数値（線 1），
比較データ数値（線 1），表示データ数値（線 2），比較データ数値（線 2）</td></tr>
<tr><td>月</td><td>dd,</td></tr>
<tr><td>年</td><td>mm,</td></tr>
</table>

※1　" 目標電力量［kWh］"、" 省エネ効果［kWh］"、目標電力量の値および省エネ効果の値は、データがグラフに表示されている場合のみ表示されます。

※2　グループ名称のない場合は、" グループ "＋グループ番号となります。ブロック名称のない場合は、" ブロック "＋ブロック番号となります。エネルギー管理ブロック（ＥＭブロック）名称のない場合は、"EM ブロック " ＋ エネルギー管理ブロック番号となります。

※3　選択されていない項目のデータは出力されません。

※4　行数は選択された日付範囲によって異なります。（日：5～28行目、月：5～35行目、年：5～16行目）

</td></tr>
</table>

項目	内容
CSV 出力	■ ファイル例 （対象がブロックの場合） 日付範囲：日 401 2017/03/19:2016/03/19 ブロック 1/ ブロック 5 時刻 , ブロック 1 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 5 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 1 – 外気温度［℃］, ブロック 5 - 外気温度［℃］, ブロック 1 - 室内温度［℃］, ブロック 5 - 室内温度［℃］ 00:00,0.61,0.25,23.2,17.8,26.4,23.1 01:00,0.65,0.51,23.1,17.6,26.1,22.9 02:00,0.66,0.48,22.1,18.1,25.9,23.2 03:00,0.66,0.58,23.3,18.2,26.2,23.3 04:00,0.63,0.47,24.5,17.5,27.1,24.7 05:00,0.59,0.39,26.8,19.1,27.3,25.2 06:00,0.52,0.52,28.1,22.1,27.5,24.1 ・・・ 23:00,0.59,0.23,23.4,17.1,26.1,22.7 日付範囲：月 402 2017/06:2016/06 ブロック 1/ ブロック 5 日 , ブロック 1 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 5 - 室内機電力量［kWh］, 目標電力量［kWh］, ブロック 1 – 外気温度［℃］, ブロック 5 - 外気温度［℃］, ブロック 1 - 室内温度［℃］, ブロック 5 - 室内温度［℃］ 01,24.69,8.74,22,26.2,17.9,28.41,22.3 02,25.31,8.22,22,27,17.4,28.43,21.5 03,12.36,22.33,10,25.2,16.6,26.33,20.2 04,10.37,21.36,10,25.1,19.3,26.33,22.1 05,27.02,17.55,22,27.7,20.5,29.36,23.4 06,24.55,16.58,22,26.3,19,28.12,22.2 07,24.69,17.96,22,24.9,18.9,28.15,22.1 ・・・ 31,13.2,20.22,10,27.3,20.2,29.12,24.1 日付範囲：年 403 2017:2016 ブロック 1/ ブロック 5 月 , ブロック 1 - 室内機電力量［kWh］, ブロック 5 - 室内機電力量［kWh］, 目標電力量［kWh］, ブロック 1 – 外気温度［℃］, ブロック 5 - 外気温度［℃］, ブロック 1 - 室内温度［℃］, ブロック 5 - 室内温度［℃］ 01,675.17,661.93,600,0.4,0.5,15.1,15.2 02,697.38,683.71,700,0.3,3.2,15.0,18.3 03,528.63,518.26,400,4.5,3.8,19.2,18.9 04,403.67,395.75,500,9.8,10,24.1,23.5 05,420.28,412.04,500,15.9,15.6,28.1,29.2 06,450.33,477.88,500,18.2,20.6,29.1,30.3 07,594.13,582.48,550,22.8,24.8,31.2,31.5 ・・・ 12,602.58,590.76,550,3.3,3.4,16.3,17.2

CSV 出力	（対象がアドレス：室外ユニットの場合） 日付範囲：日 401 2017/05/10:2017/03/10 アドレス 51/ アドレス 52 時刻 , アドレス 51 – 室外機電力量［kWh］, アドレス 52 – 室外機電力量［kWh］, アドレス 51 – 室外機省エネ効果［kWh］, アドレス 52 – 室外機省エネ効果［kWh］, アドレス 51 – 外気温度［℃］, アドレス 52 – 外気温度［℃］ 00:00,5.34,6.20,0.65,0.73,17.7,22.5 01:00,5.34,6.20,0.65,0.73,17.3,21.7 02:00,5.34,6.20,0.65,0.73,16.8,22.4 ・・・ 23:00,5.34,6.20,0.65,0.73,16.8,22.4 日付範囲：月 402 2017/05:2017/03 アドレス 51/ アドレス 52 日 , アドレス 51 – 室外機電力量［kWh］, アドレス 52 – 室外機電力量［kWh］, アドレス 51 – 室外機省エネ効果［kWh］, アドレス 52 – 室外機省エネ効果［kWh］, アドレス 51 – 外気温度［℃］, アドレス 52 – 外気温度［℃］ 01,50.29,55.38,5.35,7.45,17.7,22.5 02,50.29,55.38,5.35,7.45,17.3,21.7 03,50.29,55.38,5.35,7.45,16.8,22.4 ・・・ 31,50.29,55.38,5.35,7.45,16.8,22.4 日付範囲：年 403 2017:2016 アドレス 51/ アドレス 52 月 , アドレス 51 – 室外機電力量［kWh］, アドレス 52 – 室外機電力量［kWh］, アドレス 51 – 室外機省エネ効果［kWh］, アドレス 52 – 室外機省エネ効果［kWh］, アドレス 51 – 外気温度［℃］, アドレス 52 – 外気温度［℃］ 01,870.17,900.12,90.35,95.85,17.7,22.5 02,870.17,900.12,90.35,95.85,17.3,21.7 03,870.17,900.12,90.35,95.85,16.8,22.4 ・・・ 12,870.17,900.12,90.35,95.85,16.8,22.4

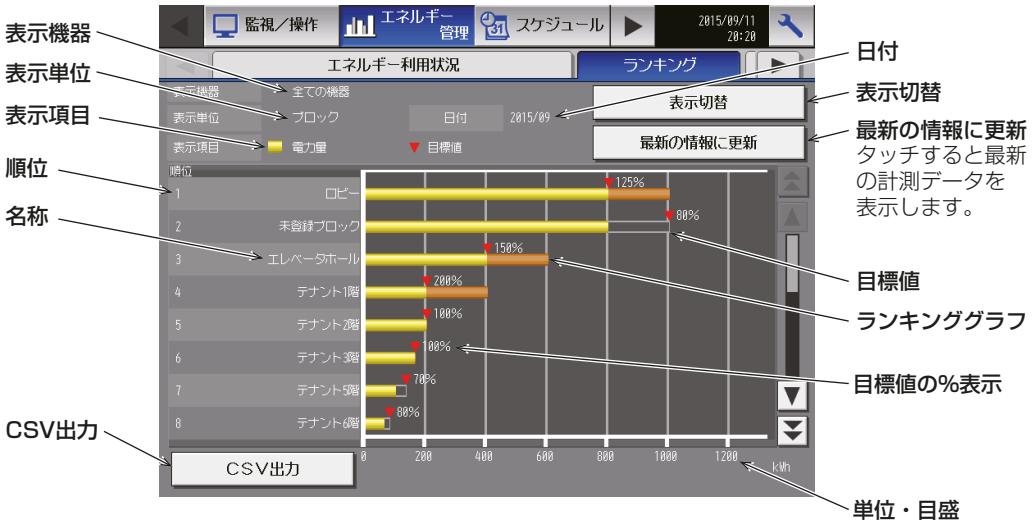
3-2-2. ランキング

ランキング画面では、室内ユニットの電力使用量とFAN運転時間、サーモON時間（合計、冷房、暖房）を、ブロックまたはグループまたはユニットアドレスごとに電力使用量、FAN運転時間、サーモON時間の多い順に画面上から棒グラフで表示します。
[エネルギー管理] − **[ランキング]** をタッチして、ランキングの画面を表示します。

お知らせ

電力量のグラフを表示するには事前に以下の設定が必要です。設定方法の詳細は、「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。

- エネルギー管理設定
  ただし、AE-200Jで電力按分課金支援機能を使用する場合は、エネルギー管理設定は不要です。
- 計測設定
- 万が一のAE-200J/AE-50J/EW-50Jの故障時に備え、定期的に本画面の **[CSV出力]** もしくは **[エネルギー管理出力]**（「4-1-1. エネルギー管理出力」）により、CSV形式でファイルを保存することを推奨します。



手順

1. **[表示切替]** をタッチして表示項目の設定をする。

お知らせ

- ランキング画面以外の画面からランキング画面を表示させたとき、または、**[表示切替]** をタッチし表示項目設定画面で **[OK]** をタッチしたときに画面を更新して表示します。
- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が **[利用する]** に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を **[AE200]**、**[Exp1]** ～ **[Exp4]** と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jのデータを個別に表示させる、または **[ALL]**（全ての機器）を選択して、全ての機器のデータを一括で表示してください。

項目	内容
表示期間	[**日**][**月**] または [**年**] を選択します。
表示単位	ランキンググラフを表示する対象の単位を [**ブロック**]、[**グループ**]、[**アドレス**]、または [**EM ブロック**] から選択します。 ※ 表示機器が [**ALL**]（全ての機器）の場合のみ、[**EM ブロック**] が選択可能です。
日付	ランキンググラフを表示するデータの日付を指定します。 ランキングデータ保存期間 <table><tr><th>表示期間</th><th>データ保存期間</th></tr><tr><td>日</td><td>当月を含む過去 25 ヶ月分</td></tr><tr><td>月</td><td>当月を含む過去 25 ヶ月分</td></tr><tr><td>年</td><td>当年を含む過去 5 年分</td></tr></table> **お知らせ** ・ グラフに表示されるのは、AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が入っていた間のデータのみです。 AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が切れていた間のデータは表示されません。
目盛線の表示	ランキンググラフの目盛線を表示する場合は [**表示**]、表示させない場合は [**非表示**] を選択します。
表示項目	ランキンググラフに表示する項目（[**電力量**]、[**FAN 運転時間**]、サーモ ON 時間 [**合計**]、[**冷房**]、[**暖房**]）が表示されます。 **お知らせ** ・「表示単位」で選択した項目により、選択可能な表示項目が変わります。 <table><tr><th rowspan="2">表示項目</th><th colspan="4">表示単位</th></tr><tr><th>アドレス</th><th>グループ</th><th>ブロック</th><th>EM ブロック</th></tr><tr><td>電力量（kWh）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>FAN 運転時間（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>サーモ ON 時間（合計）（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>サーモ ON 時間（冷房）（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>サーモ ON 時間（暖房）（分）</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr></table> ○：グラフに表示可能な項目
目標値	目標値の位置に、赤色の三角印を表示します。 **お知らせ** ・「表示単位」が [**ブロック**] または [**EM ブロック**] のとき、かつ「表示期間」が [**日**]、[**月**]、[**年**] の場合のみ表示されます。 ・ 目標値が設定されていない場合、および 0 のときは表示されません。

項目	内容
目標値の%表示	ランキンググラフに、目標値に対する%値を表示する場合は **[表示]**、表示させない場合は **[非表示]** を選択します。 **お知らせ** ・ 目標値に対して、現在までの積算値が何％であるかを表示します。 目標値を超えると 100%以上となります。

2. [OK] をタッチして前の画面に戻る。
   指定した条件に基づいてグラフが表示されます。

   お知らせ

   ・ 対象データが存在しない場合、グラフは表示されません。

項目	内容
ランキンググラフ	ランキンググラフの表示形式、色は以下の通りです。 積算値：（黄色） 積算値（目標超過分）：（オレンジ色）目標値を超えた部分はオレンジ色で表示されます。 目標値：（灰色枠 ＋ 右上端に赤色三角表示） 積算値は室内ユニットの使用電力量または FAN 運転時間、またはサーモ ON 時間（合計、冷房、暖房）から選択できます。 積算値（目標超過分）は表示項目が電力量のときに表示します。 目標値は、表示項目が電力量で、表示単位がブロックのときに表示されます。

3. [CSV出力] をタッチすると、表示されているランキングデータをCSV形式で出力する。
選択された日付範囲により、以下に示すファイル名と形式で出力されます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>CSV 出力</td><td>

手順

1. カバーを外し、USB メモリ差込口にUSB メモリを挿す。
2. 保存したいデータを表示した状態で **[CSV出力]** をタッチする。

■ 保存先

USB メモリのルートフォルダに
　　¥製造番号¥OperationalData¥EnergyManagement¥
のフォルダを作成し、このフォルダ内に CSV ファイルを保存します。

■ ファイル名

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合**

日付範囲：日
　　EM_DailyRanking_(yyyy)-(mm)-(dd)_(表示単位)_(ランキンググラフの種類).csv
日付範囲：月
　　EM_MonthlyRanking_(yyyy)-(mm)_(表示単位)_(ランキンググラフの種類).csv
日付範囲：年
　　EM_AnnualRanking_(yyyy)_(表示単位)_(ランキンググラフの種類).csv

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合**

日付範囲：日
　　EM_DailyRanking_(yyyy)-(mm)-(dd)_(AE-50J/EW-50J番号)-(表示単位)_(ランキンググラフの種類).csv
日付範囲：月
　　EM_MonthlyRanking_(yyyy)-(mm)_(AE-50J/EW-50J番号)-(表示単位)_(ランキンググラフの種類).csv
日付範囲：年
　　EM_AnnualRanking_(yyyy)_(AE-50J/EW-50J番号)-(表示単位)_(ランキンググラフの種類).csv
　　※ 全ての機器を表示している場合は、(AE-50J/EW-50J番号)は"ALL"となります。

<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th colspan="2">形式</th></tr>
<tr><td>(yyyy)</td><td colspan="2">「日付」で指定した年</td></tr>
<tr><td>(mm)</td><td colspan="2">「日付」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(dd)</td><td colspan="2">「日付」で指定した日</td></tr>
<tr><td rowspan="4">(表示対象)</td><td>アドレス</td><td>"A999"</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>"G999"</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>"B999"</td></tr>
<tr><td>EM ブロック</td><td>"E999"</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th>形式</th></tr>
<tr><td rowspan="5">(ランキンググラフの種類)</td><td>B01：電力量（室内ユニット）</td></tr>
<tr><td>B02：FAN 運転時間</td></tr>
<tr><td>B03：サーモ ON 時間（合計）</td></tr>
<tr><td>B04：サーモ ON 時間（冷房）</td></tr>
<tr><td>B05：サーモ ON 時間（暖房）</td></tr>
</table>

</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>CSV 出力</td><td>

■ ファイル形式

<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>日付範囲</th><th colspan="2">形式</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1 行目</td><td rowspan="3">ファイル区分</td><td>日</td><td colspan="2">404</td></tr>
<tr><td>月</td><td colspan="2">405</td></tr>
<tr><td>年</td><td colspan="2">406</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2 行目</td><td rowspan="3">日付</td><td>日</td><td colspan="2">yyyy/mm/dd</td></tr>
<tr><td>月</td><td colspan="2">yyyy/mm</td></tr>
<tr><td>年</td><td colspan="2">yyyy</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3 行目</td><td colspan="2" rowspan="4">表示単位</td><td>アドレス</td><td>" 全アドレス "</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>" 全グループ "</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>" 全ブロック "</td></tr>
<tr><td>EM ブロック</td><td>" 全 EM ブロック "</td></tr>
<tr><td rowspan="4">4 行目</td><td colspan="2" rowspan="4">計測項目</td><td>アドレス</td><td>" アドレス番号 ", 表示項目</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>" グループ名称 "※1, 表示項目</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>" ブロック名称 "※1, 表示項目 ,
" 目標電力量［kWh］ "※2</td></tr>
<tr><td>EM ブロック</td><td>"EM ブロック名称 "※1, 表示項目 ,
" 目標電力量［kWh］ "※2</td></tr>
<tr><td rowspan="4">5 行目～</td><td colspan="2" rowspan="4">データ</td><td>アドレス</td><td>アドレス番号 , データ値</td></tr>
<tr><td>グループ</td><td>" グループ名称 "※1, データ値</td></tr>
<tr><td>ブロック</td><td>" ブロック名称 "※1, データ値 ,
目標電力量値※2</td></tr>
<tr><td>EM ブロック</td><td>"EM ブロック名称 "※1, データ値 ,
目標電力量値※2</td></tr>
</table>

※1　グループ名称のない場合は、" グループ " ＋ グループ番号となります。ブロック名称のない場合は、" ブロック " ＋ブロック番号となります。EM ブロック名称がない場合は、"EM ブロック " ＋ EM ブロック番号となります。

※2　" 目標電力量 [kWh] " および目標電力量値は、データがグラフに表示されている場合のみ表示されます。

■ ファイル例
（対象がブロックの場合）

日付範囲：日

```
404
2015/06/01
全ブロック
ブロック名称 , 室内機電力量［kWh］, 目標電力量［kWh］
ブロック 1,25.19,21.2
ブロック 5,19.58,18.13
ブロック 3,11.2,16.9
ブロック 6,6.19,5.24
ブロック 2,5.98,10.96
```

日付範囲：月

```
405
2015/06
全ブロック
ブロック名称 , 室内機電力量［kWh］, 目標電力量［kWh］
ブロック 1,780.89,657.2
ブロック 5,606.98,562.03
ブロック 3,347.2,523.9
ブロック 6,191.89,162.44
ブロック 2,185.38,339.76
```

日付範囲：年

```
406
2015
全ブロック
ブロック名称 , 室内機電力量［kWh］, 目標電力量［kWh］
ブロック 1,9370.68,7886.4
ブロック 5,7283.76,6744.36
ブロック 3,4166.4,6286.8
ブロック 6,2302.68,1949.28
ブロック 2,2224.56,4077.12:
```

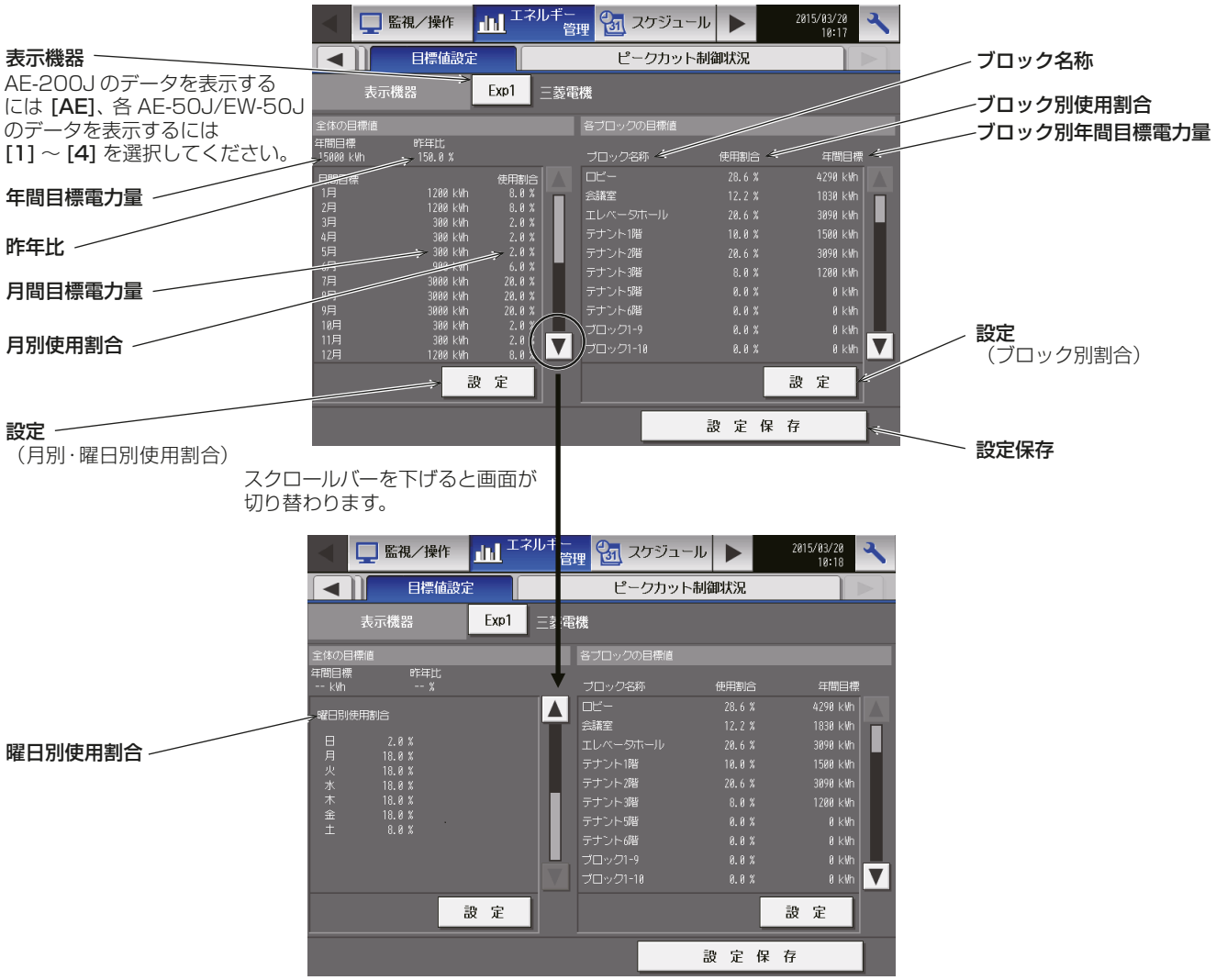
</td></tr>
</table>

3-2-3. 目標値設定

目標値設定画面では、エネルギー利用状況画面、ランキング画面で表示される目標値を設定します。
[エネルギー管理] − [目標値設定] をタッチして目標値の設定画面を表示します。
目標値は、年間の総電力使用量の目標値をはじめに設定し、月ごとに割合を設定、また曜日ごとに割合を設定すると、その割合から１日の目標電力量を自動で計算されます。年間目標値は、１月～12月までの総使用電力量です。
自動計算された１日の目標電力量を、さらにブロックごとに設定した割合により、ブロックごとの目標電力量を自動計算します。
１日ごとに目標値（電力量）を入力する必要はなく、割合だけを入力すれば、自動的にブロックごとの目標電力量が計算されるので、目標値（電力量）の設定を簡単に行うことができます。

お知らせ

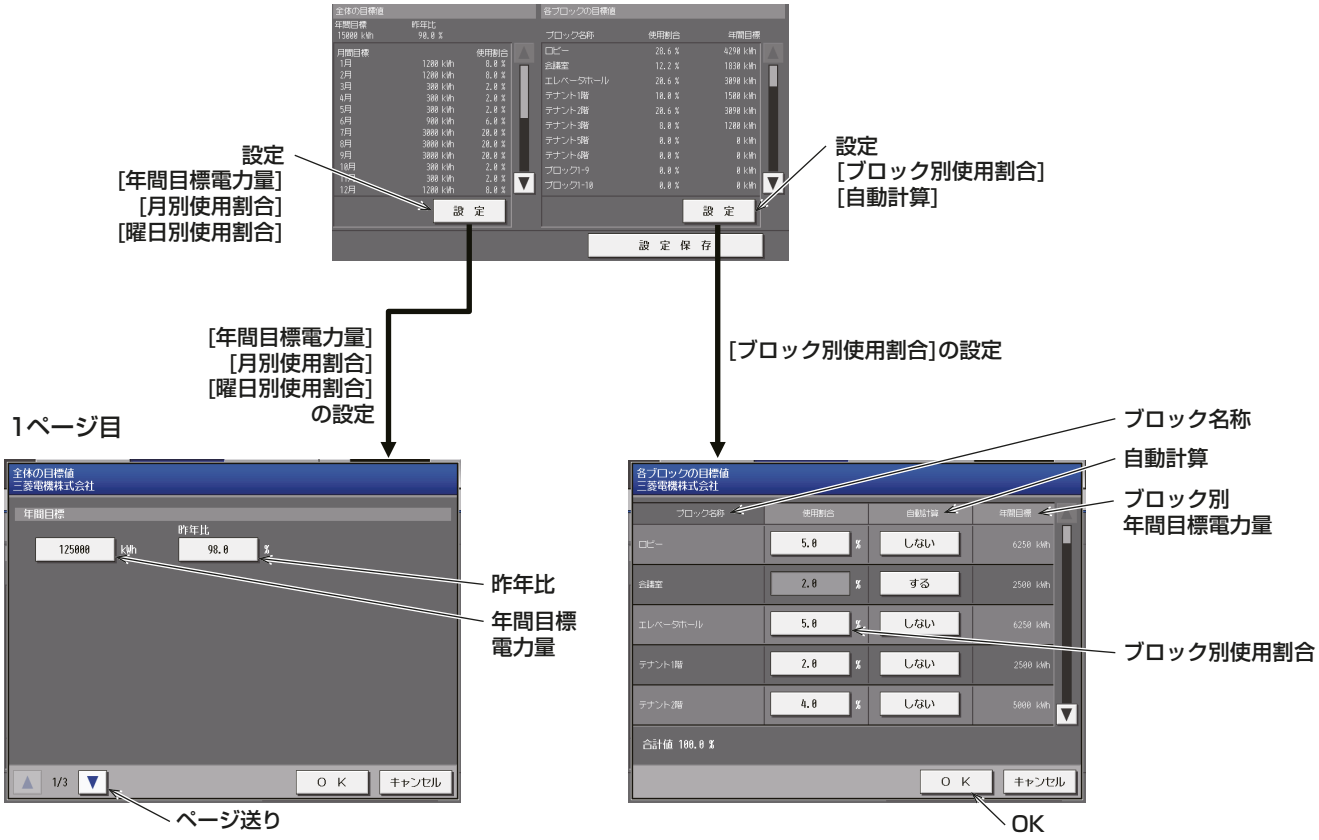
- **目標値設定はすべてのユニットの立ち上げが終わって、正常に接続している状態で行ってください。立ち上げ中に設定すると計算値にズレが発生します。**
- AE-200J/AE-50J/EW-50Jで個別に目標値を設定してください。
- 月別使用割合、曜日別使用割合、室内ユニットの割合は、それぞれの合計が100%になるように設定してください。合計が100%にならない場合は設定ができません。
- 各ブロックの割合を自動計算した場合、端数処理の関係上、同一能力のユニットが同一台数あるブロックが複数あった場合に、ブロック間で割合が一致せず、ずれが生じることがあります。
- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が **[利用する]** に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を **[AE200]**、**[Exp1]** ～ **[Exp4]** と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jのデータを個別に表示させください。



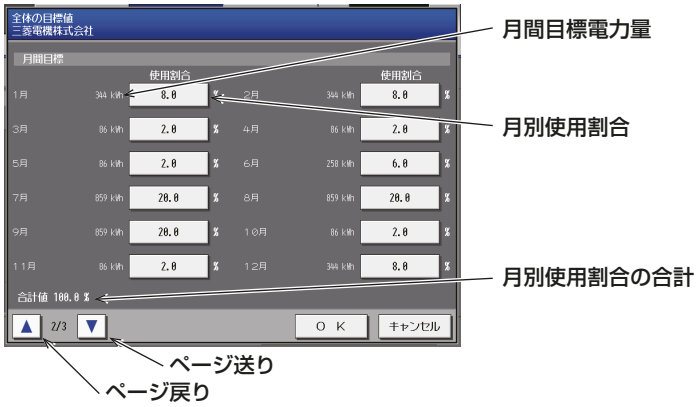
項目	内容
年間目標電力量	設定された年間の目標電力量を表示します。
昨年比	設定された昨年比を表示します。 **お知らせ** • 昨年の実績（データ）がない場合は、「--」で表示されます。 • 昨年の実績がある場合は、年替り時に昨年の年間目標電力量と昨年の実績との比率を自動的に表示します。 昨年比を 100%に設定したときは、年間目標電力量は昨年の実績の電力量となります。
月間目標電力量	年間目標電力量と月別使用割合から自動で計算された月間目標電力量を表示します。 **お知らせ** • 小数点第一位を四捨五入して kWh で表示します。
月別使用割合	設定された月別使用割合を表示します。
設定 （期間別割合）	ボタンをタッチすると、全体の目標値設定画面が表示され、[**年間目標電力量**]、[**月別使用割合**]、[**曜日別使用割合**] を設定することができます。
ブロック名称	ブロック名称を表示します。 **お知らせ** • ブロック番号順に表示されます。 • ブロック名称が登録されていないブロックは、[" ブロック " ＋ブロック番号] を表示します。
ブロック別使用割合	設定されたブロック別の使用割合を表示します。
ブロック別 年間目標電力量	年間目標電力量とブロック別使用割合から自動で計算されたブロック別の年間目標電力量を表示します。
設定 （ブロック別割合）	ボタンをタッチすると、各ブロックの目標値設定画面が表示され、[**ブロック別使用割合**] を設定することができます。
設定保存	タッチして、設定を AE-200J/AE-50J/EW-50J に保存します。
曜日別使用割合	設定された曜日別使用割合を表示します。

手順

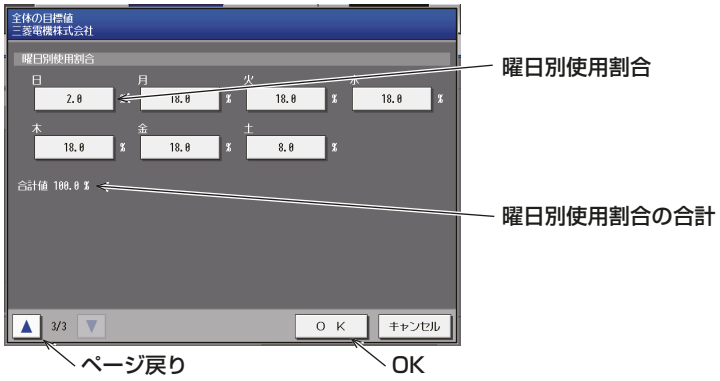
1. [**表示機器**] をタッチして AE-200J の設定をするには **[AE]**、各 AE-50J/EW-50J の設定をするには **[1]** ～ **[4]** を選択する。
2. 画面左の [**設定**] で、[**年間目標電力量**]、[**月別使用割合**]、[**曜日別使用割合**] を設定する。
3. 画面右の [**設定**] で、[**ブロック別使用割合**]、[**自動計算**] を設定する。
4. 全ての設定を完了後、[**設定保存**] をタッチする。


設定
[年間目標電力量]
[月別使用割合]
[曜日別使用割合]
設定
[ブロック別使用割合]
[自動計算]
[年間目標電力量]
[月別使用割合]
[曜日別使用割合]
の設定
[ブロック別使用割合]の設定
1ページ目
ブロック名称
自動計算
ブロック別
年間目標電力量
昨年比
年間目標
電力量
ブロック別使用割合
ページ送り
OK

2ページ目


月間目標電力量
月別使用割合
月別使用割合の合計
ページ送り
ページ戻り

3ページ目


曜日別使用割合
曜日別使用割合の合計
ページ戻り
OK

■［年間目標電力量］、［月別使用割合］、［曜日別使用割合］の設定

項目	内容
年間目標電力量	年間電力使用量の目標数値を入力します。 **お願い** ・0 から4294967kWhの範囲で設定してください。 **お知らせ** ・「昨年比」に割合が入力されている場合は、前年の電力使用量のデータに基づき、年間目標電力量が自動的に算出されます。
昨年度比	前年の電力使用量に対する今年の年間目標電力量の割合を入力します。 **お願い** ・0.0から999.9%の範囲で設定してください。 **お知らせ** ・「年間目標電力量」に数値が入力されている場合は、前年の電力使用量のデータに基づき、上記割合が自動的に算出されます。
月間目標電力量	月別の目標電力量値が表示されます。 **お知らせ** ・「月別使用割合」に入力された割合に基づき自動的に算出されます。
月別使用割合	年間目標電力量に対する月ごとの目標使用割合を入力します。 **お願い** ・0.0～100.0%までの範囲で設定できます。 各割合の合計が100%になるように設定してください。合計が100%でない場合は、以下のように現在の合計値を示す画面が表示され、設定が保存されません。 **お知らせ** ・割合を入力すると、「月間目標電力量」の数値が、「年間目標電力量」の数値に基づき自動的に算出されます。
曜日別使用割合	曜日ごとの目標電力使用割合を入力します。 **お願い** ・0.0～100.0%までの範囲で設定できます。 各割合の合計が100%になるように設定してください。合計が100%でない場合は、以下のように現在の合計値を示す画面が表示され、設定が保存されません。
OK	[OK] をタッチすると、目標値設定画面に戻ります。 **お知らせ** ・月別使用割合の合計と、曜日別使用割合の合計が100%でないと、[OK] をタッチすることができません。

■ **[ブロック別使用割合]** の設定

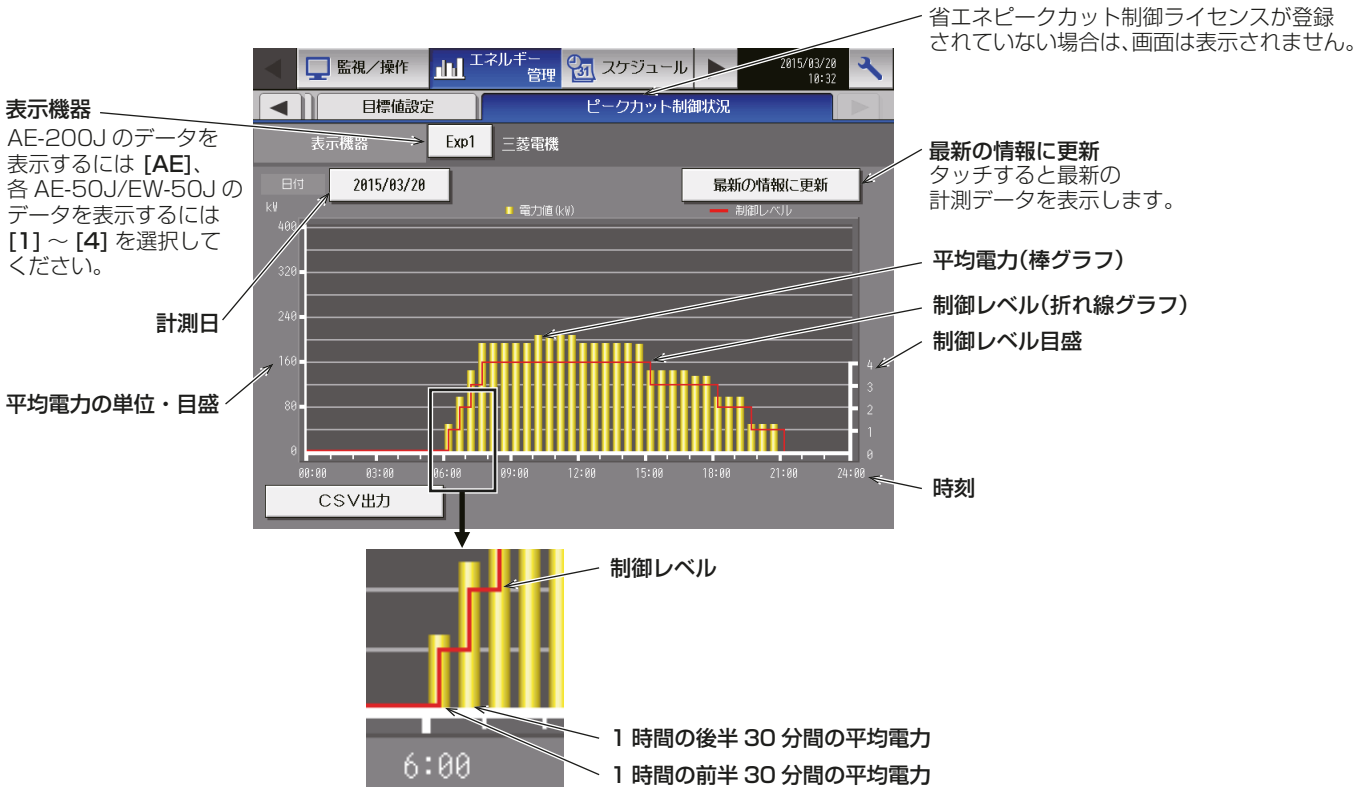
項目	内容
ブロック名称	ブロック名称を表示します。 **お知らせ** • ブロック番号順に表示されます。 • ブロック名称が登録されていないブロックは、[" ブロック " ＋ブロック番号] を表示します。
ブロック別 使用割合	ブロック別の使用割合を入力します。 **お願い** • 「自動計算」で **[する]** が選択されていると、割合の数値は入力できません。**[しない]** を選択してから入力してください。 • 合計が 100% になるように設定してください。合計が 100% でない場合は、以下のように現在の合計値を示す画面が表示され、設定を保存できません。
自動計算	「自動計算」で **[する]** を選択すると、ブロック別使用割合が、自動で計算されます。 **お知らせ** • 自動計算は、室内ユニットの能力（容量）から自動的に割合を計算します。前年の実績がなく、どのブロックがどれだけ電力を使用するか不明で、目標値がたてにくい場合に、自動計算によりブロック別使用割合を設定する方法があります。
ブロック別 年間目標電力量	年間目標電力量とブロック別使用割合から自動で計算されたブロック別の年間目標電力量を表示します。
OK	[OK] をタッチすると、目標値設定画面に戻ります。 **お知らせ** • ブロック別使用割合の合計が 100% でないと、[OK] をタッチすることができません。

3-2-4. ピークカット制御状況

ピークカット制御状況画面では、現在までの平均電力（30分間（デマンド値））のグラフおよび、ピークカット制御レベル（0～4）のグラフを表示します。
デマンド値の推移状況、最大値および、ピークカット制御レベル推移により日常の省エネ状況を確認することができます。また、ピークカット制御状況を見て、各ピークカット制御レベルの設定値（電力値）の調整が行えます。
詳細は、「取扱説明書　初期設定編」を参照ください。

お知らせ

- ピークカット制御を行うには、別途、省エネピークカット制御ライセンスの登録が必要です。
- ピークカット制御の設定は、**[機能設定 1]** － **[ピークカット]** で行ってください。
- 平均電力の表示は、過去の実績が表示されます。平均電力は 1 時間の前半 30 分間と後半 30 分間の値です。



手順

1. AE-200Jのグラフを表示するには **[AE200]**、各 AE-50J/EW-50Jのグラフを表示するには **[Exp1]** ～ **[Exp4]** を選択する。
   最新の計測データのグラフが表示されます。

項目	内容
計測日	計測日を選択します。 **お知らせ** • データは当日を含む過去 25 ヶ月分が表示可能です。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>平均電力</td><td>平均電力（kW）が、30 分単位で棒グラフで表示されます。

お知らせ
・ 30分ごとにグラフが表示されます。
・ 毎時0分を経過した時点で、前の30分～59分までの30分間の平均電力が、毎時30分を経過した時点で、前の00分から29分までの30分間の平均電力が表示されます。
・ 平均消費電力のデータは、毎時00分と30分に保存されます。したがって停電が発生した場合は、最大30分間のデータが失われます。
・ 平均消費電力のグラフは、[機能設定 1] － [ピークカット] のピークカット設定画面で、ピークカット方式が「電力量カウントPLC」または「計量用計測コントローラ」に設定されている場合のみ表示されます。</td></tr>
<tr><td>制御レベル</td><td>ピークカット制御レベルが折れ線グラフで表示されます。</td></tr>
<tr><td>CSV 出力</td><td>[CSV 出力] をタッチすると、計測データを CSV 形式で出力します。

手順
1. カバーを外し、USBメモリ差込口にUSB メモリを挿す。
2. 保存したい計測データを表示した状態で [CSV出力] をタッチする。

■ 保存先
USB メモリのルートフォルダに
￥製造番号￥OperationalData￥EnergyManagement￥Peakcut
のフォルダを作成し、このフォルダ内に CSV ファイルを保存します。

■ファイル名
・ AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合
"Peakcut"_(yyyy)-(mm)-(dd).csv
・ AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合
"Peakcut"_(AE-50J/EW-50J番号)-(yyyy)-(mm)-(dd).csv

<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>(yyyy)</td><td>「計測日」で指定した年</td></tr>
<tr><td>(mm)</td><td>「計測日」で指定した月</td></tr>
<tr><td>(dd)</td><td>「計測日」で指定した日</td></tr>
</table>

■ファイル形式

<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>123</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>日付</td><td>yyyy/mm/dd</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>対象</td><td>" ピークカット電力 "</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測項目</td><td>" 時刻 , 電力値 (kW), 制御レベル "</td></tr>
<tr><td>5 行目～</td><td>データ</td><td>hh:mm (1 分間隔), 平均電力値 , 制御レベル

お知らせ
・平均電力値（kW）は 30 分の平均電力が 30 分間隔で出力されます。</td></tr>
</table>

■ファイル例

123
2015/06/01
ピークカット電力
時刻 , 電力値 (kW), 制御レベル
00:00,8.00,1
00:01,8.00,1
00:02,8.00,1
・・・
23:58,6.00,0
23:59,6.00,0</td></tr>
</table>

3-3. スケジュール

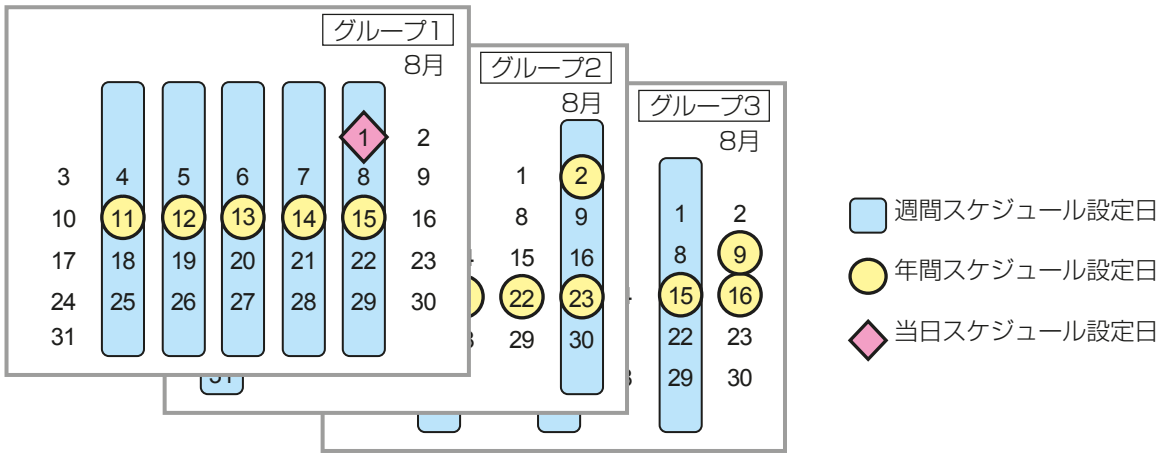
週間スケジュール、年間スケジュール、当日スケジュールの設定ができます。

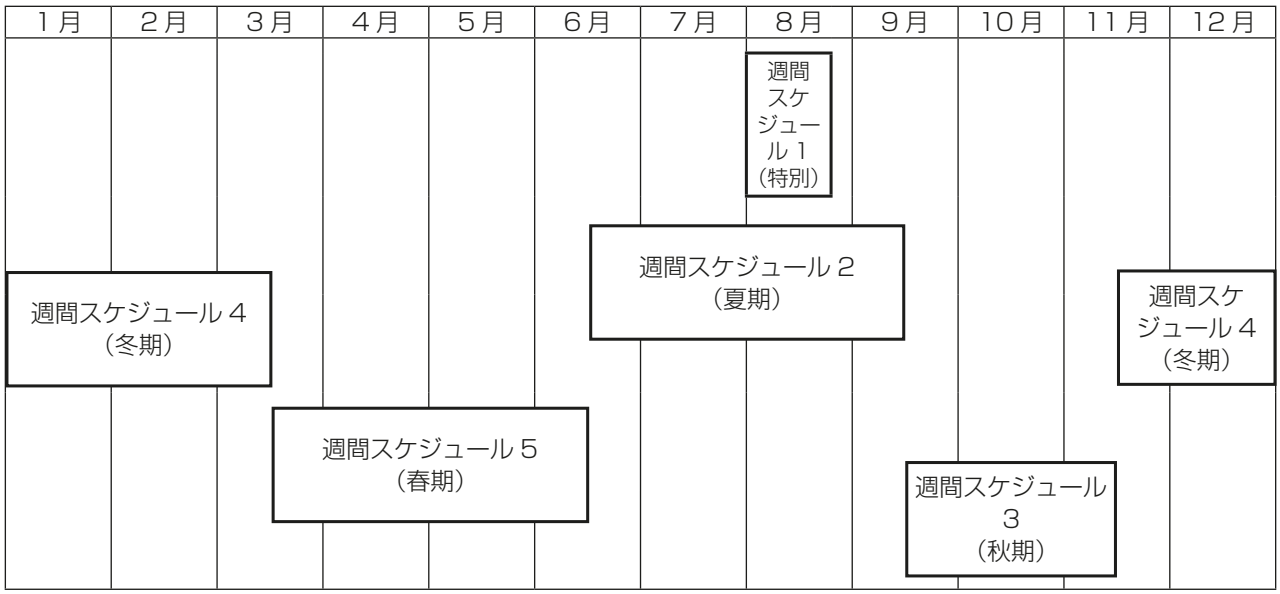
お知らせ

- 操作設定画面の「スケジュール」設定を **[有効]** に設定しておかなければ、スケジュールは実行されません。「3-1-6. 操作設定画面」参照
- AE-200Jの画面で設定した内容は、AE-50Jにも反映されます。

3-3-1. スケジュール機能の設定例

接続している機器のグループごとに週間スケジュール（5パターン）、年間スケジュール（5パターン、50日分）、当日スケジュール（当日のみ有効）の設定ができます。また、1日に24回の運転スケジュールを設定できます。



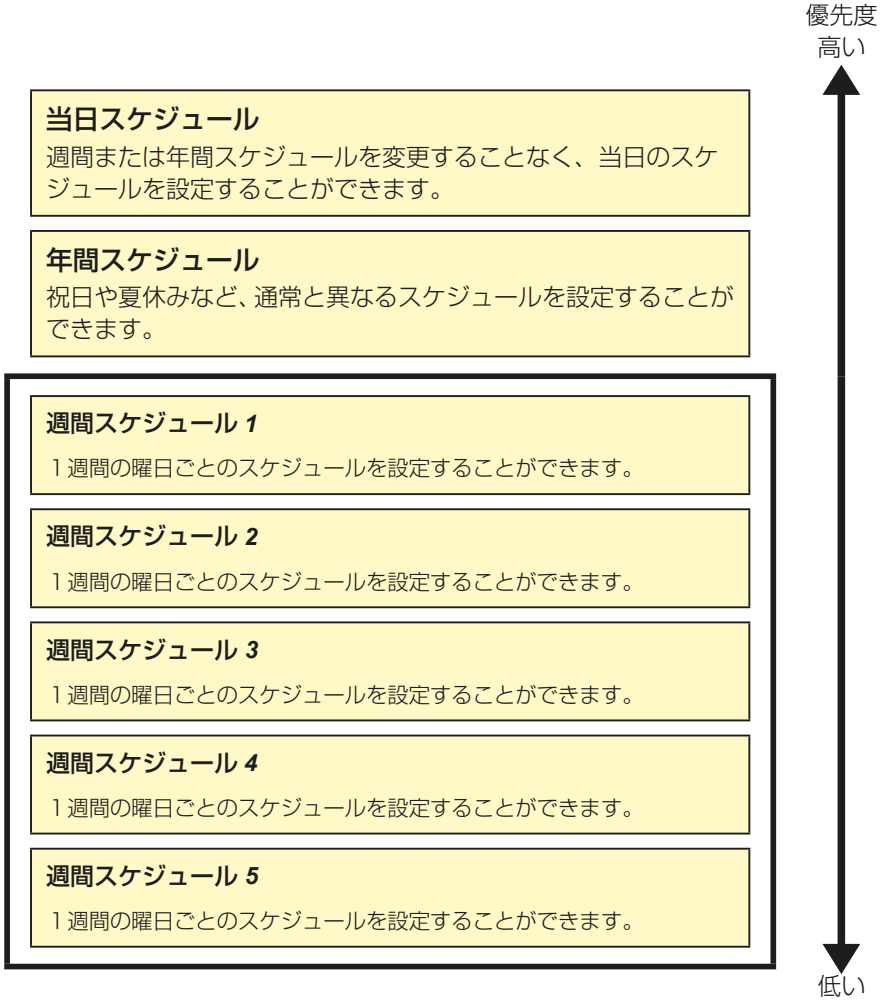


お知らせ

- 上記の図は、各週間スケジュール設定の期間が以下の日付に設定されている場合の例を示したものです。
  週間スケジュール１：８月１日～８月20日
  週間スケジュール２：６月16日～９月15日
  週間スケジュール３：９月16日～11月15日
  週間スケジュール４：11月16日～３月15日
  週間スケジュール５：３月16日～６月15日
- 週間スケジュール１～５のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。たとえば、週間スケジュール１と週間スケジュール２が重なる場合は、週間スケジュール１が優先されます。
- 週間スケジュールの季節設定は、他のユニット（室内ユニット、低温機器、DT-R、給湯機、室外ユニット）のスケジュールの季節設定と共通です。設定を変更する場合、他のユニット（室内ユニット、低温機器、DT-R、給湯機、室外ユニット）のスケジュールも併せて確認してください。

お知らせ

- スケジュールの期間が重なる場合は、下図のとおり、優先度が最も高いスケジュールが実行されます。



3-3-2. スケジュールによる起動方法について

[1] AIスマート起動スケジュール

指定された時刻に指定された設定温度となるように、AIが学習した過去の運転データ（外気温・室温・設定温度）を使用し、日毎の温度変化に対しても設定温度到達に要する時間を算出し、消費電力を抑えた予冷／予熱運転を行います。

お知らせ

- AIスマート起動スケジュールは、**空調機グループ**に対してのみ選択可能です。
- AIスマート起動スケジュールの機能を発揮するためには、本制御を繰り返し使用し、動作環境を学習させる必要があります。
- AI学習は冷房モード、暖房モードそれぞれで必要です。そのため、1年目の季節の変わり目で運転モードを変更した場合は、指定された時刻に設定温度に到達しない場合があります。
- AIスマート起動スケジュールは、設定時刻の最大90分前から予冷／予熱運転を開始します。（初回は90分前に予冷／予熱運転を開始します）
- 予冷／予熱運転は、設定時刻の90分前に停止している空調グループとなります。(90分前に空調グループが運転している場合は、予冷／予熱運転を開始しません）
- 予冷／予熱運転中は、室内機は最大風速設定で運転します。
- 予冷／予熱運転中に以下の操作をした場合は、AIスマート起動による予冷／予熱運転を終了します。
  運転・停止の変更
  運転モードの変更
  設定温度の変更
  風速の変更
- 設定時刻には、スケジュール設定された「設定温度」「運転モード」「風向」「風速」で運転します。「風速」が設定されていない場合は最大風速を継続します。
- AIスマート起動スケジュールと同時に［リモコン操作禁止］を設定した場合は、その設定が適用されるのは設定時刻以降となります。

[2] 最適起動スケジュール

指定された時刻に指定された設定温度となるように、過去の運転データ（室温・設定温度）から、設定温度到達に要する時間を算出し、予冷／予熱運転を行います。

お知らせ

- 最適起動スケジュールは、**空調機グループ**と**加熱加湿付ロスナイグループ**に対してのみ選択可能です。
- 最適起動スケジュールは、設定時刻の最大60分前に予冷／予熱運転を開始します（初回は30分前に運転を開始します）。
- 最適起動スケジュールと同時にリモコン操作禁止設定した場合は、その設定が適用されるのは設定時刻以降となります。

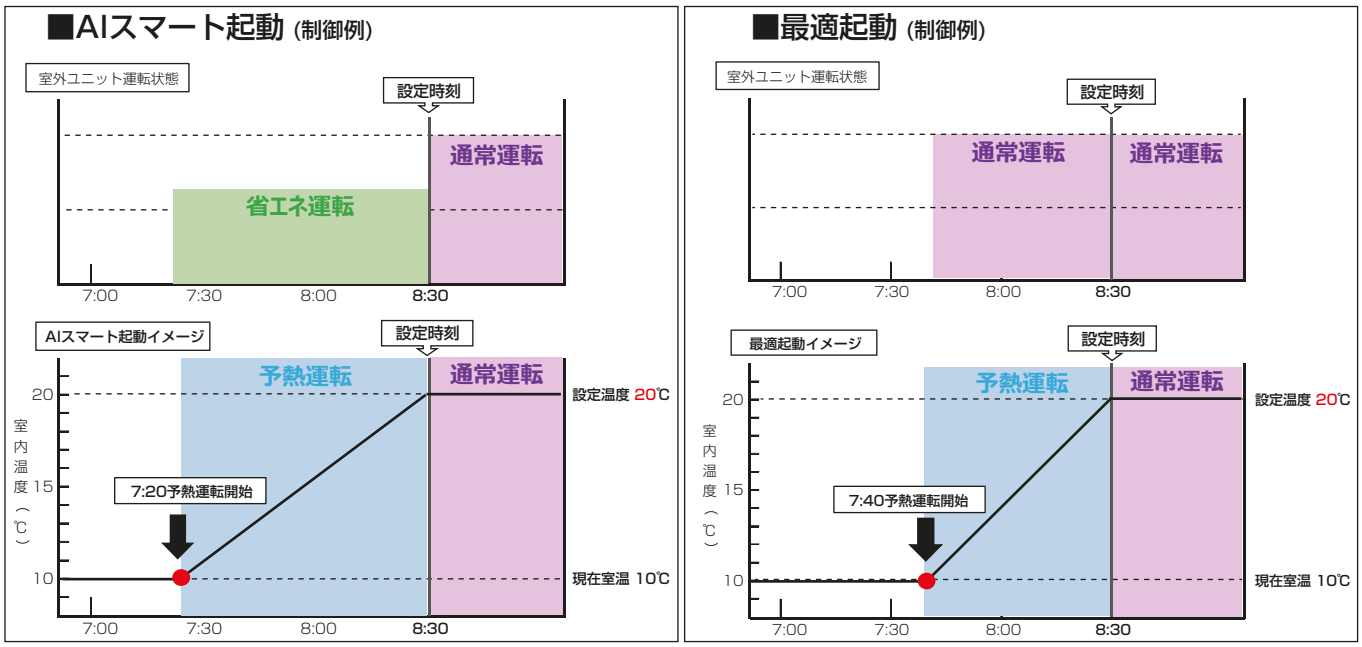
[3] 通常スケジュール

指定された時刻にスケジュール設定で、運転を行います。

お知らせ

- 次に示す図は、AIスマート起動スケジュールおよび最適起動スケジュールの制御イメージ例です。

設定時刻：**8時30分**に運転モード：**暖房**　設定温度：**20**℃ と設定した場合



■7:20から予熱運転を開始した場合のイメージです。

■7:40から予熱運転を開始した場合のイメージです。

3-3-3. 週間スケジュールの設定

メニューの［**スケジュール**］－［週間 1］、［週間 2］、［週間 3］、［週間 4］、または［週間 5］をタッチして選択した週間スケジュールの設定画面を開きます。
週間スケジュール設定画面では、曜日ごとにスケジュールを設定できます。

お知らせ

- 季節設定を使用する場合は、高度設定画面の「スケジュール　季節設定」を［**有効**］にしてください。
「スケジュール　季節設定」を［**無効**］にした場合、週間スケジュールはすべて無効になります。

［1］適用期間を設定する（季節設定）

手順

1. スケジュール設定画面で［**フロア**］または［**ブロック**］表示で、季節設定［ ］をタッチする。

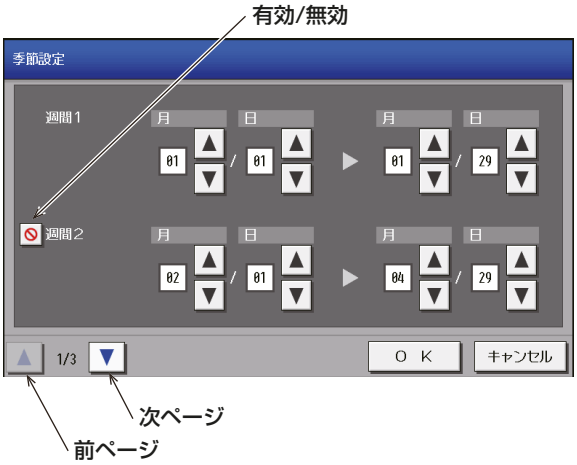
お知らせ

- 高度設定画面の「スケジュール　季節設定」の設定が［**無効**］に設定されている場合は、季節設定［ ］は非表示となり、季節設定は使用できません。

2. 各週間スケジュールを有効とする期間を入力する。
画面左の［**有効／無効**］をタッチすることで、その週間スケジュール設定の有効、無効を切り替えられます。
□：有効
⊘：無効（初期値）

お知らせ

- 週間スケジュール設定 1 ～ 5 のいずれかの期間が重なる場合は、番号の小さいスケジュールが優先されます。たとえば、週間スケジュール設定 1 と週間スケジュール設定 2 が重なる場合は、週間スケジュール 1 が優先されます。
- 11/01 ～ 03/31 のように、年をまたいだ期間を設定することもできます。
- AE-200J 画面で設定した内容は、AE-50J/EW-50J にも反映されます。

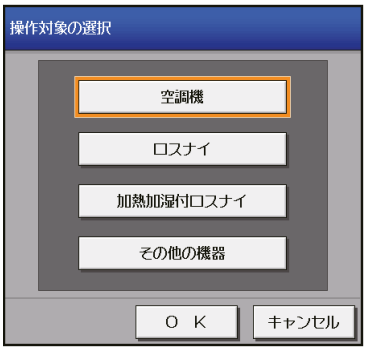


[2] 設定対象を選択する

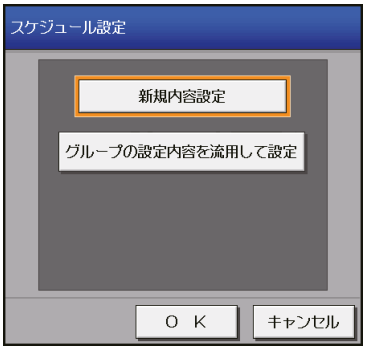
手順

1. [**フロア**] または [**ブロック**] 表示で、スケジュールを設定する対象のグループ、ブロック、またはフロアを選択する。「3-1-5. 操作・設定対象の選択」参照

2. [**設定**] をタッチしたとき、選択したグループ内に空調機グループとロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループ（その他の機器）が混在している場合、機種選択画面が表示されますので、設定する機種を１つ選択する。



3. 複数グループ選択している場合は、スケジュール設定方法を [**新規内容設定**] するか、[**グループの設定内容を流用して設定**] するかを選択する画面が表示されます。今までの設定に追加したい場合などは流用を選択し、流用元のグループを選択後、[OK] を押してください。新規を選択した場合はスケジュール内容欄が全て空欄で表示されます。流用を選択した場合は、流用元グループに設定されているスケジュール内容が、スケジュール内容欄に表示されます。



[3] 曜日を選択する

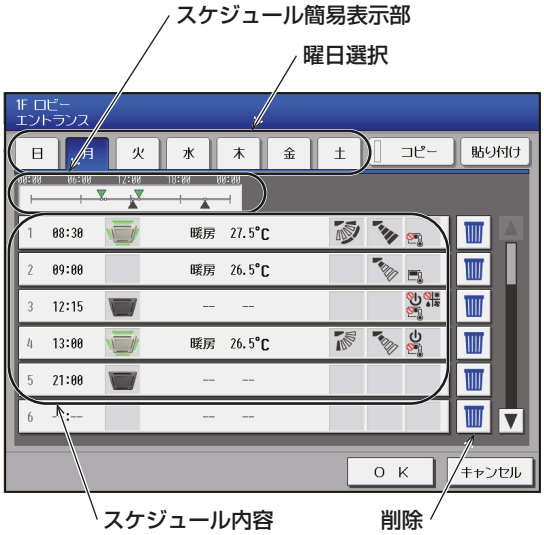
手順

1. スケジュールを設定したい曜日をタッチする。
   スケジュール内容ボタンを押すと、スケジュール内容設定画面が表示されます。

   スケジュール簡易表示部のアイコン
   : 入
   : 切
   : その他のイベント
   : 24 時間換気

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [ ] をタッチしてください。



スケジュール簡易表示部

[4] スケジュール内容を設定する

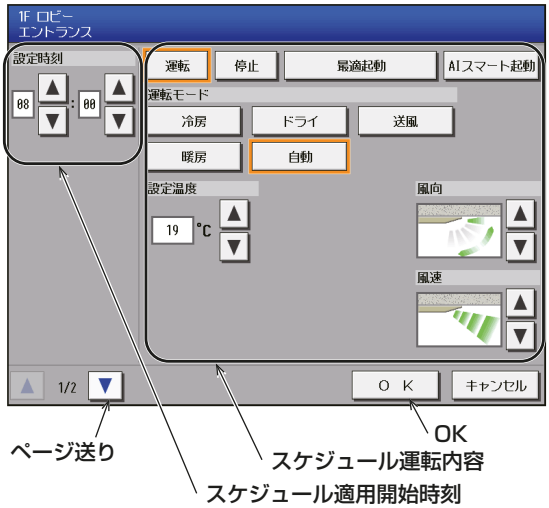
手順

1. スケジュール内容欄で、設定するスケジュールの行をタッチし、スケジュール設定画面を表示する。
2. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、[OK] をタッチする。
   [最適起動] [AI スマート起動] を選択した場合は、運転モード、設定温度をあわせて設定してください。
   すでに設定した内容をコピーして作成する場合は、以下に示す関連項を参照してください。
   グループ間でコピーする場合：「[7] スケジュールを別のグループにコピーする」参照
   曜日間でコピーする場合：「[5] スケジュールを別の曜日にコピーする」参照

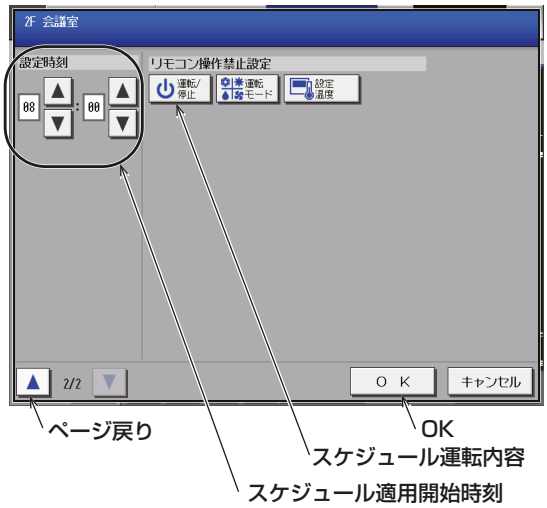
お知らせ

- 必要な運転内容だけでもスケジュール設定することができます。すべての運転内容を設定する必要はありません。
- **[最適起動] [AI スマート起動]** については、「3-3-2. スケジュールによる起動方法について」を参照してください。

1ページ目（空調機グループ）



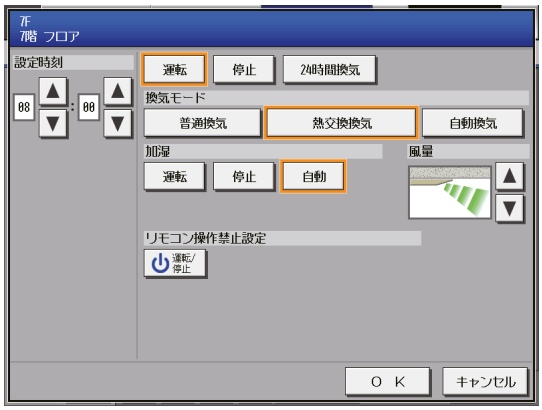
2ページ目（空調機グループ）



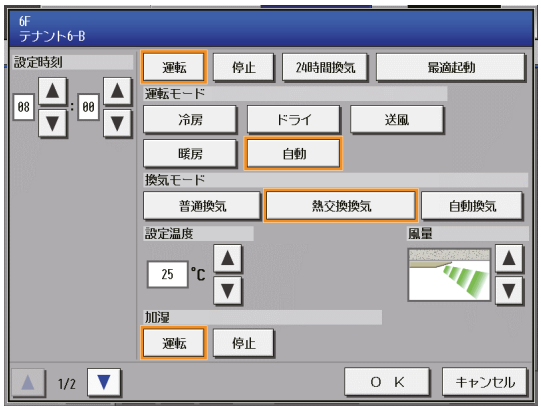
お知らせ

- 画面上に表示される運転内容は、グループの機器の種類によって異なります。
- 個々の運転内容の操作・設定は、「3-1-6. 操作設定画面」参照

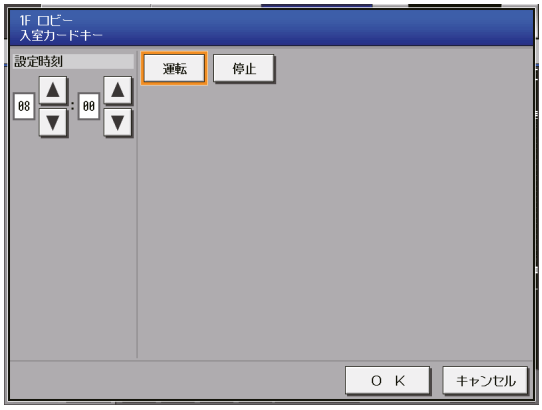
ロスナイグループ



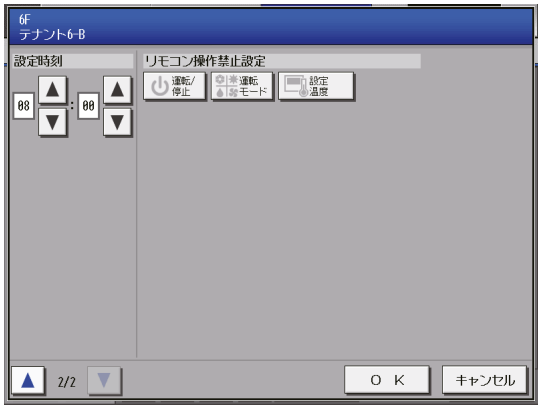
加熱加湿付ロスナイグループ（1ページ目）



汎用機器グループ（その他の機器）



加熱加湿付ロスナイグループ（2ページ目）



お知らせ

- 全グループ／ブロック／EMブロック一括選択時は、運転モードが全て設定できるようになりますが、設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上、スケジュール設定を行ってください。
- 空調機グループ、ロスナイグループ、加熱加湿付ロスナイグループ、汎用機器グループのグループごとに設定できる運転内容が異なります。
- ロスナイの場合は、設定温度は表示されません。また、リモコン操作禁止項目は **[運転／停止]** のみとなります。
- 加熱加湿付ロスナイグループの運転モードが暖房のときのみ加湿ボタンが表示され設定可能です。
- 汎用機器グループは運転・停止のみ設定可能です。

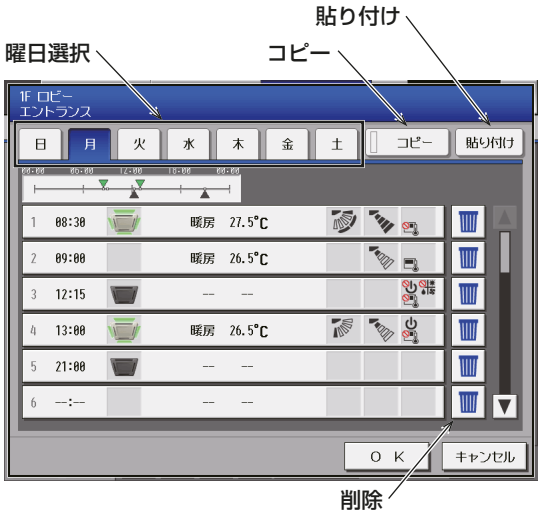
[5] スケジュールを別の曜日にコピーする

手順

1. 曜日間でスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール画面の曜日選択からコピーしたい曜日を選択し [**コピー**] をタッチして選択状態とし、他の曜日で **[貼り付け]** をタッチする。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑] をタッチしてください。



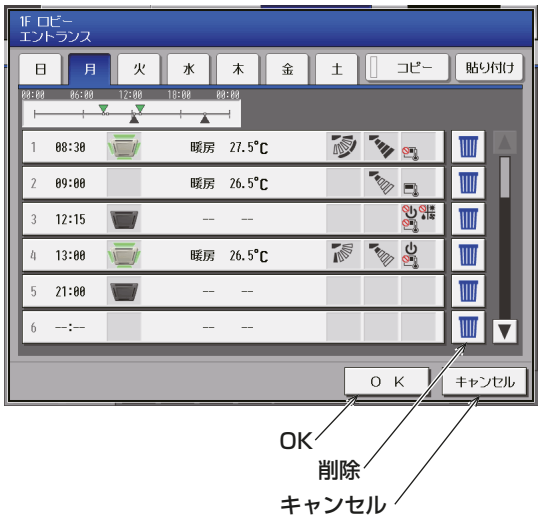
[6] スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容を全て設定した後、**[OK]** をタッチしてスケジュール設定を保存する。
前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[**キャンセル**] をクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑] をタッチしてください。



[7] スケジュールを別のグループにコピーする

手順

1. グループ間で 1 週間分のスケジュール内容をコピーする場合は、週間スケジュール設定画面（フロアー覧表示またはブロック一覧表示）からグループを選択して、**[コピー]** をタッチし選択状態とし、他のグループを選択してから **[貼り付け]** をタッチする。

お知らせ

- コピーした内容を違う機器に貼り付けることはできません。例えば、空調機でコピーした内容を換気機器に貼り付けることはできません。
- 機器の機能によっては、設定を反映できない場合があります。
- **[週間 1]** ～ **[週間 5]** の異なるスケジュール間でのコピーは出来ません。
- EM ブロックのくくりで選択する場合、表示切替にて **[EM ブロック]** に切り替えした後に操作してください。

3-3-4. 年間スケジュールの設定

メニューの［**スケジュール**］－［**年間**］をタッチして年間スケジュールの設定画面を開きます。
年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを空調機グループごとに、24ヶ月先（今月含む）までの範囲で50日分設定できます（前日以前の年間スケジュールは自動的に削除されます）。

[1] 設定対象を選択する

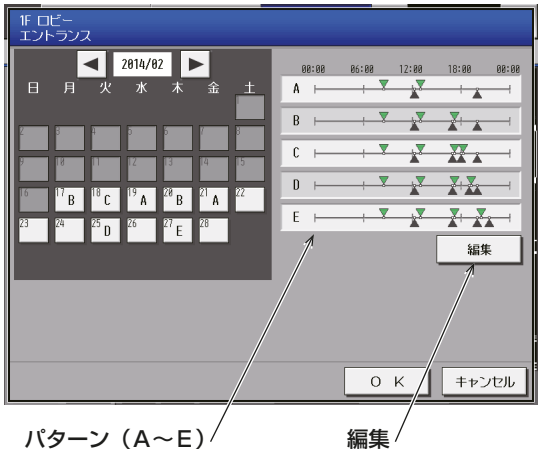
手順

1. 年間スケジュールを設定するグループを選択し、［**設定**］をタッチする。
   3-3-3「[2] 設定対象を選択する」参照

[2] パターンを選択する

手順

1. スケジュール設定画面で、パターン（A～E）をタッチするか、［**編集**］をタッチしてパターン設定画面を表示する。



2. スケジュールを設定したいパターンをタッチする。

   お願い

   - 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除［ 🗑 ］をタッチしてください。

[3] スケジュール内容を設定する

スケジュール内容の設定したいスケジュールの行をタッチすると、スケジュール設定画面が表示されます。
スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、**[OK]** をタッチします。「3-3-3 [4] スケジュール内容を設定する」参照
すでに設定した内容をコピーして作成する場合は、関連ページを参照してください。

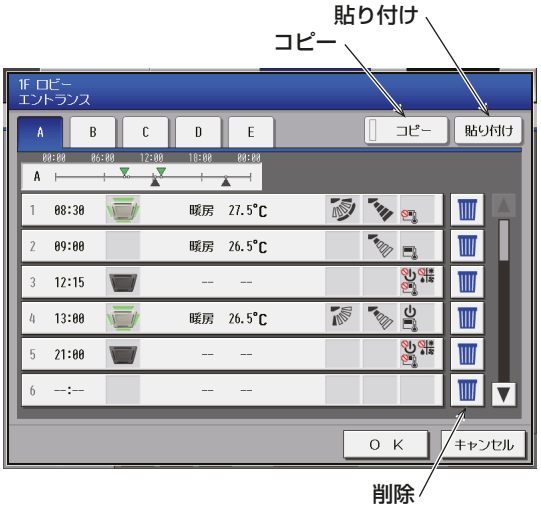
[4] スケジュールを別のパターンにコピーする

手順

1. パターン間でスケジュール内容をコピーする場合は、コピーしたいパターンを選択してから **[コピー]** をタッチし、コピー先のパターンを選択して **[貼り付け]** をタッチする。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑] をタッチしてください。

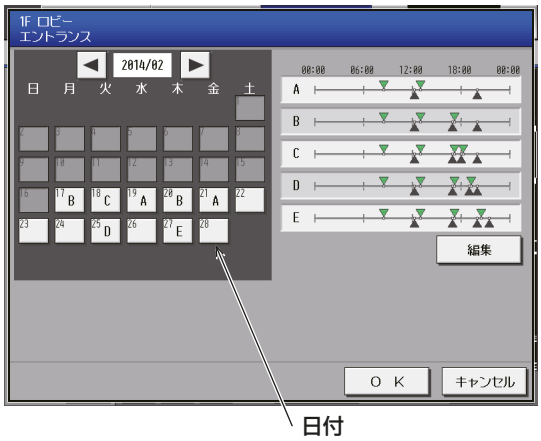


[5] パターン割り当て日を設定する

設定したスケジュールパターンを、祝日や夏期休暇など、週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

手順

1. パターンを割り当てるには、カレンダーの **[日付]** をタッチすると、**[日付]** にパターンが表示されるので、割り当てたいパターンが表示されるまでタッチする。（パターンの表示は、A→B→C→D→E→空白→A→・・・の順です）解除したい場合は、空白を選択します。



[6] スケジュールを保存する

手順

1. スケジュール内容を全て設定した後、[OK] をタッチしてスケジュール設定を保存する。
   前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合、[**キャンセル**] をクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

[7] スケジュールを別のグループにコピーする

手順

1. グループ間で年間スケジュール内容をコピーする。
   「3-3-3 [7] スケジュールを別のグループにコピーする」参照

3-3-5. 当日スケジュールの設定

メニューの [**スケジュール**] − [**当日**] をタッチして当日スケジュールの設定画面を開きます。
当日スケジュール変更設定画面では、週間スケジュールや年間スケジュールを変更せずに、当日のみ有効なスケジュールに設定することができます。

お知らせ

- 操作設定画面の「スケジュール」設定を [**有効**] に設定しておかなければ、スケジュールは実行されません。
「3-1-6. 操作設定画面」参照
- 当日スケジュール設定を行うと、当日スケジュールを削除して週間スケジュール･年間スケジュールに変更することができません。

お願い

- スケジュールを設定する際は、その内容が翌日の運転に影響しないように設定してください。たとえば、ある日の 17：00 以降をリモコン操作禁止にしたい場合は、23：59 など、日付が変わる前にリモコン操作を許可するように設定してください。

[1] 設定対象を選択する

手順

1. 当日スケジュールを設定する対象を選択し、[**設定**] をタッチする。
「3-3-3 [2] 設定対象を選択する」参照

[2] スケジュール内容を設定する

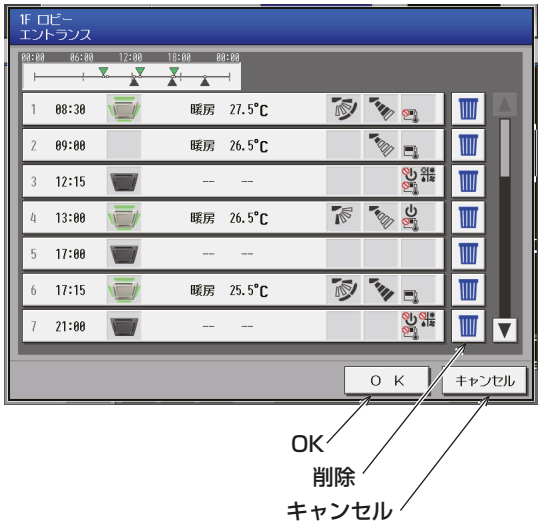
手順

1. スケジュール内容欄の設定したいスケジュールの行をタッチする。
スケジュール設定画面が表示されます。
2. スケジュール適用開始時刻、およびスケジュール運転内容を設定し、[OK] をタッチする。
「3-3-3 [4] スケジュール内容を設定する」参照

[3] スケジュールを保存する

手順

1. スケジュールの設定が完了したら、[OK] をタッチしてスケジュールを保存する。スケジュール内容の変更を取り消す場合は、保存せずに [**キャンセル**] をタッチする。



お知らせ

- スケジュール未設定で [OK] をタッチしても、空のスケジュールが保存されるので、優先度の関係上、年間･週間スケジュールは実行されません。

お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑] をタッチしてください。

[4] スケジュールを別のグループにコピーする

手順

1. グループ間で年間スケジュール内容をコピーする。「3-3-3 [7] スケジュールを別のグループにコピーする」参照

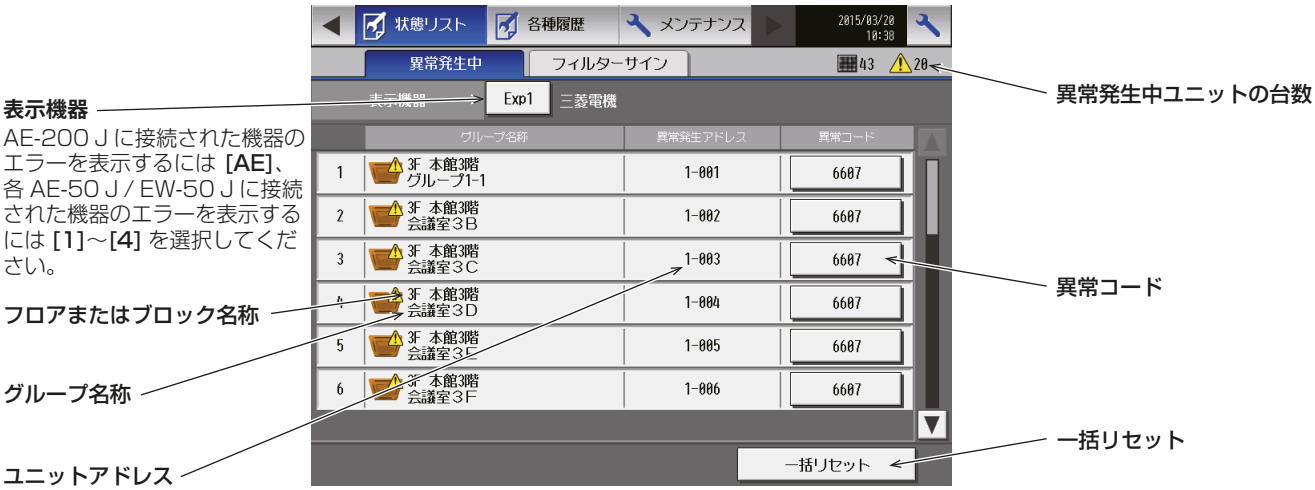
3-4. 状態リスト

3-4-1. 異常発生中画面

メニューの [**状態リスト**] − [**異常発生中**] をタッチして異常内容表示画面を開きます。現在、異常が発生しているユニットの一覧が表示されます。

お願い

- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が [**利用する**] に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を [AE200]、[Exp1] ～ [Exp4] と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jに接続された機器のエラーを個別に表示してください。AE-50Jの画面では、AE-200Jや他のAE-50J/EW-50Jの異常は表示できません。
- 異常が発生した場合、異常発生ユニットアドレスおよび、異常コード、異常内容を確認の上、お買い上げいただいた販売店、もしくはお近くのサービスセンターへお問い合わせください。



項目	内容
フロアまたはブロック名称	異常が発生しているユニットが属しているフロアまたはブロックの名称が表示されます。 **お知らせ** • 室外ユニットやシステムリモコンなどは、空欄で表示されます。 • ブロックまたはフロアに登録されていない場合は、空欄で表示されます。
グループ名称	異常が発生しているユニットが属するグループの名称が表示されます。 **お知らせ** • 室外ユニットやシステムリモコンなどは、空欄で表示されます。
ユニットアドレス	異常が発生しているユニットのアドレスが表示されます。 **お知らせ** • 表示機器で選択した、AE-50J/EW-50Jの番号とユニットアドレスが表示されます。（例：AE-50J/EW-50J番号が1、ユニットアドレスが012の場合　1-012） AE-200Jの場合は、ユニットアドレスのみ表示されます。（例：001）
異常発生中ユニットの台数	異常が発生しているユニットの台数が表示されます。

項目	内容
異常コード	発生している異常の異常コードが表示されます。 異常コードをタッチすると、異常コードの内容が表示されます。
一括リセット	タッチすると、異常が発生しているすべての機器の異常がリセットされます。 **お知らせ** • リセットされた室内ユニットは停止します。 • 異常をリセットしている間、リセット中が表示されることがあります。

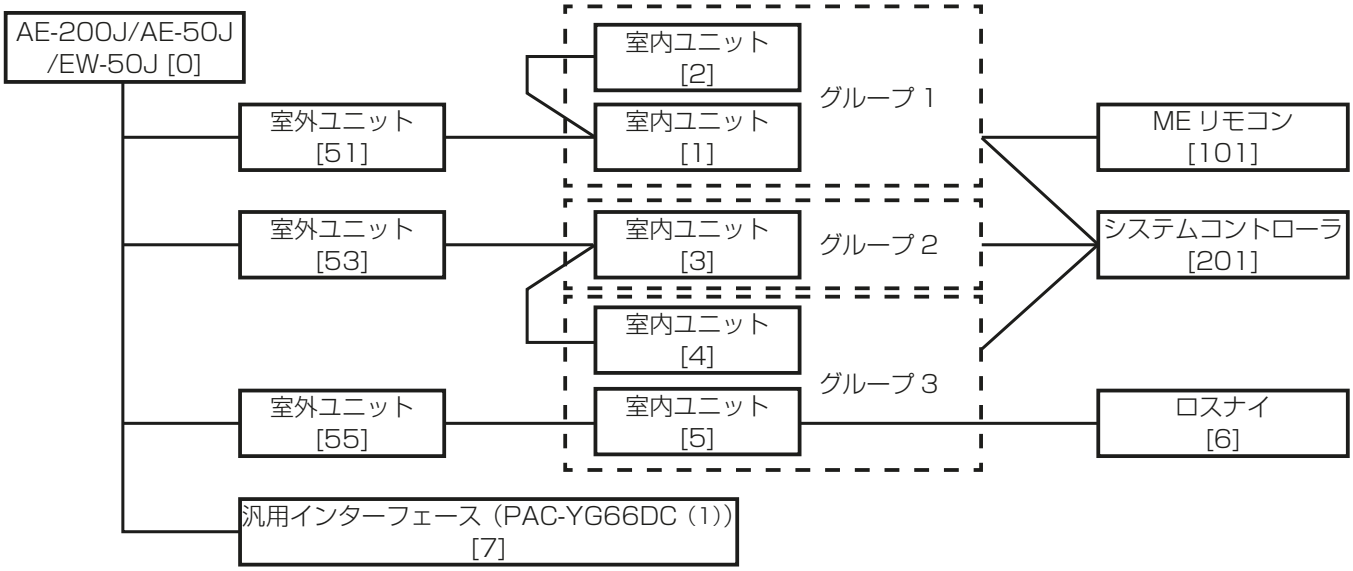
[1] 異常リセット範囲

発生中の異常をリセットした場合に、異常発生中のユニット以外のユニットが停止する場合があります。

異常発生中のユニットと停止するユニットの対応表

異常発生ユニット	異常をリセットすることで停止するユニット
AE-200J/AE-50J/EW-50J	なし
室外ユニット	異常発生中の室外ユニットに接続されているすべての室内ユニット
室内ユニット	異常発生中の室内ユニットおよびその室内ユニットと同一グループのすべての室内ユニット
ME (MA) リモコン	異常発生中のリモコンに接続されているすべての室内ユニット
システムコントローラ	異常発生中のシステムコントローラに接続されているすべての室内ユニット
連動ロスナイ	異常発生中のロスナイの連動元の室内ユニット
汎用インターフェース（PAC-YG66DC（1））	なし
計量用計測コントローラー（PAC-YG60MC（1））	なし
環境用計測コントローラー（PAC-YG63MC（1））	なし

異常発生中のユニットと異常をリセットすることで停止するユニットの例



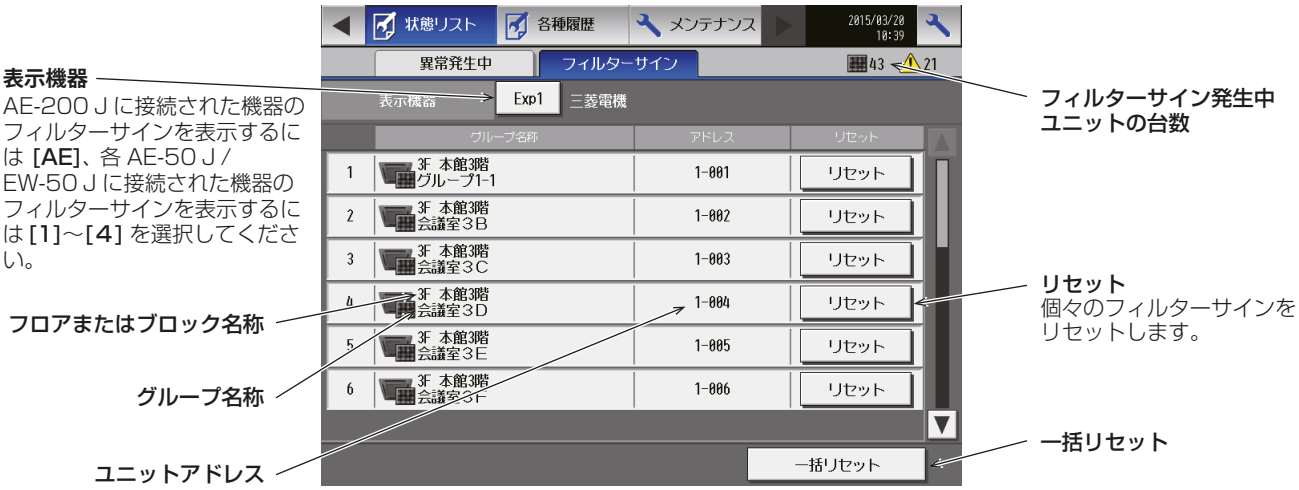
異常発生ユニット	異常をリセットすることで停止するユニット
AE-200J/AE-50J/EW-50J[0]	なし
室外ユニット [51]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2]
室外ユニット [53]	室内ユニット [3]、室内ユニット [4]
室内ユニット [1]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2]
室内ユニット [3]	室内ユニット [3]
室内ユニット [5]	室内ユニット [4]、室内ユニット [5]、ロスナイ [6]
ロスナイ [6]	室内ユニット [5]
ME リモコン [101]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2]
システムコントローラ [201]	室内ユニット [1]、室内ユニット [2]、室内ユニット [3]、室内ユニット [4]、室内ユニット [5]、ロスナイ [6]
汎用インターフェース（PAC-YG66DC（1））[7]	なし

3-4-2. フィルターサイン画面

フィルターサインが発生しているユニットを一覧で表示することができます。
メニューの［**状態リスト**］－［**フィルターサイン**］をタッチしてフィルターサイン画面を開きます。

お願い

- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が［**利用する**］に設定されている場合に、「表示機器」の設定がAE-200Jの画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を［**AE200**］、［**Exp1**］～［**Exp4**］と切り替えてAE-200Jと各AE-50J/EW-50Jに接続された機器のフィルターサインを個別に表示してください。



項目	内容
フロアまたはブロック名称	フィルターサインが発生しているユニットが属しているフロアまたはブロックの名称が表示されます。 **お知らせ** • ブロックまたはフロアに登録されていない場合は、空欄で表示されます。
グループ名称	フィルターサインが発生しているユニットが属しているグループの名称が表示されます。
ユニットアドレス	フィルターサインが発生しているユニットのアドレスが表示されます。 **お知らせ** • 表示機器で選択した、AE-50J/EW-50Jの番号とユニットアドレスが表示されます。（例：1-012） AE-200Jの場合は、ユニットアドレスのみ表示されます。（例：001）
フィルターサイン発生中ユニットの台数	フィルターサインが発生しているユニットの台数が表示されます。
リセット	タッチすると、フィルターサインが発生しているユニットが属しているグループのフィルターサインがリセットされます。 **お知らせ** • フィルター清掃後にリセットしてください。 フィルターサインをリセットしても、手元リモコンのフィルターサインが消えるまでに最大1時間かかります。 また、手元リモコンでフィルターサインをリセットしても、AE-200J/AE-50Jのフィルターサインが消えるまでに最大1時間かかります。 • フィルターサインをリセットしている間、リセット中が表示されることがあります。

項目	内容
一括リセット	タッチすると、すべてのフィルターサインがリセットされます。 **お知らせ** ・ フィルター清掃後にリセットしてください。 フィルターサインをリセットしても、手元リモコンのフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。 また、手元リモコンでフィルターサインをリセットしても、AE-200J/AE-50J/EW-50Jのフィルターサインが消えるまでに最大 1 時間かかります。 ・ フィルターサインをリセットしている間、リセット中が表示されることがあります。

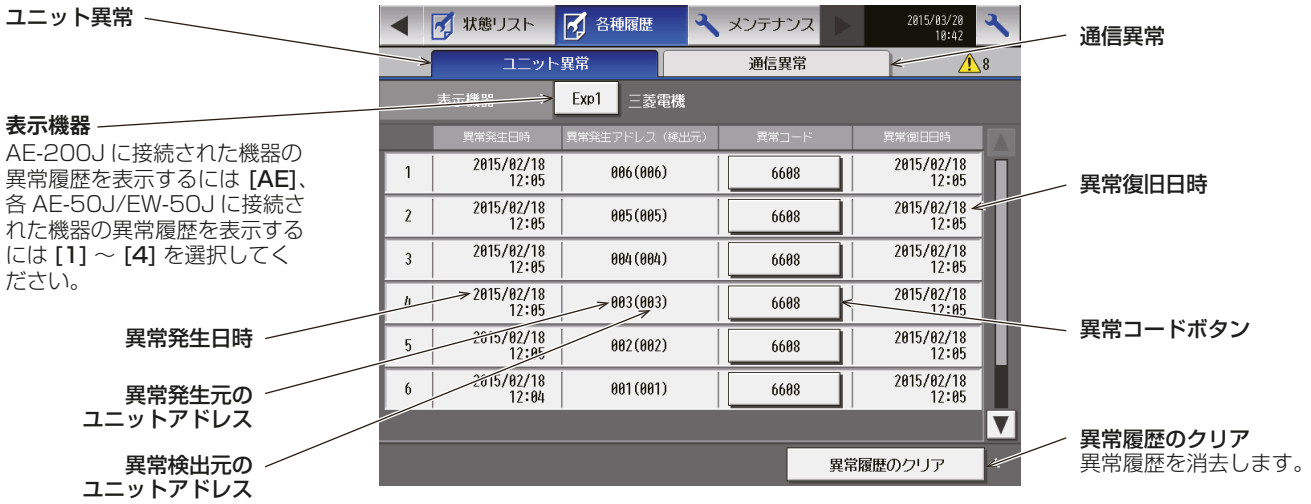
3-5. 各種履歴

3-5-1. ユニット異常 / 通信異常

メニューの [**各種履歴**] − [**ユニット異常**] をタッチすると、ユニット異常が表示されます。また [**通信異常**] をタッチすると、M-NET 通信異常が表示されます。

お願い

- ユニット情報画面の「台数拡張」設定が [**利用する**] に設定されている場合に、「表示機器」の設定が AE-200J の画面にのみ表示されます。「表示機器」の設定を [**AE200**]、[**Exp1**] ～ [**Exp4**] と切り替えて AE-200J と各 AE-50J/EW-50J の異常履歴を表示させください。



項目	内容
ユニット異常	タッチすると、ユニット異常履歴が表示されます。 **お知らせ** • AE-200J および各 AE-50J/EW-50J それぞれに最新 64 件のユニット異常が表示されます。
通信異常	タッチすると、通信異常履歴が表示されます。 **お知らせ** • AE-200J および各 AE-50J/EW-50J それぞれに最新 64 件の通信異常が表示されます。
異常履歴のクリア	タッチすると、異常履歴が消去されます。
異常発生日時	異常発生日時が表示されます。
異常発生元のユニットアドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。 **お知らせ** • 表示機器で選択した、AE-50J/EW-50J の番号とユニットアドレスが表示されます。（例：1-012） AE-200J の場合は、ユニットアドレスのみ表示されます。（例：001）
異常検出元のユニットアドレス	異常を検出したユニットのアドレスが表示されます。
異常復旧日時	異常が復旧した日時を表示します。

項目	内容
異常コード	発生している異常の異常コードが表示されます。 異常コードをタッチすると、異常内容が表示されます。

3-6. 異常コード一覧

AE-200J、AE-50J(EW-50J) で検出する異常コードとその意味を示します。
その他の関連機器については、「3-6-3. その他関連機器 異常コード」を参照してください。
それ以外の異常コードについては、異常発生アドレスの各機器の説明書を参照してください。
異常が発生した場合は、異常コードをメモして販売店にお問合わせください。

3-6-1. M-NET　異常コード

6600　通信異常　アドレス二重定義エラー
6601　通信異常　極性未設定エラー
6602　通信異常　伝送プロセッサ　ハードウエアエラー
6603　通信異常　伝送路ＢＵＳＹエラー
6604　通信異常　ＡＣＫ（０６Ｈ）無し（通信回路異常）
6605　通信異常　応答フレーム無し
6606　通信異常　伝送プロセッサとの通信異常
6607　通信異常　ＡＣＫ無返送エラー
6608　通信異常　応答フレーム無返送エラー

3-6-2. AE-200J、AE-50J（EW-50J）異常コード

0092　バージョン組合せ異常
0093　システム構成変更警告
0094　電力按分課金支援ライセンスなし
0095　計量計故障の可能性警告
0096　空調料金ファイル自動出力異常
0097　按分計算データ収集異常
6920　通信異常 応答なしエラー
6922　通信異常 受信フレームID エラー
7106　システム異常　属性設定エラー
7901　システム異常　接続台数オーバーエラー
7902　システム異常　接続ロックエラー
7903　システム異常　ユニット情報エラー
7904　システム異常　システム設定エラー
7905　システム異常　バージョンエラー／組合せ異常

3-6-3. その他関連機器 異常コード

0100　機器異常一括
01*0　＊系統機器異常（PAC-YG66DC）　＊は、チャンネル(ch)番号(1～6)となります。
01**　＊＊系統機器異常(AHC/HC)　＊＊は、チャンネル(ch)番号(01～19)となります。

汎用インターフェース（PAC-YG66DC(1)）本体では、機器異常は異常コードではなく、各系統の異常状態表示LEDが点灯します。

4. 使用方法（応用）

4-1. USB メモリへのデータ出力

4-1-1. エネルギー管理出力

エネルギー管理出力画面では、室外ユニットや室内ユニットなどの運転データや計測値をUSB メモリにCSV 形式で出力することができます。
初期設定画面または、監視／操作画面メニューの **[メンテナンス]** － **[エネルギー管理出力]** をタッチするとエネルギー管理出力画面が表示されます。
エネルギー管理出力ができる項目と、出力できる間隔（5 分、30 分、1 日、1 ヶ月、1 年）については、「■エネルギー管理データ一覧」を参照してください。

お知らせ

- CSV 出力されるファイル名やファイル内の日付形式、区切り文字、温度の単位（摂氏・華氏）、MCP（計量用計測コントローラ）計測値の単位、MCT（環境用計測コントローラ）の計測項目は初期設定で設定された形式で出力されます。設定方法は「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。
- 下記条件を満たす USB メモリを選定し、運用前に正常に動作することを確認の上、使用してください。
  - USB2.0 対応していること。
  - USB3.0 専用品は使用できません。USB3.0/2.0 兼用品を使用してください。
  - FAT32、または FAT(FAT16) 形式でフォーマットされていること。
  - セキュリティ機能がないもの。もしくは、セキュリティ機能なしでも使用できるもの。
    ただし、USB メモリ自体にセキュリティ機能（指紋認証等）を有するものは使用可能。

- 下表のUSB メモリについて正常に動作することを確認しています。（2021 年 8 月時点）

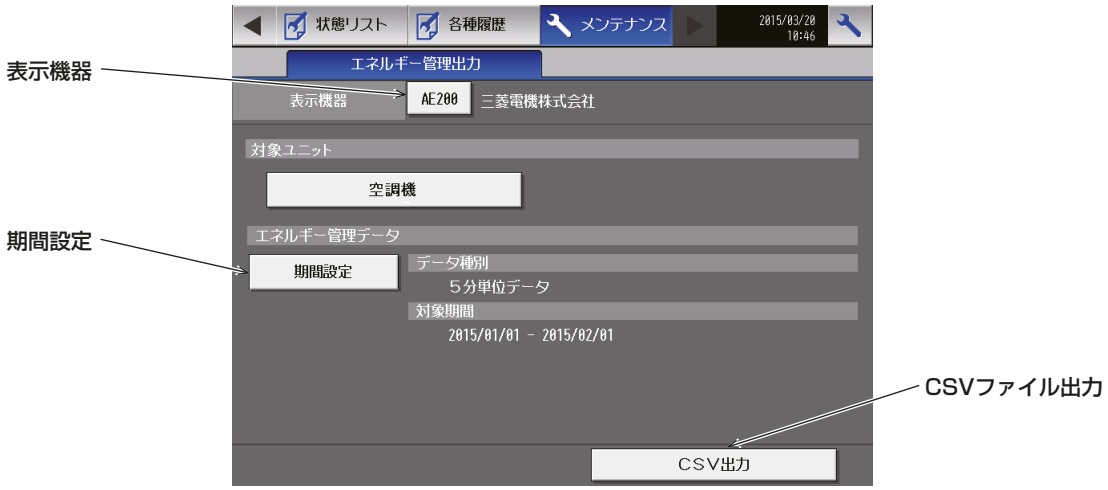
No.	メーカー	型名	容量
1	Transcend	TS16GJF590K	16GB
2	Transcend	TS32GJF700	32GB
3	Transcend	TS32GJF710S	32GB
4	Transcend	TS32GJF790KBE	32GB
5	Transcend	TS64GJF790KBE	64GB
6	Sony	USM16GRB	16GB
7	Sony	USM8X B	8GB
8	BUFFALO	RUF3-K8G	8GB
9	BUFFALO	RUF3-K8GA	8GB
10	BUFFALO	RUF3-KS32GA-BK.N	32GB
11	TOSHIBA	THN-U202W0160A4	16GB
12	M-Commerce	Biocryptodisk-ISPX	8GB
13	SanDisk	SDCZ33-016G-J57	15GB
14	Silicon Power	SP016GBUF2U02V1K	16GB
15	Silicon Power	SP032GBUF3802V1K	32GB
16	Silicon Power	SP032GBUF3180VITJA	32GB

お願い

- 上記を満たす USB メモリでも、正しく動作しない可能性があります。
- データ書き込み異常が発生した後、別の USB メモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200J を再起動（電源切→入）してから最初に異常発生したもの以外の USB メモリで改めて出力を行ってください。

お願い

- CSV ファイルは、Microsoft® Excel® 2010 以降で読み込んでください。



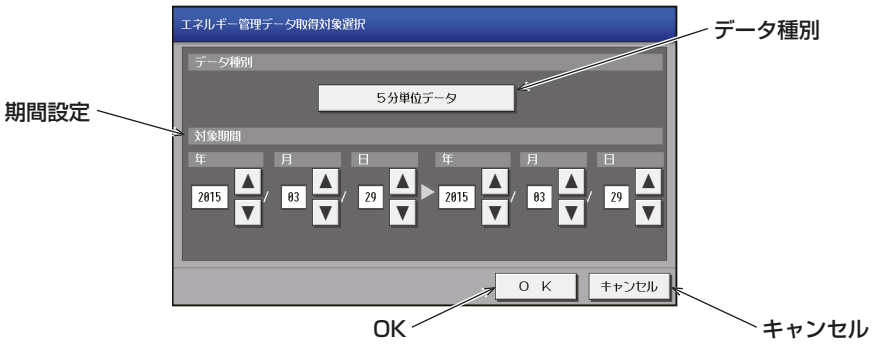
手順

1. カバーを外し、USB メモリ差込口に USB メモリを挿す。
2. 「表示機器」の設定を **[AE200]**、**[Exp1]** ～ **[Exp4]** と切り替えて CSV 出力したい AE-200J/AE-50J/EW-50J を選択する。

   お知らせ

   - AE-200J から出力した場合は、AE-50J/EW-50J のデータも出力されます。

3. 「対象ユニット」で **[空調機]** に選択枠が表示されていることを確認してください。
4. **[期間設定]** をタッチして「エネルギー管理データ取得対象選択」画面を開く。



5. データ種別を 5 分単位データ、30 分単位データ、1 日単位データ、1 ヶ月単位データ、1 年単位データから選択する。
   データ種別をタッチするごとに、**[5 分単位データ]**、**[30 分単位データ]**、**[1 日単位データ]**、**[1 ヶ月単位データ]**、**[1 年単位データ]**、の順に切り替わります。

6. データを取得する期間を指定する。
   [▲] または [▼] をタッチするごとに、数字が 1 ずつ増減します。

お知らせ

- 日付は、初期設定（[**初期設定**] − [**ユニット情報**]）で設定された形式で表示されます。
- 指定可能な日付範囲は、「データ種別」で選択したデータ種別によって異なります。それぞれの保存期間、データの更新タイミングは下表の通りです。
  データ期間

データ種別	データ保存期間	データ更新タイミング
5 分単位	当日を含む過去 62 日分	毎時 00 分
30 分単位	当月を含む過去 25 ヶ月分	毎時 00 分
1 日単位	当月を含む過去 25 ヶ月分	毎日 0 時 0 分
1 ヶ月単位	当月を含む過去 25 ヶ月分	毎月 1 日 0 時 0 分
1 年単位	当年を含む過去 5 年分	毎年 1 月 1 日 0 時 0 分

- 「データ種別」で [**1 ヶ月単位データ**] または [**1 年単位データ**] が選択されている場合は、対象期間の指定はできません。
- 出力されるのは、AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が入っていた間のデータのみです。
  AE-200J/AE-50J/EW-50J の電源が切れていた間のデータは出力されません。

7. データ種別と対象期間を設定し、[OK] をタッチして「エネルギー管理データ」画面に戻る。
8. [CSV 出力] をタッチする。

お願い

- USB メモリへ書き込んでいる間は、USB メモリを抜き差ししないでください。

お知らせ

- USB メモリを短い時間で抜き差しした場合、AE-200J/AE-50J 本体が USB メモリを認識しなくなる場合があります。その場合、AE-200J/AE-50J 本体をリセットする必要があります。

項目	内容
エネルギー管理データ	■ ファイル名 データ種別：5 分単位データ EnergyManagement_5MIN_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd).csv 【室外ユニット】 ・ **AE-50J/EW-50J の接続がなしの場合** OC_EnergyManagement_5MIN_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd)_A(アドレス番号).csv ・ **AE-50J/EW-50J の接続がありの場合** OC_EnergyManagement_5MIN_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd)_A(AE-50J/EW-50J 番号)-(アドレス番号).csv データ種別：30 分単位データ EnergyManagement_30MIN_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd).csv 【室外ユニット】 ・ **AE-50J/EW-50J の接続がなしの場合** OC_EnergyManagement_30MIN_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd)_A(アドレス番号).csv ・ **AE-50J/EW-50J の接続がありの場合** OC_EnergyManagement_30MIN_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd)_A(AE-50J/EW-50J 番号)-(アドレス番号).csv

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>
データ種別：1 日単位データ
EnergyManagement_1DAY_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd).csv
【室外ユニット】
・ AE-50J/EW-50J の接続がなしの場合
OC_EnergyManagement_1DAY_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd)_A(アドレス番号).csv
・ AE-50J/EW-50J の接続がありの場合
OC_EnergyManagement_1DAY_(YYYY)-(MM)-(DD)_(yyyy)-(mm)-(dd)_A(AE-50J/EW-50J 番号)-(アドレス番号).csv

データ種別：1 ヶ月単位データ
EnergyManagement_1MONTH_(YYYY)-(MM)_(yyyy)-(mm).csv
【室外ユニット】
・ AE-50J/EW-50J の接続がなしの場合
OC_EnergyManagement_1MONTH_(YYYY)-(MM)_(yyyy)-(mm)_A(アドレス番号).csv
・ AE-50J/EW-50J の接続がありの場合
OC_EnergyManagement_1MONTH_(YYYY)-(MM)_(yyyy)-(mm)_A(AE-50J/EW-50J 番号)-(アドレス番号).csv

データ種別：1 年単位データ
EnergyManagement_1YEAR_(YYYY)-(yyyy).csv
【室外ユニット】
・ AE-50J/EW-50J の接続がなしの場合
OC_EnergyManagement_1YEAR_(YYYY)_(yyyy)_A(アドレス番号).csv
・ AE-50J/EW-50J の接続がありの場合
OC_EnergyManagement_1YEAR_(YYYY)_(yyyy)_A(AE-50J/EW-50J 番号)-(アドレス番号).csv
<table>
<tr><th>ファイル名の内容</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>（YYYY）</td><td>開始年</td></tr>
<tr><td>（MM）</td><td>開始月</td></tr>
<tr><td>（DD）</td><td>開始日</td></tr>
<tr><td>（yyyy）</td><td>終了年</td></tr>
<tr><td>（mm）</td><td>終了月</td></tr>
<tr><td>（dd）</td><td>終了日</td></tr>
</table>
お知らせ
・ 日付は、[初期設定] － [ユニット情報] で設定された形式で表示されます。
・ 【室外ユニット】のファイルは、形名の末尾が G5 以降の室外ユニットまたは H2 以降のシティ (ズバ暖) マルチ S 接続時に出力されます。
・ （AE-50J/EW-50J 番号）は、1 ～ 4 で表示されます。
・ AE-200J のファイル名には、（AE-50J/EW-50J 番号）は表示されません。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>

■ ファイル出力先

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合**
(USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥OperationalData
￥EnergyManagement2 ￥AE ￥(日付)

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合**
(USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥OperationalData
￥EnergyManagement2 ￥AE(AE-50J/EW-50J 番号) ￥(日付)

お知らせ

- AE-200Jから出力した場合は、AE-50J/EW-50Jのデータも出力されます。
- AE-50Jから出力した場合、1台のみの出力になります。
- （AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。

■ ファイル形式

データ種別：5分単位データ

<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1行目</td><td>ファイル区分</td><td>501</td></tr>
<tr><td>2行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日 + "–" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3行目</td><td>項目 ※1, ※2</td><td>"DateTime,Data1(51),...Data1(100),
Data2(51),...Data2(100),Data3(51),...Data3(100),
OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),
CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),
HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),
RoomTemp(1),...RoomTemp(50),MCP1(1),...MCP1(50),
MCP2(1),...MCP2(50),MCP3(1),...MCP3(50),
MCP4(1),...MCP4(50),MCT1(1),...MCT1(50),
MCT2(1),...MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※3"</td></tr>
<tr><td>4行目</td><td>計測単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data2, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp,
HeatSetTemp, RoomTemp</td><td>℃，℉</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCT（環境用計測コントローラ）</td><td>℃，℉，%</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5行目～
17860
行目</td><td>データ
※1, ※2, ※4, ※5</td><td>日付と時刻，データ1（51），...（100），
データ2（51），...（100），
データ3（51），...（100），
外気温度（51），...（100），
冷房設定温度（1），...（50），
暖房設定温度（1），...（50），
室内温度（1），...（50），
MCP1（1），...（50），MCP2（1），...（50），
MCP3（1），...（50），MCP4（1），...（50），
MCT1（1），...（50），MCT2（1），...（50），
MCP1，MCP2，MCP3，MCP4</td></tr>
</table>

※1　MCP・MCTの後ろの数字はCh番号を表します。
※2　( ) 内の数字はM-NETアドレスを表します。
※3　AE-200J/AE-50J/EW-50Jへの計量用パルス入力の計測値は、MCP1～4のみで（アドレス）は表示されません。
※4　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※5　データは、当日を含む過去62日分が最大で出力されます。

</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>【室外ユニット】
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>506</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日＋ "-" ＋終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>アドレス番号</td><td>"Address" ＋アドレス番号</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"DateTime,ElectricEnergy, ElectricEnergy(No Energy-Saving Control),OutdoorTemp"</td></tr>
<tr><td>5 行目</td><td>計量単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>DateTime</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ElectricEnergy,
ElectricEnergy(No Energy-Saving Control)</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp</td><td>℃ , ℉</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>6行目～
17861
行目</td><td>データ ※1,※2</td><td>日付と時刻 , 電力量 , 省エネ制御未実施時の電力量 , 外気温度</td></tr>
</table>
※1　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※2　データは、当日を含む過去 62 日分が最大で出力されます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>
データ種別：30 分単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>502</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日 + "–" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目 ※1, ※2</td><td>"DateTime,Data1(51),...Data1(100),
Data2(51),...Data2(100),Data3(51),...Data3(100),
OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),
CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),
HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),
RoomTemp(1),...RoomTemp(50),
FanTime(1),...FanTime(50),CoolTime(1),...CoolTime(50),
HeatTime(1),...HeatTime(50),
ThermoTime(1),...ThermoTime(50),
CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),
HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),
ThermoCount(1),...ThermoCount(50),
SaveValue(1),...SaveValue(50),
CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),
HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApportionedElectricEnergy(1),...ApportionedElectricEner
gy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),
MCP3(1),...MCP3(50),MCP4(1),...MCP4(50),
MCT1(1),...MCT1(50),MCT2(1),...MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※3"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data2, Data3,
ThermoCount,</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp,
HeatSetTemp,RoomTemp</td><td>℃，℉</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime,
ThermoTime,CoolThermoTime,
HeatThermoTime, SaveValue,
CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>Minute</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCT（環境用計測コントローラ）</td><td>℃，℉，%</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5 行目～
37204
行目</td><td>データ
※1, ※2, ※4, ※5</td><td>日付と時刻，データ 1（51），...（100），データ 2（51），...（100），
データ 3（51），...（100），外気温度（51），...（100），
冷房設定温度（1），...（50），暖房設定温度（1），...（50），
室内温度（1），...（50），FAN 運転時間（1），...（50），
冷房運転時間（1），...（50），暖房運転時間（1），...（50），
サーモ ON 時間（1），...（50），冷房サーモ ON 時間（1），...（50），
暖房サーモ ON 時間（1），...（50），サーモ ON ／ OFF 回数（1），...（50），
能力セーブ量（1），...（50），冷房能力セーブ量（1），...（50），
暖房能力セーブ量（1），...（50），按分電力量（1），...（50），
MCP1（1），...（50），MCP2（1），...（50），MCP3（1），...（50），
MCP4（1），...（50），MCT1（1），...（50），MCT2（1），...（50），
MCP1，MCP2，MCP3，MCP4</td></tr>
</table>
※1　MCP・MCT の後ろの数字は Ch 番号を表します。
※2　( ) 内の数字は M-NET アドレスを表します。
※3　AE-200J/AE-50J/EW-50J への計量用パルス入力の計測値は、MCP1 ～ 4 のみで (アドレス) は表示されません。
※4　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※5　データは、当月を含む過去 25 ヶ月分が最大で出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>【室外ユニット】
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>507</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日＋ "-" ＋終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>アドレス番号</td><td>"Address" ＋アドレス番号</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"DateTime,ElectricEnergy, ElectricEnergy(No Energy-Saving Control),OutdoorTemp"</td></tr>
<tr><td>5 行目</td><td>計量単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>DateTime</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ElectricEnergy,
ElectricEnergy(No Energy-Saving Control)</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp</td><td>℃ , ℉</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>6行目～
37205
行目</td><td>データ ※1,※2</td><td>日付と時刻 , 電力量 , 省エネ制御未実施時の電力量 , 外気温度</td></tr>
</table>
※1　該当するデータが存在しない場合、数値は表示されません。
※2　データは、当月を含む過去 25 ヶ月分が最大で出力されます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>
データ種別：1 日単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>503</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日 + "–" + 終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目 ※1, ※2</td><td>"Data,Data1(51),...Data1(100),Data3(51),...Data3(100),
OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),
CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),
HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),
RoomTemp(1),...RoomTemp(50),FanTime(1),...FanTime(50),
CoolTime(1),...CoolTime(50),HeatTime(1),...HeatTime(50),
ThermoTime(1),...ThermoTime(50),
CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),
HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),
SaveValue(1),...SaveValue(50),
CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),
HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApportionedElectricEnergy(1),...ApportionedElectricEner
gy(50),
TargetElectricEnergy(1),...TargetElectricEnergy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),
MCP3(1),...MCP3(50),MCP4(1),...MCP4(50),
MCT1(1),...MCT1(50),MCT2(1),...MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※3"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp,
HeatSetTemp,RoomTemp</td><td>℃，℉</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime,
ThermoTime,CoolThermoTime,
HeatThermoTime, SaveValue,
CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>Minute</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy,
TargetElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m^3, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m^3, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCT（環境用計測コントローラ）</td><td>℃，℉，%</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5行目～
779
行目</td><td>データ
※1, ※2, ※4, ※5</td><td>日付，データ 1（51），...（100），データ 3（51），...（100），
外気温度（51），...（100），冷房設定温度（1）,...（50），
暖房設定温度（1），...（50），室内温度（1），...（50），
FAN 運転時間（1），...（50），冷房運転時間（1），...（50），
暖房運転時間（1），...（50），サーモ ON 時間（1），...（50），
冷房サーモ ON 時間（1）, ...（50）, 暖房サーモ ON 時間（1）, ...（50），
能力セーブ量（1），...（50），冷房能力セーブ量（1），...（50），
暖房能力セーブ量（1），...（50），按分電力量（1），...（50），
目標電力量（1）, ...（50）, MCP1（1）, ...（50）, MCP2（1）, ...（50），
MCP3（1），...（50）, MCP4（1），...（50）, MCT1（1），...（50），
MCT2（1），...（50），
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4</td></tr>
</table>
※1　MCP・MCTの後ろの数字はCh番号を表します。
※2　( ) 内の数字はM-NETアドレスを表します。
※3　AE-200J/AE-50J/EW-50Jへの計量用パルス入力の計測値は、MCP1～4のみで(アドレス)は表示されません。
※4　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※5　データは、当月を含む過去25ヶ月分が最大で出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>【室外ユニット】
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>508</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日＋ "-" ＋終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>アドレス番号</td><td>"Address" ＋アドレス番号</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"Date,ElectricEnergy, ElectricEnergy(No Energy-Saving Control),OutdoorTemp"</td></tr>
<tr><td>5 行目</td><td>計量単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Date</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ElectricEnergy,
ElectricEnergy(No Energy-Saving Control)</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp</td><td>℃ , ℉</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>6行目～780行目</td><td>データ ※1,※2</td><td>日付 , 電力量 , 省エネ制御未実施時の電力量 , 外気温度</td></tr>
</table>
※1　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※2　データは、当月を含む過去 25 ヶ月分が最大で出力されます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>
データ種別：1 ヶ月単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>504</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始年月 + "-" + 終了年月</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目 ※1, ※2</td><td>"Month,Data1(51),...Data1(100),Data3(51),...Data3(100),
OutdoorTemp(51),...OutdoorTemp(100),
CoolSetTemp(1),...CoolSetTemp(50),
HeatSetTemp(1),...HeatSetTemp(50),
RoomTemp(1),...RoomTemp(50),
FanTime(1),...FanTime(50),CoolTime(1),...CoolTime(50),
HeatTime(1),...HeatTime(50),
ThermoTime(1),...ThermoTime(50),
CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),
HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),
SaveValue(1),...SaveValue(50),
CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),
HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApportionedElectricEnergy(1),...ApportionedElectricEner
gy(50),
TargetElectricEnergy(1),...TargetElectricEnergy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),
MCP3(1),...MCP3(50),MCP4(1),...MCP4(50),
MCT1(1),...MCT1(50),MCT2(1),...MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※3"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp, CoolSetTemp,
HeatSetTemp,RoomTemp</td><td>℃，℉</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime,
ThermoTime,CoolThermoTime,
HeatThermoTime, SaveValue,
CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>Minute</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy,
TargetElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP (計量用計測コントローラ)</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCP(計量用パルス入力)</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCT (環境用計測コントローラ)</td><td>℃，℉，%</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5 行目～
29 行目</td><td>データ
※1, ※2, ※4, ※5</td><td>年月 , データ 1（51），...（100），データ 3（51），...（100），
外気温度（51），...（100），冷房設定温度（1），...（50），
暖房設定温度（1），...（50），室内温度（1），...（50），
FAN 運転時間（1），...（50），冷房運転時間（1），...（50），
暖房運転時間（1），...（50），サーモ ON 時間（1），...（50），
冷房サーモ ON 時間（1），...（50），暖房サーモ ON 時間（1），...（50），
能力セーブ量（1），...（50），冷房能力セーブ量（1），...（50），
暖房能力セーブ量（1），...（50），按分電力量（1），...（50）.
目標電力量（1），...（50），MCP1（1），...（50），MCP2（1），...（50），
MCP3（1），...（50），MCP4（1），...（50），MCT1（1），...（50），
MCT2（1），...（50），
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4</td></tr>
</table>
※1　MCP・MCTの後ろの数字はCh番号を表します。
※2　( ) 内の数字はM-NETアドレスを表します。
※3　AE-200J/AE-50J/EW-50Jへの計量用パルス入力の計測値は、MCP1～4のみで(アドレス)は表示されません。
※4　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※5　データは、当月を含む過去25ヶ月分が最大で出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>【室外ユニット】
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>509</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始年月＋ "-" ＋終了年月</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>アドレス番号</td><td>"Address" ＋アドレス番号</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"Month,ElectricEnergy, ElectricEnergy(No Energy-Saving Control),OutdoorTemp"</td></tr>
<tr><td>5 行目</td><td>計量単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Month</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ElectricEnergy,
ElectricEnergy(No Energy-Saving Control)</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>OutdoorTemp</td><td>℃ , ℉</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>6 行目～
30 行目</td><td>データ ※1, ※2</td><td>年月 , 電力量 , 省エネ制御未実施時の電力量 , 外気温度</td></tr>
</table>
※1　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※2　データは、当月を含む過去 25 ヶ月分が最大で出力されます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>
データ種別：1 年単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>505</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始年 + "–" + 終了年</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>項目 ※1, ※2</td><td>"Year,Data1(51),...Data1(100),Data3(51),...Data3(100),
FanTime(1),...FanTime(50),CoolTime(1),...CoolTime(50),
HeatTime(1),...HeatTime(50),
ThermoTime(1),...ThermoTime(50),
CoolThermoTime(1),...CoolThermoTime(50),
HeatThermoTime(1),...HeatThermoTime(50),
SaveValue(1),...SaveValue(50),
CoolSaveValue(1),...CoolSaveValue(50),
HeatSaveValue(1),...HeatSaveValue(50),
ApportionedElectricEnergy(1),...ApportionedElectricEner
gy(50),
TargetElectricEnergy(1),...TargetElectricEnergy(50),
MCP1(1),...MCP1(50),MCP2(1),...MCP2(50),
MCP3(1),...MCP3(50),MCP4(1),...MCP4(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4 ※3"</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>計測単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Data1, Data3</td><td>-</td></tr>
<tr><td>FanTime, CoolTime, HeatTime,
ThermoTime,CoolThermoTime,
HeatThermoTime, SaveValue,
CoolSaveValue, HeatSaveValue</td><td>Minute</td></tr>
<tr><td>ApportionedElectricEnergy,
TargetElectricEnergy</td><td>kWh</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用計測コントローラ）</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
<tr><td>MCP（計量用パルス入力）</td><td>kWh, m³, MJ,""</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5 行目～
9 行目</td><td>データ
※1, ※2, ※4, ※5</td><td>年 , データ 1（51），...（100），データ 3（51），...（100），
FAN 運転時間（1），...（50），冷房運転時間（1），...（50），
暖房運転時間（1），...（50），サーモ ON 時間（1），...（50），
冷房サーモ ON 時間（1）, ...（50）, 暖房サーモ ON 時間（1）, ...（50），
能力セーブ量（1），...（50），冷房能力セーブ量（1），...（50），
暖房能力セーブ量（1），...（50），按分電力量（1），...（50）
目標電力量（1）, ...（50）, MCP1（1）, ...（50）, MCP2（1）, ...（50），
MCP3（1），...（50），MCP4（1），...（50），
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4</td></tr>
</table>
※1　MCP・MCT の後ろの数字は Ch 番号を表します。
※2　( ) 内の数字は M-NET アドレスを表します。
※3　AE-200J/AE-50J/EW-50J への計量用パルス入力の計測値は、MCP1 ～4 のみで (アドレス) は表示されません。
※4　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※5　データは、当年を含む過去 5 年分が最大で出力されます。
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>エネルギー管理データ</td><td>
【室外ユニット】
データ種別：1 年単位データ
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>510</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始年＋ "-" ＋終了年</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>アドレス番号</td><td>"Address" ＋アドレス番号</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"Year,ElectricEnergy, ElectricEnergy(No Energy-Saving Control)"</td></tr>
<tr><td>5 行目</td><td>計量単位</td><td>
<table>
<tr><th>項目</th><th>単位</th></tr>
<tr><td>Year</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ElectricEnergy,
ElectricEnergy(No Energy-Saving Control)</td><td>kWh</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>6行目～
10 行目</td><td>データ ※1, ※2</td><td>年 , 電力量 , 省エネ制御未実施時の電力量</td></tr>
</table>
※1　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※2　データは、当年を含む過去５年分が最大で出力されます。

■ ファイル例
データ種別：5 分単位データ
501
2017/03/15-2017/05/17
DateTime,Data1(51),・・・,Data1(100),Data2(51),・・・,Data2(100),Data3(51),・・・,
Data3(100),OutdoorTemp(51),・・・,OutDoorTemp(100),CoolSetTemp(1),・・・,
CoolSetTemp(50),HeatSetTemp(1),・・・,HeatSetTemp(50),RoomTemp(1),・・・,
RoomTemp(50),MCP1(1),・・・,MCP1(50),MCP2(1),・・・,MCP2(50),MCP3(1),・・・,
MCP3(50),MCP4(1),・・・,MCP4(50),MCT1(1),・・・,MCT1(50),MCT2(1),・・・,MCT2(50),
MCP1,MCP2,MCP3,MCP4
,,・・・,,,・・・,,,・・・,,°C,・・・,°C,°C,・・・,°C,°C,・・・,°C,°C,・・・,°C,
kWh,・・・,kWh, kWh,・・・,kWh, kWh,・・・,kWh, kWh,・・・,kWh,°C,・・・,°C,°C,・・・,
°C,kWh,kWh,kWh,kWh
2017/03/15_00:00,100.00,・・・,80.00,20.50,・・・,24.00,3.21,・・・,3.54,30.0,・・・,
31.0,
25.0,・・・,25.0,・・・,20.0,・・・,20.0,26.0,・・・,27.0,100.00,・・・,100.00,150.00,・・・,
150.00,
200.00,・・・,200.00,250.00,・・・,250.00,25.0,・・・,25.0,25.0,・・・,25.0,120.00,
170.00,
220.00,200.00
2017/03/15_00:05,120.00,・・・,100.00,20.70,・・・,25.00,3.23,・・・,3.40,30.0,・・・,
31.0,25.0,・・・,25.0,・・・,20.0,・・・,20.0,26.0,・・・,27.0,120.00,・・・,120.00,170.00,
・・・,
170.00, 220.00,・・・,220.00,270.00,・・・,270.00,25.0,・・・,25.0,25.0,・・・,
25.0,120.00,170.00,220.00,200.00
・・・

【室外ユニット】
506
2017/06/10-2017/06/30
Address051
DateTime,ElectricEnergy,ElectricEnergy(No Energy-Saving Control),OutdoorTemp
,kWh,kWh,°C
2017/06/10_00:00,100.00,20.00,30.0
2017/06/10_00:05,100.00,20.00,30.0
・・・
2017/06/30_23:55,100.00,20.00,30.0
</td></tr>
</table>

■エネルギー管理データ一覧

下記表のデータ項目は、CSV 形式で出力可能なエネルギー管理に関する項目、計測単位、およびデータ種別ごとのデータ範囲について示しています。

データ項目

種類	項目	データ種別（間隔）					計測単位	データ範囲※11
		5 分	30 分	1 日※6	1 ケ月※7	1 年※8		
メンテナンス	データ 1 ※1							
	データ 2 ※1							
	データ 3 ※1							
	外気温度							
室内ユニット	冷房設定温度	○	○※2	○※3	○※4		℃	-100.0 ～ 100.0
							℉	32.0 ～199.0
	暖房設定温度	○	○※2	○※3	○※4		℃	-100.0 ～ 100.0
							℉	32.0 ～199.0
	室内温度	○	○※2	○※3	○※4		℃	-100.0 ～ 100.0
							℉	32.0 ～199.0
	FAN 運転時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	冷房運転時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	暖房運転時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	サーモ ON 時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	冷房サーモ ON 時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	暖房サーモ ON 時間		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 2147483647
	サーモ ON 回数※5		○※9				–	0 ～ 2147483647
	能力セーブ量		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 21474836.47
	冷房能力セーブ量		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 21474836.47
	暖房能力セーブ量		○※9	○※10	○※10	○※10	分	0 ～ 21474836.47
	按分電力量		○※9	○※10	○※10	○※10	kWh	0 ～ 999999.9999
	目標電力量			○※10	○※10	○※10	kWh	0～922337203685477
MCP（計量用計測コントローラ / 計量用パルス入力）	MCP1	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh,m³,MJ,””	0 ～ 999999.99
	MCP2	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh,m³,MJ,””	0 ～ 999999.99
	MCP3	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh,m³,MJ,””	0 ～ 999999.99
	MCP4	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh,m³,MJ,””	0 ～ 999999.99
MCT（環境用計測コントローラ）	MCT1	○	○※2	○※3	○※4		℃ ,%	-100.0 ～ 100.0
							℉	-148.0 ～ 212.0
	MCT2	○	○※2	○※3	○※4		℃ ,%	-100.0 ～ 100.0
							℉	-148.0 ～ 212.0

【室外ユニット】

種類	項目	データ種別					計測単位	データ範囲※11
		5 分	30 分	1 日※6	1 ケ月※7	1 年※8		
室外ユニット	電力量※12	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh	0 ～ 999999.99
	省エネ制御未実施時の電力量※12	○※9	○※9	○※10	○※10	○※10	kWh	0 ～ 999999.99
	外気温度	○	○※2	○※3	○※4		℃	-100.0 ～ 100.0
							℉	-148.0 ～ 212.0

※1　この数値は工場専用データのため、表示されません。
※2　この数値は毎時00分と30分に計測された温度または湿度数値になります。
※3　この数値は毎時00分に計測された温度または湿度数値の一日平均値になります。
※4　この数値は毎日計測された温度または湿度数値の月間平均値になります。
※5　「サーモON回数」は、ユニットがサーモOFFからサーモONに切り替わった回数を指します。
※6　出力データが当日のデータを含む場合、CSVファイルを出力した時点までのデータが出力されます。
※7　当月分のデータは、CSVファイルを出力した時点までのデータを含みます。
※8　当年分のデータは、CSVファイルを出力した時点までのデータを含みます。
※9　数値は運転開始以降の累積値になります。最大値を超えた場合は、ゼロからの積算に戻ります。
※10 各数値はそれぞれの測定期間（1日、1ヶ月、または1年）の合計値になります。
※11 小数点以下の表示桁数は、データ項目によって異なります。たとえば、データ範囲が「0～99.99」の場合は、0.01刻みで表示されます。
※12 室外ユニットの電力量および省エネ制御未実施時の電力量は、室外ユニットで演算する目安の値となります。
このため、課金設定やエネルギー管理設定に基づき按分された電力量と一致しない可能性があります。

4-1-2. 設定データバックアップ

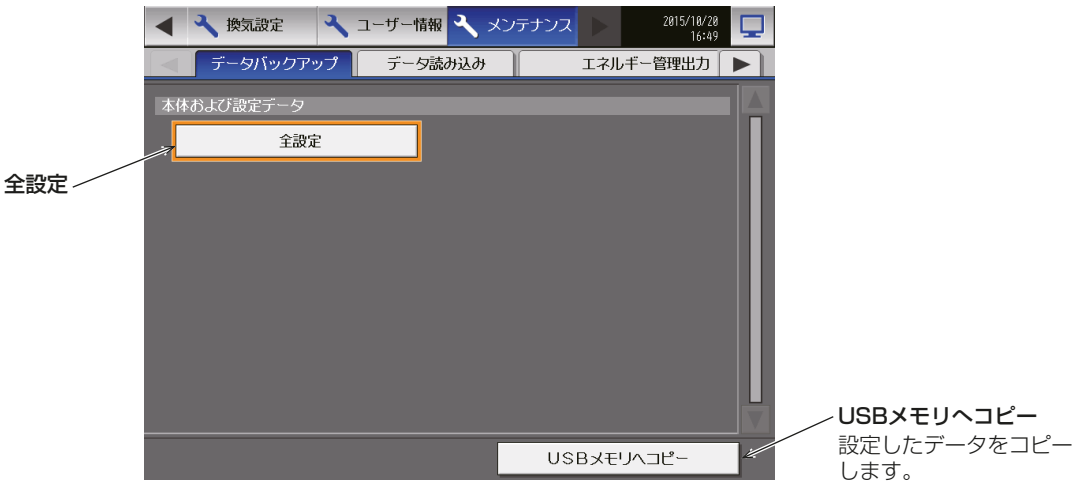
使用できるUSBメモリは「4-1-1. エネルギー管理出力」の「お知らせ」を参照してください。

[1] データ書き込み

AE-200J/AE-50Jの設定情報をUSBメモリーに出力してバックアップを保存することができます。また、故障交換時や設定データを過去の状態に戻したいときにそれらのデータをAE-200J/AE-50Jへ読み込むことができます。
メニューの[**メンテナンス**]－[**データバックアップ**]をタッチしてデータバックアップ画面を開きます。

お知らせ

- AE-200Jでバックアップした場合は、AE-50J/EW-50Jのデータもバックアップされます。
- IPアドレスはバックアップされませんので、メモをしてください。



手順

1. カバーを外し、USBポートにUSBメモリを差す。
2. [**全設定**]をタッチし、[**USBメモリへコピー**]をタッチする。
   USBメモリのルートフォルダに¥"製造番号"¥SettingData¥AE※1のフォルダが作成され、その中にAE-200J/AE-50J/EW-50Jの設定情報ファイルが保存されます。（既にフォルダがある場合はそのまま利用します）
   ※1 AE-50J/EW-50J接続時は"AE1、""AE2、""AE3、"または"AE4"
   ＜例＞
   USBメモリのルートフォルダ（G:¥）
   └── 12345-123 …… AE-200Jの製造番号
   　└── Setting Data
   　　├ AE …… AE-200J 設定ファイル
   　　├ AE1 …… AE-50J または EW-50J　No. 1 設定ファイル
   　　├ AE2 …… AE-50J または EW-50J　No. 2 設定ファイル
   　　├ AE3 …… AE-50J または EW-50J　No. 3 設定ファイル
   　　└ AE4 …… AE-50J または EW-50J　No. 4 設定ファイル

お知らせ

- 設定データの作成には、数分かかる場合があります。

お願い

- USBメモリへ書き込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。
- 書き込みが失敗する場合、USBメモリが挿さっているかを確認してください。
- USBメモリを短い時間で抜き差しした場合、本体がUSBメモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体をリセットする必要があります。

[2] データ読み込み

初期設定メニューの [**メンテナンス**] − [**データ読み込み**] をタッチしてデータ読み込み画面を開きます。

手順

1. USB メモリのルートフォルダに **[SetupData_"IP address"¥AE※1]** フォルダを作成する。
2. フォルダの中に読み込む設定情報ファイルを保存する。

   ※1　AE-50J/EW-50J 接続時は “AE1”、“AE2”、“AE3”、または “AE4”

   ＜例＞

   USB メモリのルートフォルダ（G:¥）
   └── SetupData_"IP address"
   ├── AE …… AE-200J 設定ファイル
   ├── AE1 …… AE-50J または EW-50J　No. 1 設定ファイル
   ├── AE2 …… AE-50J または EW-50J　No. 2 設定ファイル
   ├── AE3 …… AE-50J または EW-50J　No. 3 設定ファイル
   └── AE4 …… AE-50J または EW-50J　No. 4 設定ファイル

   お知らせ

   - AE-200Jからバックアップしたファイル以外のファイルは読み込めません。AE-50Jからバックアップしたファイルは AE-50Jから読み込んでください。
   - "IP address" は AE-200J の IP アドレスが「192.168.1.12」の場合、「192_168_1_12」となります。（「 . 」(ピリオド) を「 _ 」(アンダーバー) に置き換えてください。）

   お願い

   - ファイル名はバックアップ時に出力されたファイル名から変更しないでください。フォルダ名、ファイル名が違う場合は読み込めません。

3. カバーを外し、USB ポートに USB メモリを挿す。
4. [**全設定**] をタッチし、**[USB メモリから読み込み]** をタッチする。

   お知らせ

   - 設定データの読み込みには、数分かかる場合があります。

   お願い

   - USB メモリから読み込んでいる間は、USB メモリを抜き差ししないでください。
   - 読込が失敗する場合、フォルダ名、ファイル名を確認してください。
   - 読込が失敗する場合、USB メモリが挿さっているかを確認してください。
   - USB メモリを短い時間で抜き差しした場合、本体が USB メモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体をリセットする必要があります。

4-1-3. CSV出力

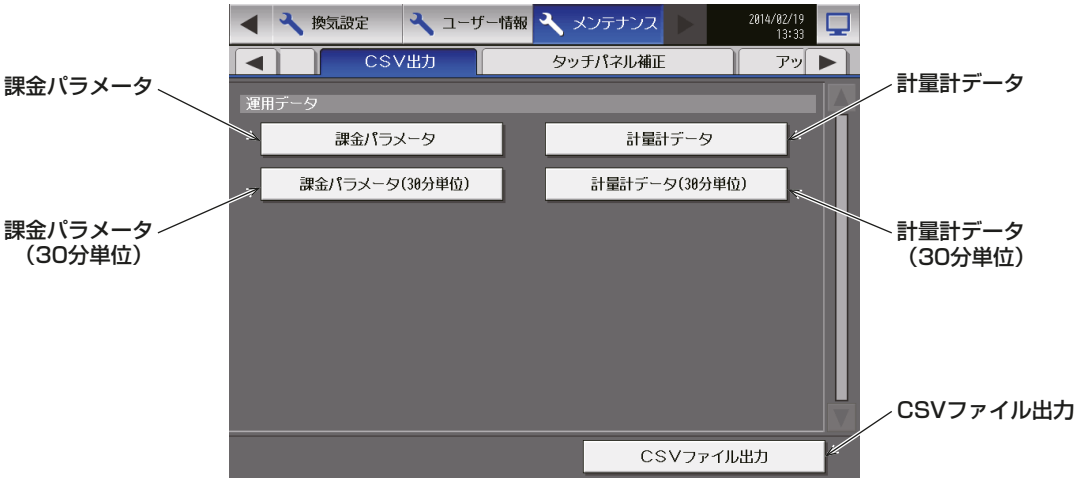
CSV出力画面では、課金パラメータ、電力量データ、課金パラメータ（30分単位）、電力量データ（30分単位）の運用データをUSBメモリにCSV形式で出力することができます。
メニューの［**メンテナンス**］－［**CSV出力**］をタッチします。

お知らせ

- 電力按分課金支援ライセンスが未登録の場合、CSV出力はできません。
- CSV出力されるファイル名やファイル内の日付形式、区切り文字は初期設定で設定された形式で出力されます。設定方法は「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。
- 使用可能なUSBメモリについては「4-1-1. エネルギー管理出力」を参照してください。

お願い

- CSVファイルは、Microsoft® Excel® 2010以降で読み込んでください。



手順

1. カバーを外し、USBメモリ差込口にUSBメモリを差す。
2. 出力するデータのボタンをタッチし、［**CSVファイル出力**］をタッチする。

お知らせ

- データの容量によっては、出力完了までに数分かかる場合があります。
- AE-50J/EW-50Jを接続している場合、AE-200JでCSV出力すると、AE-50J/EW-50Jのデータも出力できます。

お願い

- USBメモリへ書き込んでいる間は、USBメモリを抜き差ししないでください。
- USBメモリを短い時間で抜き差しした場合、本体がUSBメモリを認識しなくなる場合があります。その場合、本体の電源をリセットする必要があります。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>課金パラメータ</td><td>

■ ファイル名

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合**

"ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"A"(室内ユニットアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv
例：ChargeParameter_2015-03-01A01-1.csv

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合**

"ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"A"(AE-50J/EW-50J 番号)-
(室内ユニットアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv
例：ChargeParameter_2015-03-01A1-01-1.csv

お知らせ

- （AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。
- 時間帯1～5は、TG-2000または初期設定ツールでのみ設定可能です。
  工場出荷時は、時間帯1になります。
- AE-200Jのファイル名には、（AE-50J/EW-50J番号）は表示されません。

■ ファイル出力先

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合**

(USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData"
￥"ChargeParameters" ￥"AE" ￥(日付)

・ **AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合**

(USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData"
￥"ChargeParameters" ￥"AE"(AE-50J/EW-50J 番号) ￥(日付)

お知らせ

- AE-200Jから出力した場合は、AE-50J/EW-50Jのデータも出力されます。
- AE-50Jから出力した場合、1台のみの出力になります。
- （AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。
- AE-200Jのファイル出力先には、（AE-50J/EW-50J番号）が表示されません。

■ ファイル形式

<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>201</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日＋ " － " ＋終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>室内ユニットの
アドレス</td><td>"Address" ＋ M-NET アドレス</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"Date,SaveValue,ThermoTime,FanTime,
SubHeaterTime"</td></tr>
<tr><td>5～
66 行目</td><td>データ ※1, ※2, ※3</td><td>日付，能力セーブ量（分），サーモ ON 時間（分），
FAN 運転時間（分），サブヒーター ON 時間（分）※4</td></tr>
</table>

※1　各数値は、運転開始日と運転終了日の間の累積値です。
※2　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※3　各ファイルには、最大62日分のデータが含まれます。
※4　サブヒータ ON 時間は暖房補助ヒータが ON になる条件になったときにカウントされます。（実際に補助ヒータが ON になった時間ではありません。）
補助ヒータが装着されていない室内ユニットでもカウントされます。

</td></tr>
</table>

項目	内容
課金パラメータ	■ ファイル例 201 2015/03/10 2015/03/15 Address 01 Date,SaveValue,ThermoTime,FanTime,SubHeaterTime 2015/03/10,57,102,150,0 2015/03/11,76,122,178,0 2015/03/12,100,122,178,0 ・・・ 2015/03/15,543,743,1340,0
課金パラメータ （30 分単位）	■ ファイル名 ・ **AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合** "ChargeParameter30m"_(yyyy)-(mm)-(dd)"A"(室内ユニットアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter30m_2015-03-01A01-1.csv ・ **AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合** "ChargeParameter30m"_(yyyy)-(mm)-(dd)"A"(AE-50J/EW-50J 番号)-(室内ユニットアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter30m_2015-03-01A1-01-1.csv **お知らせ** ・（AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。 ・ 時間帯1～5は、TG-2000または初期設定ツールでのみ設定可能です。 工場出荷時は、時間帯1になります。 ・ AE-200Jのファイル名には、（AE-50J/EW-50J番号）は表示されません。 ■ ファイル出力先 ・ **AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合** (USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData" ￥"ChargeParameters30m" ￥"AE" ￥(日付) ・ **AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合** (USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData" ￥"ChargeParameters30m" ￥"AE"(AE-50J/EW-50J 番号) ￥(日付) **お知らせ** ・ AE-200Jから出力した場合は、AE-50J/EW-50Jのデータも出力されます。 ・ AE-50Jから出力した場合、1台のみの出力になります。 ・（AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。 ・ AE-200Jのファイル出力先には、（AE-50J/EW-50J番号）が表示されません。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>課金パラメータ
（30 分単位）</td><td>
■ ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>621</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日 時間＋ " － " ＋終了日 時間</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>室内ユニットのアドレス</td><td>"Address" ＋ M-NET アドレス</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"Date,Time,SaveValue,ThermoTime,FanTime,SubHeaterTime"</td></tr>
<tr><td>5行目～</td><td>データ ※1,※2,※3</td><td>日付，時刻，能力セーブ量（分），サーモ ON 時間（分），FAN 運転時間（分），サブヒーター ON 時間（分）※4</td></tr>
</table>
※1　各数値は、運転開始時刻と運転終了時刻の間の累積値です。
※2　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※3　各ファイルには、最大４日分のデータが含まれます。
※4　サブヒータ ON 時間は暖房補助ヒータが ON になる条件になったときにカウントされます。（実際に補助ヒータが ON になった時間ではありません。）
補助ヒータが装着されていない室内ユニットでもカウントされます。

■ ファイル例
621
2015/03/10 0:00-2015/03/12 23:30
Address 01
Date,Time,SaveValue,ThermoTime,FanTime,SubHeaterTime
2015/03/10,0:00,57,102,150,0
2015/03/10,0:30,76,122,178,0
2015/03/10,1:00,100,122,178,0
・・・
2015/03/12,23:30,543,743,1340,0
</td></tr>
</table>

項目	内容
計量計データ	■ ファイル名 **・ AE-50J/EW-50Jの接続がなし、計量用計測コントローラを接続している場合** "ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCPA"(計量用計測コントローラアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter_2015-03-01MCPA50-1.csv **・ AE-50J/EW-50Jの接続がなし、計量用パルス入力を使用している場合** "ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCP"-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter_2015-03-01MCP-1.csv **・ AE-50J/EW-50Jの接続があり、計量用計測コントローラを接続している場合** "ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCPA"(AE-50J/EW-50J 番号)-(計量用計測コントローラアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter_2015-03-01MCPA1-50-1.csv **・ AE-50J/EW-50Jの接続があり、計量用パルス入力を使用している場合** "ChargeParameter"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCP"(AE-50J/EW-50J 番号)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter_2015-03-01MCP1-1.csv **お知らせ** ・（AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。 ・ 時間帯1～5は、TG-2000または初期設定ツールでのみ設定可能です。 工場出荷時は、時間帯1になります。 ・ AE-200Jのファイル名には、（AE-50J/EW-50J番号）は表示されません。 ■ ファイル出力先 **・ AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合** (USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData" ￥"ChargeParameters" ￥"AE" ￥(日付) **・ AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合** (USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData" ￥"ChargeParameters" ￥"AE"(AE-50J/EW-50J 番号) ￥(日付) **お知らせ** ・ AE-200Jから出力した場合は、AE-50J/EW-50Jのデータも出力されます。 ・ AE-50Jから出力した場合、1台のみの出力になります。 ・（AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。 ・ AE-200Jのファイル出力先には、（AE-50J/EW-50J番号）が表示されません。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>計量計データ</td><td>■ ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>202</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日＋ " － " ＋終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>MCP</td><td>・計量用計測コントローラの場合
“MCP” ＋ M-NET アドレス ＋ “–” ＋ 時間帯（1–5）

・計量用パルス入力の場合
“MCP” ＋ “” ＋ 時間帯（1–5）</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"No.,Date,Count value(Ch1),Count value(Ch2),
Count value(Ch3),Count value(Ch4)”</td></tr>
<tr><td>5～
66 行目</td><td>データ ※2, ※3, ※4</td><td>・計量用計測コントローラの場合
MCP アドレス※1 ＋ 時間帯，日付，MCP 1，MCP 2，
MCP 3，MCP 4

・計量用パルス入力の場合
時間帯，日付，MCP 1，MCP 2，MCP 3，MCP 4</td></tr>
</table>
※1　AE-200J/AE-50J/EW-50Jの計量用パルス入力を使用している場合はアドレスが表示されません。
※2　各数値は、運転開始日と運転終了日の間の累積値です。
※3　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※4　各ファイルには、最大62日分のデータが含まれます。

■ ファイル例
<pre>202
2015/9/1-2015/11/1
MCP 1
No.,Date,Count value(Ch1),Count value(Ch2),Count value(Ch3),Count value(Ch4)
1,2015/9/1,190887.43,872411.43,227424.88,55515.50
1,2015/9/2,190899.16,872420.12,227428.63,55526.70
1,2015/9/3,190905.22,872442.23,227435.74,55537.90
1,2015/9/4,190910.38,878449.77,227448.19,55549.84
・・・
1,2015/11/1,200014.38,87950.36,227925.19,60111.63</pre></td></tr>
</table>

項目	内容
計量計データ （30 分単位）	■ ファイル名 **・ AE-50J/EW-50Jの接続がなし、計量用計測コントローラを接続している場合** "ChargeParameter30m"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCPA"(計量用計測コントローラアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter30m_2015-03-01MCPA50-1.csv **・ AE-50J/EW-50Jの接続がなし、計量用パルス入力を使用している場合** "ChargeParameter30m"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCP"-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter30m_2015-03-01MCP-1.csv **・ AE-50J/EW-50Jの接続があり、計量用計測コントローラを接続している場合** "ChargeParameter30m"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCPA"(AE-50J/EW-50J 番号)-(計量用計測コントローラアドレス)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter30m_2015-03-01MCPA1-50-1.csv **・ AE-50J/EW-50Jの接続があり、計量用パルス入力を使用している場合** "ChargeParameter30m"_(yyyy)-(mm)-(dd)"MCP"(AE-50J/EW-50J 番号)-(時間帯 1 ～ 5).csv 例：ChargeParameter30m_2015-03-01MCP1-1.csv **お知らせ** ・（AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。 ・ 時間帯1～5は、TG-2000または初期設定ツールでのみ設定可能です。 工場出荷時は、時間帯1になります。 ・ AE-200Jのファイル名には、（AE-50J/EW-50J番号）は表示されません。 ■ ファイル出力先 **・ AE-50J/EW-50Jの接続がなしの場合** (USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData" ￥"ChargeParameters30m" ￥"AE" ￥(日付) **・ AE-50J/EW-50Jの接続がありの場合** (USB メモリのルートフォルダ) ￥(シリアル番号) ￥"OperationalData" ￥"ChargeParameters30m" ￥"AE"(AE-50J/EW-50J 番号) ￥(日付) **お知らせ** ・ AE-200Jから出力した場合は、AE-50J/EW-50Jのデータも出力されます。 ・ AE-50Jから出力した場合、1台のみの出力になります。 ・（AE-50J/EW-50J番号）は、1～4で表示されます。 ・ AE-200Jのファイル出力先には、（AE-50J/EW-50J番号）が表示されません。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>計量計データ
（30 分単位）</td><td>■ ファイル形式
<table>
<tr><th>行</th><th>項目</th><th>形式</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>ファイル区分</td><td>622</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>データ範囲</td><td>開始日＋ " － " ＋終了日</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>MCP</td><td>・計量用計測コントローラの場合
“MCP” ＋ M-NET アドレス ＋ “–” ＋ 時間帯（1–5）

・計量用パルス入力の場合
“MCP” ＋ “” ＋ 時間帯（1–5）</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>項目</td><td>"No.,Date,Count value(Ch1),Count value(Ch2),
Count value(Ch3),Count value(Ch4)”</td></tr>
<tr><td>5～
66 行目</td><td>データ ※2, ※3, ※4</td><td>・計量用計測コントローラの場合
MCP アドレス※1 ＋ 時間帯，日付，時刻，MCP 1，
MCP 2，MCP 3，MCP 4

・計量用パルス入力の場合
時間帯，日付，時刻，MCP 1，MCP 2，MCP 3，
MCP 4</td></tr>
</table>
※1　AE-200J/AE-50J/EW-50Jの計量用パルス入力を使用している場合はアドレスが表示されません。
※2　各数値は、運転開始日と運転終了日の間の累積値です。
※3　該当するデータが存在しない場合は数値は表示されません。
※4　各ファイルには、最大４日分のデータが含まれます。

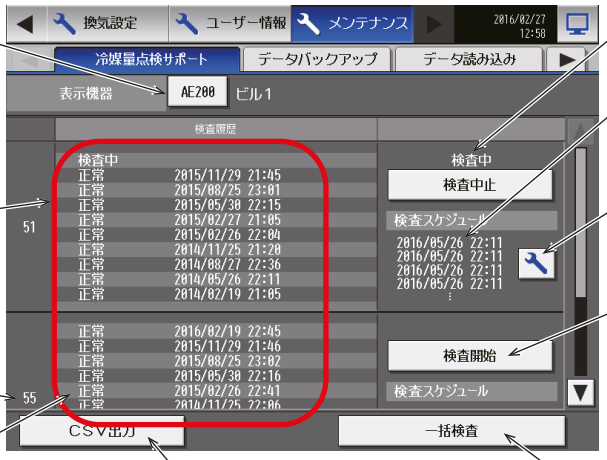
■ ファイル例
622
2015/9/1-2015/11/1
MCP 1
No.,Date,Count value(Ch1),Count value(Ch2),Count value(Ch3),Count value(Ch4)
1,2015/9/1,0:00,190887.43,872411.43,227424.88,55515.50
1,2015/9/2,0:30,190899.16,872420.12,227428.63,55526.70
1,2015/9/3,1:00,190905.22,872442.23,227435.74,55537.90
1,2015/9/4,1:30,190910.38,878449.77,227448.19,55549.84
・・・
1,2015/11/1,23,30,200014.38,87950.36,227925.19,60111.63</td></tr>
</table>

4-2. 冷媒量点検サポート機能

冷媒量点検サポート機能は、フロン排出抑制法により空調設備を使用するユーザーに課せられる定期点検作業をサポートする機能です。スケジュール機能を使用することで、日時を指定して定期点検として活用することが可能です。
室外ユニット系統の冷媒量の点検を行いたい場合、初期設定メニューの［**メンテナンス**］－［**冷媒量点検サポート**］をタッチします。

お知らせ

- 室外ユニットの据付直後やメンテナンス時の点検方法、確認事項については、室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。
- 冷媒量点検サポートに対応している室外ユニットのみが表示されます。
- 冷媒量点検を行っている場合は、室外ユニットは冷房モードで動作します。冷媒量の点検には30分から1時間かかります。



表示機器
AE-200Jに接続された機器の冷媒量検査を行う場合は［**AE**］、各AE-50J/EW-50Jに接続された機器の冷媒量点検を行う場合は［**1**］～［**4**］を選択してください。

検査履歴
最新10件の検査履歴が表示されます。
検査完了時に日付と結果が表示されます。

室外ユニットアドレス

検査結果
検査中、正常、冷媒減少、測定不能が表示されます。

CSV出力
検査履歴がUSBメモリにCSV出力されます。

検査状態
現在の検査状態が表示されます。

検査スケジュール
設定している検査スケジュールが表示されます。

スケジュール設定ボタン
タッチすると、スケジュール設定画面を表示します。

検査開始（初期測定）
タッチすると、対象の室外ユニット系統の冷媒量点検を開始します。

一括検査
タッチすると、表示されている全室外ユニット系統の冷媒量点検を開始します。

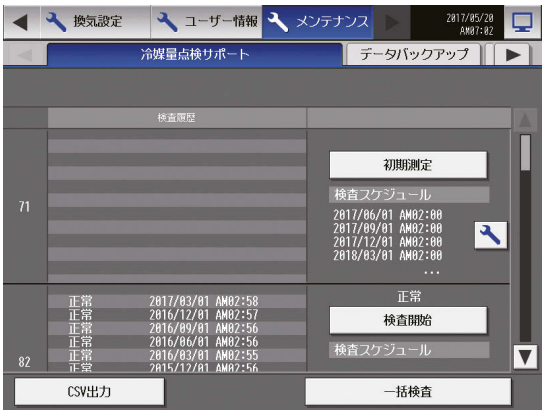
4-2-1. 初期測定

初期測定を実施する手順を説明します。

手順

1. 室外ユニットの行にある［**初期測定**］をタッチする。
   ［**初期測定**］をタッチしたときに、［**初期測定**］の表示が［**検査中止**］に変わります。
   冷媒量点検を中止する場合は、［**検査中止**］をタッチします。

   冷媒量点検は30分から1時間かかります。
   点検が完了すると、「正常」「測定不能」のいずれか表示されます。
   「測定不能」が表示された場合は、再度測定を実施してください。
   初期測定実施後は、［**初期測定**］は表示されなくなります。



4-2-2. 冷媒量点検

[1] 手動操作

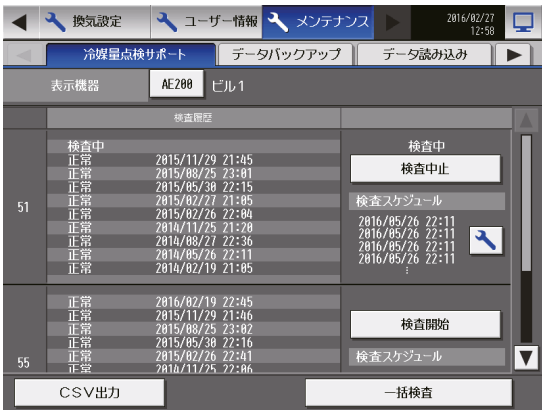
手動操作で冷媒量点検を開始する手順を説明します。

手順

1. 全ての室外ユニット系統の冷媒量点検を開始する場合、[**一括検査**] をタッチする。
   個別に室外ユニット系統の冷媒量点検を開始する場合、室外ユニットの行にある [**検査開始**] をタッチする。

   [**検査開始**] の表示が [**検査中止**] に変わります。
   冷媒量点検を中止する場合は、[**検査中止**] をタッチします。

   冷媒量点検は 30 分から 1 時間かかります。
   点検が完了すると、「正常」「冷媒減少」「測定不能」のいずれかが表示されます。
   チェック結果の詳細は、室外ユニットの据付工事説明書を参照してください。



お知らせ

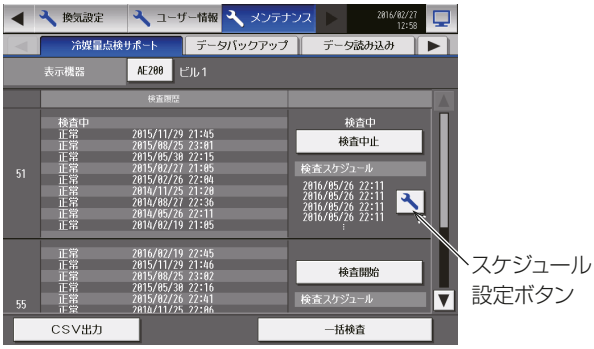
- 冷媒量点検が完了する前でも、画面を遷移することができます。
  検査結果は、検査完了後に画面表示したときに表示されます。
- 検査結果に「冷媒減少」が表示された場合は、お買い上げの販売店、またはメーカー指定のサービス会社に連絡してください。

[2] スケジュール設定

スケジュールによって冷媒量点検を実施する手順を説明します。

手順

1. 対象のアドレスの [**スケジュール設定**] ボタンをタッチする。
   現状の設定から [**設定変更**] する、または、他のアドレスの [**設定内容を流用して設定**] 変更する、のいずれかを選択する画面が表示されます。
2. 設定したい方法を選択して [OK] をタッチする。
   [**設定内容を流用して設定**] を選択した場合は、流用元アドレスの選択画面が表示されます。



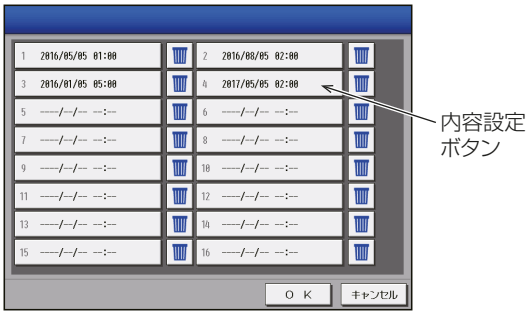
お知らせ

- [**設定変更**] を選択した場合は、すでに設定されている状態が表示され、流用元を選択した場合は、流用元アドレスに設定されているスケジュール内容が、表示されます。

お願い

- スケジュールで実行する場合、同時刻に実行すると契約電力を超過する可能性があるため、アドレス間で点検時刻をずらして設定することを推奨します。

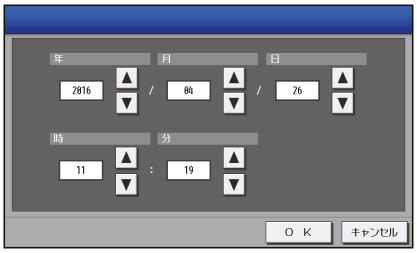
3. [**内容設定**] ボタンをタッチする。
スケジュール内容設定画面を表示します。
スケジュールは、最大 16 件設定可能です。



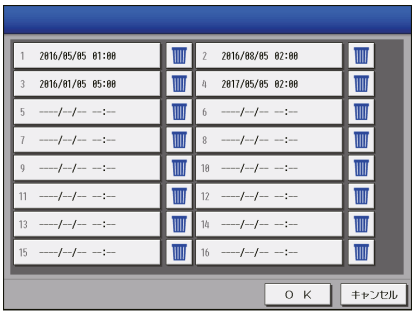
お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑] をタッチしてください。

4. スケジュール内容設定画面で、冷媒量点検を実行したい、年月日時分を設定して、[OK] をタッチする。



5. スケジュール内容を全て設定した後、[OK] をタッチする。
設定したスケジュール設定を保存します。
前回保存時から、スケジュール設定内容を変更した場合、[**キャンセル**] をタッチすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。



お願い

- 設定したスケジュールを消去する場合は、対象の行の削除 [🗑] をタッチしてください。

4-2-3. CSV 出力

[CSV 出力] をタッチすると、表示されている機器の冷媒量点検履歴をCSV 形式で出力します。
CSV ファイルは、選択している表示機器単位で出力されます。

お知らせ

- 使用可能なUSB メモリについては「4-1-1. エネルギー管理出力」を参照してください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>CSV 出力</td><td>

手順

1. カバーを外し、USB メモリ差込口にUSB メモリを挿す。
2. 出力したい表示機器を選択した状態で **[CSV 出力]** をタッチする。

■ 保存先

USB メモリのルートフォルダに
　　¥製造番号¥OperationalData¥GasAmount¥AE（AE-50J/EW-50J 番号）¥［日付］¥
のフォルダを作成し、このフォルダ内にCSV ファイルを保存します。

お知らせ

- （AE-50J/EW-50J 番号）は、1～4 で表示されます。
- AE-200J のファイル名には、（AE-50J/EW-50J 番号）は表示されません。

■ ファイル名

OC_RefrigerantCharge_［YYYY］-［MM］-［DD］.csv
※［YYYY］［MM］［DD］の表示順は、初期設定の日付形式によって変わります。
ファイル名例：OC_RefrigerantCharge_2017_03_10.csv

■ ファイル形式

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>フォーマット</th></tr>
<tr><td>1 行目</td><td>タイトル</td><td>" 冷媒量点検サポート機能　検査結果履歴 ",,,,,,,,,,,,,,,,,,,," 報告書年月日 "</td></tr>
<tr><td>2 行目</td><td>タイトル</td><td>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,," 印刷出力日 "</td></tr>
<tr><td>3 行目</td><td>タイトル</td><td>" 施設名称 ",," 機器メーカ "</td></tr>
<tr><td>4 行目</td><td>タイトル</td><td>" 集中コントローラ IP アドレス "</td></tr>
<tr><td>5、6 行目</td><td>空行</td><td></td></tr>
<tr><td>7 行目</td><td>項目名</td><td>アドレス , 系統名 , フロンの種類 , 設置場所 , 設置年月日 , 点検日時 1, 点検結果 1, 点検日時 2, 点検結果 2, 点検日時 3, 点検結果 3, 点検日時 4, 点検結果 4, 点検日時 5, 点検結果 5, 点検日時 6, 点検結果 6, 点検日時 7, 点検結果 7, 点検日時 8, 点検結果 8, 点検日時 9, 点検結果 9, 点検日時 10, 点検結果 10</td></tr>
<tr><td>8～57行目
（最大）</td><td>データ</td><td>室外機アドレス、系統名、フロンの種類、設置場所、設置年月日、年月日 1、点検結果 1、年月日 2、点検結果 2、年月日 3、点検結果 3、年月日 4、点検結果 4、年月日 5、点検結果 5、年月日 6、点検結果 6、年月日 7、点検結果 7、年月日 8、点検結果 8、年月日 9、点検結果 9、年月日 10、点検結果 10
※系統名、フロンの種類、設置場所、設置年月日は空白を出力する。</td></tr>
</table>

</td></tr>
</table>

項目	内容
CSV 出力	■ サンプル 冷媒量点検サポート機能　検査結果履歴 ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, 報告書年月日 ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,, 印刷出力日 施設名称 ,, 機器メーカ 集中コントローラ IP アドレス アドレス , 系統名 , フロンの種類 , 設置場所 , 設置年月日 , 点検日時 1, 点検結果 1, 点検日時 2, 点検結果 2, 点検日時 3, 点検結果 3, 点検日時 4, 点検結果 4, 点検日時 5, 点検結果 5, 点検日時 6, 点検結果 6, 点検日時 7, 点検結果 7, 点検日時 8, 点検結果 8, 点検日時 9, 点検結果 9, 点検日時 10, 点検結果 10 51,,,,,2015/11/29 21:45, 正常 ,2015/8/25 23:01, 正常 ,2015/5/30 22:15, 正常 ,2015/2/27 21:05, 正常 ,2015/2/26 22:04, 正常 ,2014/11/25 21:20, 正常 ,2014/8/27 22:36, 正常 ,2014/5/26 22:11, 正常 ,2014/2/19 21:05, 正常 ,2014/1/1 21:05, 正常 . . 65,,,,,2015/11/29 21:45, 正常 ,2015/8/25 23:01, 正常 ,2015/5/30 22:15, 正常 ,2015/2/27 21:05, 正常 ,2015/2/26 22:04, 正常 ,2014/11/25 21:20, 正常 ,2014/8/27 22:36, 正常 ,2014/5/26 22:11, 正常 ,2014/2/19 21:05, 正常 ,2014/1/1 21:05, 正常

4-3. タッチパネル補正

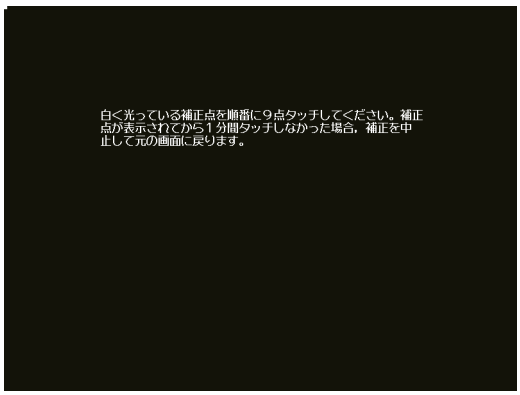
タッチパネルの調整を行いたい場合、初期設定メニューの［**メンテナンス**］－［**タッチパネル補正**］をタッチします。

お知らせ

- タッチパネルの調整を行うときは、市販のタッチペンなどで実施することを推奨します。
- 画面のズレが大きくなると、一部の操作ボタンがタッチできなくなるため、定期的なタッチパネル補正をおすすめします。

手順

1. ［**補正開始**］をタッチする。



2. 液晶画面に左上→中央上→右上→左中央→中央→右中央→左下→中央下→右下の順に白色の補正点を表示します。
   ９箇所全ての補正点をタッチする。
   前の画面に戻ります。

   お知らせ

   - 四角が表示されてから１分以内に四角をタッチしないと、補正はキャンセルされ、前の画面に戻ります。

   お願い

   - 正確に補正を行うため、先が細く鋭利でないものでタッチしてください。鋭利なものでタッチすると画面が傷つきますので使用しないでください。

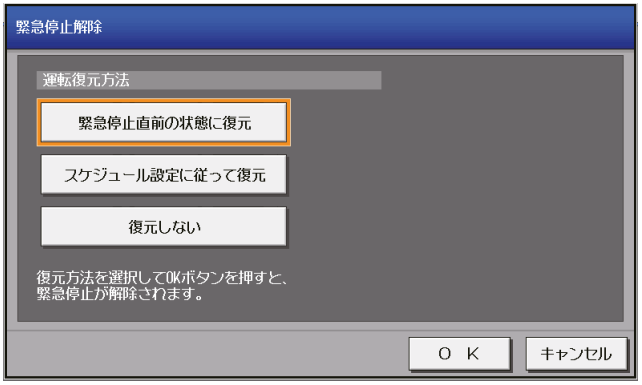
4-4. 緊急停止解除

外部入力の機能設定が「緊急停止　復元モード（レベル入力）」の場合、入力接点がONになると、運転している接続機器が緊急停止します。その後、入力接点がOFFになっても接続機器は緊急停止のままで、解除待ち状態になります。
緊急停止の解除は、上位機器（Facima BA System ※1）、または緊急停止解除画面で解除操作を行うことができます。
解除待ち状態になると、初期設定メニューの［**メンテナンス**］のサブメニューに［**緊急停止解除**］が表示されます。
※1　Facima BA Systemについては三菱電機ビルソリューションズ株式会社に問い合わせてください。

［**緊急停止解除**］をタッチすると、運転復元方法を選択する画面が表示されますので復元方法を選び、[OK] をタッチしてください。
AE-50Jを接続している場合、緊急停止解除は各AE-50Jで行ってください。

お知らせ

- 汎用インターフェースは、汎用インターフェースのディップスイッチ設定により緊急停止時に停止させることが出来ますが、解除時の運転状態復元の対象になりません。



［**緊急停止直前の状態に復元**］　：運転／停止／24時間換気を緊急停止直前の状態に復元する。
［**スケジュール設定に従って復元**］：緊急停止中に実行されたスケジュールによる運転／停止（／24時間換気）に従い復元する。（緊急停止中にスケジュール実行がなかった場合は緊急停止直前の状態に復元する。）
［**復元しない**］　：運転／停止／24時間換気の復元を行わない。

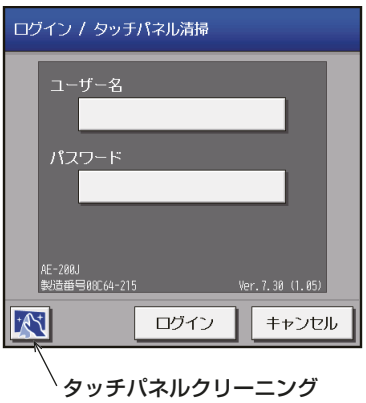
5. お手入れ

5-1. ディスプレイのお手入れ方法

- ガラス部の表面は乾いた布でふいてください。
- ディスプレイ内部は、下記の手順でタッチパネルクリーニングを行ってください。

手順

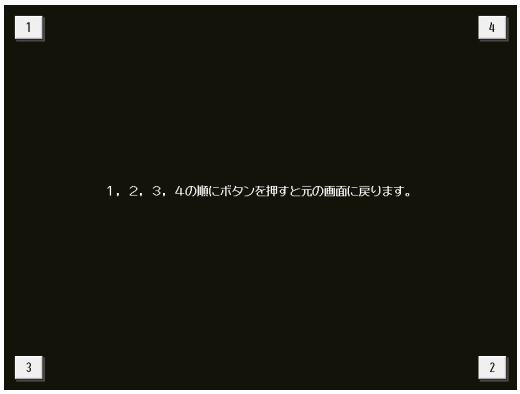
1. 通常画面で、右上の設定変更 [ ] をタッチする。
   ログイン画面が表示されます。
2. [**タッチパネルクリーニング**] をタッチし、タッチパネル清掃画面を表示する。



3. 「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸しよく絞った布」または「エタノールをしみ込ませた柔らかい布」でタッチパネルを清掃する。
   有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

   お願い

   - 中性洗剤は、使用量の目安までうすめて使用してください。
     原液のままで使用しないでください。



4. 掃除が終わったら、1から4の数字を順にタッチして元の画面に戻る。

   お知らせ

   - タッチすると灰色に変わります。
   - 規定の順序以外でタッチした場合、すべての押下状態が解除され、再度 [1] から押さないとログイン画面に戻りません。

5-2. カバーのお手入れ方法

台所用中性洗剤を使用量の目安まで水で薄めて柔らかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。

6. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。
本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。
当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。
点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

7. 仕様

AE-200J/AE-50Jは、Web対応空調冷熱総合管理システムです。
本機タッチパネルからの直接操作の他、Webブラウザを利用することで、空調機の操作・監視が可能です。
AE-200J 1台で最大50台の室内ユニット・その他の関連機器などを監視制御することができます。また、AE-50J/EW-50J（液晶レス）を接続することで、最大200台まで管理することができます。

AE-200J/AE-50J共通仕様

項目		仕様
電源		AC 100/200V ± 10%　50/60Hz 単相
消費電力		12W
M-NET 給電能力係数		3
L 係数		0
環境条件	使用温度範囲	0° C ～ +40° C
	保存温度範囲	-20° C ～ +60° C
	湿度	30% ～ 90% RH（結露なきこと）
質量		2.3kg
外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）		284 × 200 × 65mm 埋め込み時、AE-200J/AE-50J の壁または金属製制御盤よりの突出は、25.0 mmです。
設置環境		室内のみ • この製品はビジネスオフィス環境または同等の環境でご使用ください。

• 本製品に組み込まれたソフトウェアの詳細については、下記Webブラウザから確認することができます。
  https://(AE-200J/AE-50JまたはEW-50JのIPアドレス)/license/
  メンテナンスユーザーのみ確認可能です。

8. 修理を依頼する前に

以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、故障の状況と表示部の英数字を、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。

現象		原因の確認	処置方法
1	スケジュール設定をした日時に機器が起動しない	操作画面の「スケジュール」が **[無効]** になっている。	**[有効]** に変更してください。
		当日スケジュールなど、優先度の高いスケジュール設定と重複している。	スケジュールの優先度は、高い方から当日スケジュール、年間スケジュール、週間スケジュール 1、・・・、週間スケジュール 5 の順になります。
2	手元リモコンが操作禁止にならない。	ME リモコンを AE-200J/AE-50J/EW-50J のグループに登録していない。	ME リモコンが AE-200J/AE-50J/EW-50J にグループ登録されているかを確認し、未登録の場合は登録してください。 登録方法は、「取扱説明書　初期設定編」を参照してください。
3	USB メモリにエネルギー管理データの出力ができない。	1）USB メモリが正しくセットできていない。 2）USB メモリに空き容量がない。 3）USB メモリが AE-200J/AE-50J に対応していない。 4）USB メモリを短い時間で抜き差しした。 5）USB メモリが書き込み禁止となっている。	原因 1）～ 5) を調査します。原因別に対処します。 原因 1）USB メモリが奥まで差されているかを確認してください。 原因 2）USB メモリに空き容量があるかを確認し、必要に応じて空き容量を確保してください。（最大 64MBytes） 原因 3）「4-1-1. エネルギー管理出力」に記載している USB メモリで動作することを確認しています。これらの USB メモリが入手できない場合は、下記条件を満たすものを選定し、運用前に動作確認の上、使用してください。 • USB2.0 対応 • FAT32, FAT（FAT16）形式でフォーマットされていること。 • セキュリティ機能がないもの。 ただし、USB メモリ自体にセキュリティ機能（指紋認証等）を有するものは使用可能。 • セキュリティ機能付で PC の機能を使ってセキュリティ処理を行わないもの。 （データ書き込み異常が発生した後、別の USB メモリに変えても正常に書き込めないような場合は、AE-200J/AE-50J を再起動（電源切→入）してから最初に異常発生したもの以外の USB メモリで改めて確認してください。） 原因 4）AE-200J/AE-50J を再起動（電源切→入）してください。 原因 5）USB メモリの書き込み禁止スイッチを解除してください。 詳細は USB メモリの取扱説明書を確認してください。
4	USB メモリに初期設定データの出力ができない。	1）USB メモリが正しくセットできていない。 2）USB メモリに空き容量がない。 3）USB メモリが AE-200J/AE-50J に対応していない。 4）USB メモリを短い時間で抜き差しを行った。 5）USB メモリが書き込み禁止になっている。	原因 1) ～ 5) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) ～ 5) は現象 3 に記載の原因 1) ～ 5) を確認してください。

現象		原因の確認	処置方法
5	USB メモリに「課金パラメータ」の出力ができない。	1) USB メモリが正しくセットできていない。 2) USB メモリに空き容量がない。 3) USB メモリが AE-200J/AE-50J に対応していない。 4) USB メモリを短い時間で抜き差しを行った。 5) USB メモリが書き込み禁止になっている。 6)「電力按分課金支援」ライセンスを登録していない。	原因 1) ～ 6) を調査します。原因別に対処します。 原因 1) ～ 5) は現象 3 に記載の原因 1) ～ 5) を確認ください。 原因 6)「電力按分課金支援」ライセンスが有効であるかを確認し、無効の場合はライセンス登録をしてください。
6	CSV ファイルのデータ内容が、「　」（空白）で出力される。	出力の時間に対象のユニットがセンサ異常、または通信異常となっていた。	異常履歴画面から異常の発生有無を確認してください。センサ異常や通信異常が発生していた場合、「　」（空白）で出力されることがあります。
7	CSV ファイルで出力されていない日付（時刻）がある。	1) 対象の時間に AE-200J/AE-50J が停電していた。 2) AE-200J/AE-50J の時刻を変更した。	原因 1)、2）を調査します。原因別に対処します。 原因 1）停電が行われなかったかを確認してください。停電している時間はデータが収集されませんので、日付（時刻）自体が出力されません。 原因 2) AE-200J の時刻を変更しなかったかを確認してください。CSV 出力時間帯を跨いで時刻変更した場合、データは収集されていませんので、出力されません。
8	平面図がうまく読み込めない。	1) USB メモリが正しくセットできていない。 2) USB メモリが AE-200J/AE-50J に対応していない。 3) 読み込もうとしているファイル名称が間違っている。 4) USB メモリ内の正しい場所にファイルがない。 5) 作成した Gif ファイルに拡張データ（XMP、透過 gif、インターレース gif、モーション gif など）が含まれている。 6) ファイルのサイズが合っていない。	原因 1)USB メモリが正しくセットされているかを確認してください。 原因 2) 現象 3 の原因 3 を参照 原因 3) 正しいファイル名称を設定してください。 例 .floor_01.gif ファイルを作成した PC のフォルダ設定で［登録されている拡張子は表示しない］となっている場合は、プロパティでファイル名称の確認を行ってください。 原因 4) USB メモリのルートフォルダにファイルを置いてください。 原因 5)Gif ファイル作成時に拡張データを含まない設定にして、作成してください。 原因 6) 各フロアにつき横 1890 ドット×縦 900 ドット固定の gif 形式で作成してください。
9	初期設定画面にログインしたが、設定ボタンが押した状態になっていて、操作できない	1) ビル管理者でログインしているので、設定の権限がない	原因 1）保守ユーザのログイン名・パスワードを入力してログインしてください。 管理者ユーザでログインして設定を行いたい場合は、設定の権限を保守ユーザに変更してもらってください。
10	USB メモリから初期設定データが読み込めない。	1) USB メモリが正しくセットできていない。 2) USB メモリの読み込みフォルダが間違えている 3) USB メモリが AE-200J/AE-50J に対応していない。	原因 1) ～ 3) を調査します。原因別に対処します。 原因 1)USB メモリが正しくセットされているかを確認してください。 原因 2) 初期設定データを入れたフォルダ名「SetupData」（大文字・小文字も）が正しいか確認してください。 原因 3) 現象 3 の原因 3 を参照

現象		原因の確認	処置方法
11	表示されている設定温度が設定した温度と違う。	以下の設定により、設定温度が自動で変更される場合があります。 1）外気温連動制御 2）省エネ制御（ピークカット制御） 3）スケジュール設定 4）連動制御	原因１）外気温連動が設定されている場合、外気温度と設定温度の差がある場合、設定温度が変化します。 原因２）省エネ制御（ピークカット制御）で± 2℃が設定されている場合、設定温度が変化します。 原因３）スケジュール設定により、設定温度が変化する場合があります。 原因４）連動制御により、設定温度が変化する場合があります。
12	停止したはずなのに、勝手に空調機が運転している。	以下の設定により、自動で運転される場合があります。 1）ナイトセットバック機能が設定されている。 2）スケジュール設定 3）連動制御	原因１）ナイトセットバック機能が **[利用する]** に設定されている場合、空調機が停止中に設定した条件となった場合、自動的に空調機が暖房または冷房で運転します。ナイトセットバックにより運転している場合は、アイコン表示が変わります。「3-1-1. 通常の監視 / 操作」参照 原因２）スケジュール設定により、自動で運転する場合があります。当日、週間、年間それぞれのスケジュールを確認してください。 原因３）連動制御により、運転する場合があります。
13	停止したはずなのに、勝手にロスナイが運転している。	以下の設定により、自動で運転される場合があります。 1）ロスナイにナイトパージ設定がされている。 2）スケジュール設定 3）連動ロスナイ設定 4）連動制御 5）加湿機能付のロスナイは、保護運転により自動的に動作する場合があります。	原因１）ロスナイのナイトパージ設定が設定されている場合、ロスナイに設定した内容によって、自動的に外気を取り込む運転を行います。 原因２）現象 12 の原因２と同じ 原因３）室内機の運転に連動してロスナイが運転する場合があります。 原因４）連動制御により、温度が変化する場合があります。 原因５）正常な動作です。
14	監視画面で室内温度が表示されない。	温度表示設定により、表示される温度が変わります。	温度表示設定を確認してください。 **[表示しない]** の設定になっている場合や、**[室内温度運転中表示]** の設定になっている場合で空調機が停止しているときは表示されません。
15	冷媒量検査結果が「判定不能」となった。	室外機が以下の状態により、正常に検査できない場合があります。 1）外気温度が 0℃～40℃の範囲内にない場合 2）暖房運転中 3）初期起動モードが完了していない 4）停止操作の直後 5）応急運転中	原因１）～原因５）の場合は、正常に測定できません。 原因１）～原因５）を避けるように停止後、３分以上あけてから検査する。または、停止している時間帯にスケジュール設定してください。
16	エネルギー管理で出力した CSV ファイルがパソコンでうまくとりこめない。	ご使用のパソコンに Microsoft Office 2007 以前のバージョンがインストールされている。	Microsoft Office　2010 以降で読み込んでください。

9. 保証とアフターサービス

9-1. 保証について

- 製品本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的損害（冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れ等による家財破損などの補償）の責については、ご容赦ください。

9-2. 機器予防保全の目安・消耗部品の交換周期目安

部品名	保全周期・交換周期
空調冷熱総合管理システム	10年

- 保全周期・交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計のためにお役立てください。
- 保全周期・交換周期は、保証期間ではありません。
- 上表は、通常のご使用状態の場合であり、下記の項目に適合する場合は「保全周期」の短縮を考慮する必要があります。

① 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
② 電源変動（電圧、周波数、波形歪みなど）が大きい場所でご使用される場合。
③ 振動、衝撃が多い場所に設定されご使用される場合。
④ 塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない環境でご使用される場合。

9-3. 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後、9年保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

9-4. 修理を依頼されるときは（出張修理）

- 「8. 修理を依頼する前に」の項にしたがってお調べください。
  なお、不具合があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）かお近くの「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご連絡ください。
- 修理料金は、技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術員を派遣する費用（出張料）や有料駐車場の費用（駐車料）を別途いただく場合があります。

- 据付（接続・調整・取扱説明など）を依頼すると有料になることがあります。
- ご連絡いただきたい内容

品名	取扱説明書の表紙に記載
形名	取扱説明書の表紙に記載
お買い上げ日	保証書発行の年月日：　　年　　月　　日
故障の状況	「できるだけ具体的に」
ご住所	「付近の目印なども」
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

9-5. 移設について

- 増改築・引越しのため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店（工事店）、またはお近くの「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。

9-6. お問い合わせ

- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店（工事店）かお近くの「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内」（別紙）にご相談ください。
  （所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。）

お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

添付.追加機能について

追加機能は以下の通りです。

Version	追加項目		概要	参照
Ver7.2	初期設定	ピークカット設定 ※1	ピークカット方式を設定できます。	「取扱説明書　初期設定編」
		ピークカット空調 ※1	室内ユニット、室外ユニットのピークカット制御内容を設定できます。 ・ 室外ユニットの能力セーブ量で、50%を選択できます。	
		高顕熱制御設定 ※2	高顕熱制御ライセンスを登録することで、高顕熱制御の設定ができます。	「取扱説明書　初期設定編」
		エネルギー管理設定	エネルギー管理機能でグラフ表示するための設定を液晶画面でできます。	「取扱説明書　初期設定編」
		エネルギー管理出力	エネルギー管理データを USB メモリに出力できます。	4-1-1. エネルギー管理出力
		CSV 出力	30 分単位の課金パラメータ、電力量データの出力ができます。	4-1-3. CSV 出力
	通常画面	計測画面	計量用パルス入力を行った場合は、計測状態のモニタ画面に表示されます。	「取扱説明書　初期設定編」
		エネルギー管理	AE-200J/AE-50J/EW-50J をまたいでの比較ができます。	3-2-1. エネルギー利用状況
		エネルギー管理出力	通常画面でエネルギー管理の出力ができます。	4-1-1. エネルギー管理出力
Ver7.3	監視 / 操作		エネルギー管理ブロックでの監視 / 操作ができます。	3-1-4. 運転状態モニタ方法
			加熱加湿付ロスナイグループの操作画面で 24 時間換気の操作ができます	3-1-6. 操作設定画面
			ロスナイ / 加熱加湿付ロスナイの風速 4 段の設定ができます。	3-1-6. 操作設定画面
	エネルギー管理状況		エネルギー管理ブロック単位での表示ができます。	3-2-1. エネルギー利用状況
	ランキング		・ AE-200J/AE-50J/EW-50J またぎの表示ができます。 ・ 最新の情報に更新することができます。	3-2-2. ランキング
	スケジュール		0.5℃単位で温度を設定できます。	3-3. スケジュール
Ver7.4	監視／操作		監視画面で表示する温度を室内温度または設定温度表示を切り替えられます。	3-1. 監視 / 操作
	冷媒量点検サポート		空調機の冷媒量の点検を行うことができます。	4-2. 冷媒量点検サポート機能
Ver7.5	監視／操作		監視画面で室内温度、設定温度の両方を表示できます。	3-1-4. 運転状態モニタ方法
Ver7.6	室外ユニットのエネルギー利用状況の見える化		エネルギー利用状況画面にて、室外ユニットの電力量および省エネ制御による削減効果を確認することができます。	3-2-1. エネルギー利用状況
	室外ユニットのエネルギー管理データ出力		室外ユニットのユニットごとのエネルギー管理データを出力できます。	4-1-1. エネルギー管理出力
	冷媒量点検サポートの機能拡張		・ 冷媒量の点検をスケジューリングして、実行することができます。 ・ 冷媒量の点検履歴をUSBにCSVファイル出力できます。	4-2. 冷媒量点検サポート機能
Ver7.9	AI スマート起動		AI を用いて予冷・予熱時間を計算し空調機をスケジュール運転できます。	3-3. スケジュール

※1　省エネ制御（ピークカット）ライセンス登録時のみ、機能が有効です。

※2　高顕熱制御ライセンス登録時のみ、機能が有効です。

10. 環境関連の表示

このコントローラは、ご使用終了時に再資源化の一助として、主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

商標、登録商標について

SD および SDHC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。

Oracle および Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- BACnet は、米国暖房冷凍空調学会（ASHRAE）の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Office Excel は、Microsoft Corporation の商品名称です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Internet Explorer の正式名称は、Microsoft Internet Explorer Internet browser です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

MEMO

MEMO

愛情点検	●長年ご使用の空調冷熱総合管理システムの点検を！

こんな症状はありませんか	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水がもれる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常･故障がある。	▶	ご使用中止	事故防止のため、配線用遮断器（ブレーカー）を切（OFF）にし、販売店に点検･修理をご相談ください。

便利メモ	お買上げ販売店名
	電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)
0037(80)2229(フリーボイス)･073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66

2022年5月作成

WT07991X08